

観光研究演習 A

Seminer on Tourism Research(A)

修士論文作成に向けた発表・議論の習熟

専任教員（宮崎 友里 他）（Full-time faculty (MIYAZAKI YURI, etc.))

開講年度： 2024

科目設置学部： 観光学研究科

科目コード等： UA043

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 新座

学期： 秋学期

単位： 1

科目ナンバリング： TRG5003

使用言語： その他

授業形式： 演習・ゼミ

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

授業の目標 / Course Objectives

本授業は、毎回複数人の学生による研究発表・議論を積み重ねることで、修士論文のテーマ設定、内容の深化を図ることを目的とする。

The goal of this course is to identify master's thesis topics and engage in-depth with the topic of this course by holding multiple student research presentations and debates during each session.

授業の内容 / Course Contents

本授業では、複数の教員が参加する指導体制のもとで学生による発表を行い、議論を重ねる。第2回から第7回にかけて、毎回数人の発表者が研究発表を行い、参加教員からの質問やコメントを得たうえで、学生が応答を繰り返すことで、修論テーマと内容を明確化し修論計画を進めていく。第8回から第13回において具体的な研究・調査手法を示し課題や問題点を検討し、期待される研究成果について議論する。最終回である第14回においては、修論構想報告会を開催し、研究計画についての課題と問題点を検討し、助言を得る。

This class will involve student presentations and discussion involving participation of multiple faculty members. From the 2nd to 7th sessions, students will do research presentations and each presenter will receive comments

from multiple faculty members. Students will clarify the content of their master's thesis research topic by reviewing the answers to students' questions. In the 8th to 13th sessions, students will review the research method and examine issues. In the 14th final session, students will show master's thesis research outline and discuss issues and problems regarding research plans and obtain advice from professors.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：授業の進め方について説明
- 2 回：研究発表①テーマ設定に向けて
- 3 回：研究発表②テーマ設定に向けて
- 4 回：研究発表③テーマ設定に向けて
- 5 回：研究発表④テーマ設定に向けて
- 6 回：研究発表⑤テーマ設定に向けて
- 7 回：研究発表⑥テーマ設定に向けて
- 8 回：研究発表⑦内容構成の深化
- 9 回：研究発表⑧内容構成の深化
- 10 回：研究発表⑨内容構成の深化
- 11 回：研究発表⑩内容構成の深化
- 12 回：研究発表⑪内容構成の深化
- 13 回：研究発表⑫内容構成の深化
- 14 回：全教員と全履修者が参加する修士論文構想発表会

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド（パワー等）の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：○	グループ発表	：	ディスカッション・ディベート	：○
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

事前の発表準備、事後の振り返りに時間を多大な時間と労力を要する。まず、本授業開始までに大まかなテーマ設定とそのための先行研究の読み込み、整理を各自行うこと。また、第2回から第9回にかけて各自発表準備、第11回以降は、各発表のフィードバックとして、発表で達成できたこと、今後の課題の整理を行うこと。

成績評価方法・基準（成績評価方法区分：002） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合：100% 発表及び議論の内容を総合的に判断する：100%

テキスト / Textbooks

適宜指示する。

参考文献 / Readings

適宜指示する。

観光研究演習 B

Seminer on Tourism Research(B)

修士論文作成に向けた発表・議論の習熟

専任教員（宮崎 友里 他）（Full-time faculty (MIYAZAKI YURI, etc.))

開講年度： 2024

科目設置学部： 観光学研究科

科目コード等： UA044

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 新座

学期： 春学期

単位： 1

科目ナンバリング： TRG6003

使用言語： その他

授業形式： 演習・ゼミ

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

授業の目標 / Course Objectives

本授業は、毎回複数人の学生による研究発表・議論を積み重ねることで、修士論文の内容の深化を図ることを目的とする。異なる専門分野においても研究としての客観性が担保でき、論理的な枠組みで研究が進められていることを確認できるよう専門の異なる複数の教員が助言と指導を行う。

The purpose of this class is to deepen the content of the master's thesis by accumulating research presentations and discussions by students each time. Several faculty members with different specialties provide advice and suggestion so that the objectivity of research can be ensured even in different specialized fields and that research is proceeding within a logical framework.

授業の内容 / Course Contents

本授業では、複数教員参加のもとで学生による発表を行い、議論を重ねる。第2回から第7回にかけて、数人の発表者が研究発表を行い、各発表者に近い専門分野の教員からコメントを得て、学生からの応答を繰り返すことで、修士論文における議論を深めていく。第8回から第13回では、研究テーマからは遠い専門分野の教員が客観的で論理的な研究が行われているかについて確認し助言を行う。最終回の第14回では、修士論文中

間発表会を開催し、調査が佳境に入る夏休みに向けて研究の進め方について確認する。

In this class, students make presentation under the participation multiple teachers. From the 2nd to the 7th, several students make research presentations and receive comments from faculty members in specialized fields close to each presenter to deepen the discussion in the master's thesis. In the 8th to 13th sessions, faculty members in specialized fields far from the research theme will confirm whether objective and logical research is being conducted and give advice. In the final 14th round, students will hold an interim presentation of the master's thesis to confirm how to proceed with the research toward the summer vacation.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：授業の進め方について説明
- 2 回：研究発表①(一巡目)研究テーマと調査分析手法の検討
- 3 回：研究発表②(一巡目)研究テーマと調査分析手法の検討
- 4 回：研究発表③(一巡目)研究テーマと調査分析手法の検討
- 5 回：研究発表④(一巡目)研究テーマと調査分析手法の検討
- 6 回：研究発表⑤(一巡目)研究テーマと調査分析手法の検討
- 7 回：研究発表⑥(一巡目)研究テーマと調査分析手法の検討
- 8 回：研究発表⑦(二巡目)論理構成と学際性の検討
- 9 回：研究発表⑧(二巡目)論理構成と学際性の検討
- 10 回：研究発表⑨(二巡目)論理構成と学際性の検討
- 11 回：研究発表⑩(二巡目)論理構成と学際性の検討
- 12 回：研究発表⑪(二巡目)論理構成と学際性の検討
- 13 回：研究発表⑫(二巡目)論理構成と学際性の検討
- 14 回：修士論文中間発表会

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド* (パワポ* 等) の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：○	グループ発表	：	ディスカッション・ディベート	：○
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

事前の発表準備、事後の振り返りに時間を多大な時間と労力を要する。まず、本授業開始までに大まかなテーマ設定とそのため先行研究の読み込み、整理を各自行うこと。また、第2回から第13回にかけて各自発表準備を十分に行うだけでなく、初回に受けた指摘事項に関しては2回目の発表時に対応策もしくは指摘を受け入れない理由を明白に示すこと。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：002) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 発表及び議論の内容を総合的に判断する:100%

テキスト / Textbooks

適宜指示する。

参考文献 / Readings

適宜指示する。

観光研究基礎指導 A

Supervision Seminar on Tourism Research(A)

橋本 俊哉 (HASHIMOTO TOSHIYA)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA113
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 春学期他
単位： 2
科目ナンバリング： TRG5003
使用言語： その他
授業形式： 演習・ゼミ
履修登録方法： 自動登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

2 年次の修士論文執筆に向けて、テーマや方法論について個別に指導を行い、1 年次終了時には、修士論文のフレームが完成することを目標とする。

For the second year master's thesis writing, individual instruction will be carried out regarding topics and methodology with the aim of having students complete an outline of their master's theses by the end of their first year.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 1 年次生を対象に、研究科専任教員が分担して研究全般について個別に指導を行う。

For the first year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing students with individual instruction regarding general research.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：研究の仮テーマの設定 1
- 3 回：研究の仮テーマの設定 2

- 4回：研究の仮テーマの設定3
 5回：文献研究1
 6回：文献研究2
 7回：文献研究3
 8回：文献研究4
 9回：研究方法の検討1
 10回：研究方法の検討2
 11回：研究方法の検討3
 12回：研究計画の策定1
 13回：研究計画の策定2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:○
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:○
上記いずれも用いない予定	:		:		

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自の仮テーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

観光研究基礎指導 A

Supervision Seminar on Tourism Research(A)

大橋 健一 (OHASHI KENICHI)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA114
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 春学期他
単位： 2
科目ナンバリング： TRG5003
使用言語： その他
授業形式： 演習・ゼミ
履修登録方法： 自動登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

2 年次の修士論文執筆に向けて、テーマや方法論について個別に指導を行い、1 年次終了時には、修士論文のフレームが完成することを目標とする。

For the second year master's thesis writing, individual instruction will be carried out regarding topics and methodology with the aim of having students complete an outline of their master's theses by the end of their first year.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 1 年次生を対象に、研究科専任教員が分担して研究全般について個別に指導を行う。

For the first year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing students with individual instruction regarding general research.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：研究の仮テーマの設定 1
- 3 回：研究の仮テーマの設定 2

- 4回：研究の仮テーマの設定3
 5回：文献研究1
 6回：文献研究2
 7回：文献研究3
 8回：文献研究4
 9回：研究方法の検討1
 10回：研究方法の検討2
 11回：研究方法の検討3
 12回：研究計画の策定1
 13回：研究計画の策定2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:○
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:○
上記いずれも用いない予定	:		:		

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自の仮テーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

観光研究基礎指導 A

Supervision Seminar on Tourism Research(A)

西川 亮 (NISHIKAWA RYO)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA115
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 春学期他
単位： 2
科目ナンバリング： TRG5003
使用言語： その他
授業形式： 演習・ゼミ
履修登録方法： 自動登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

2 年次の修士論文執筆に向けて、テーマや方法論について個別に指導を行い、1 年次終了時には、修士論文のフレームが完成することを目標とする。

For the second year master's thesis writing, individual instruction will be carried out regarding topics and methodology with the aim of having students complete an outline of their master's theses by the end of their first year.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 1 年次生を対象に、研究科専任教員が分担して研究全般について個別に指導を行う。

For the first year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing students with individual instruction regarding general research.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：研究の仮テーマの設定 1
- 3 回：研究の仮テーマの設定 2

- 4回：研究の仮テーマの設定3
 5回：文献研究1
 6回：文献研究2
 7回：文献研究3
 8回：文献研究4
 9回：研究方法の検討1
 10回：研究方法の検討2
 11回：研究方法の検討3
 12回：研究計画の策定1
 13回：研究計画の策定2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:○
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:○
上記いずれも用いない予定	:		:		

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自の仮テーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

観光研究基礎指導 A

Supervision Seminar on Tourism Research(A)

舩谷 鋭 (MASUTANI SATOSHI)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA117
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 春学期他
単位： 2
科目ナンバリング： TRG5003
使用言語： その他
授業形式： 演習・ゼミ
履修登録方法： 自動登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

2 年次の修士論文執筆に向けて、テーマや方法論について個別に指導を行い、1 年次終了時には、修士論文のフレームが完成することを目標とする。

For the second year master's thesis writing, individual instruction will be carried out regarding topics and methodology with the aim of having students complete an outline of their master's theses by the end of their first year.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 1 年次生を対象に、研究科専任教員が分担して研究全般について個別に指導を行う。

For the first year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing students with individual instruction regarding general research.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：研究の仮テーマの設定 1
- 3 回：研究の仮テーマの設定 2

- 4回：研究の仮テーマの設定3
 5回：文献研究1
 6回：文献研究2
 7回：文献研究3
 8回：文献研究4
 9回：研究方法の検討1
 10回：研究方法の検討2
 11回：研究方法の検討3
 12回：研究計画の策定1
 13回：研究計画の策定2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:○
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:○
上記いずれも用いない予定	:		:		

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自の仮テーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

観光研究基礎指導 A

Supervision Seminar on Tourism Research(A)

松村 公明 (MATSUMURA KOUMEI)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA118
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 春学期他
単位： 2
科目ナンバリング： TRG5003
使用言語： その他
授業形式： 演習・ゼミ
履修登録方法： 自動登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

2 年次の修士論文執筆に向けて、テーマや方法論について個別に指導を行い、1 年次終了時には、修士論文のフレームが完成することを目標とする。

For the second year master's thesis writing, individual instruction will be carried out regarding topics and methodology with the aim of having students complete an outline of their master's theses by the end of their first year.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 1 年次生を対象に、研究科専任教員が分担して研究全般について個別に指導を行う。

For the first year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing students with individual instruction regarding general research.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：研究の仮テーマの設定 1
- 3 回：研究の仮テーマの設定 2

- 4回：研究の仮テーマの設定3
 5回：文献研究1
 6回：文献研究2
 7回：文献研究3
 8回：文献研究4
 9回：研究方法の検討1
 10回：研究方法の検討2
 11回：研究方法の検討3
 12回：研究計画の策定1
 13回：研究計画の策定2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:○
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:○
上記いずれも用いない予定	:		:		

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自の仮テーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

観光研究基礎指導 A

Supervision Seminar on Tourism Research(A)

葛野 浩昭 (KUZUNO HIROAKI)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA119
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 春学期他
単位： 2
科目ナンバリング： TRG5003
使用言語： その他
授業形式： 演習・ゼミ
履修登録方法： 自動登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

2 年次の修士論文執筆に向けて、テーマや方法論について個別に指導を行い、1 年次終了時には、修士論文のフレームが完成することを目標とする。

For the second year master's thesis writing, individual instruction will be carried out regarding topics and methodology with the aim of having students complete an outline of their master's theses by the end of their first year.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 1 年次生を対象に、研究科専任教員が分担して研究全般について個別に指導を行う。

For the first year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing students with individual instruction regarding general research.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：研究の仮テーマの設定 1
- 3 回：研究の仮テーマの設定 2

- 4回：研究の仮テーマの設定3
 5回：文献研究1
 6回：文献研究2
 7回：文献研究3
 8回：文献研究4
 9回：研究方法の検討1
 10回：研究方法の検討2
 11回：研究方法の検討3
 12回：研究計画の策定1
 13回：研究計画の策定2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワーポイント等）の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:		:

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自の仮テーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準（成績評価方法区分：2） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

観光研究基礎指導 A

Supervision Seminar on Tourism Research(A)

杜 国慶 (DU GUOQING)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA122
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 春学期他
単位： 2
科目ナンバリング： TRG5003
使用言語： その他
授業形式： 演習・ゼミ
履修登録方法： 自動登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

2 年次の修士論文執筆に向けて、テーマや方法論について個別に指導を行い、1 年次終了時には、修士論文のフレームが完成することを目標とする。

For the second year master's thesis writing, individual instruction will be carried out regarding topics and methodology with the aim of having students complete an outline of their master's theses by the end of their first year.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 1 年次生を対象に、研究科専任教員が分担して研究全般について個別に指導を行う。

For the first year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing students with individual instruction regarding general research.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：研究の仮テーマの設定 1
- 3 回：研究の仮テーマの設定 2

- 4回：研究の仮テーマの設定3
 5回：文献研究1
 6回：文献研究2
 7回：文献研究3
 8回：文献研究4
 9回：研究方法の検討1
 10回：研究方法の検討2
 11回：研究方法の検討3
 12回：研究計画の策定1
 13回：研究計画の策定2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:○
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:○
上記いずれも用いない予定	:		:		

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自の仮テーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

観光研究基礎指導 A

Supervision Seminar on Tourism Research(A)

千住 一 (SENJU HAJIME)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA123
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 春学期他
単位： 2
科目ナンバリング： TRG5003
使用言語： その他
授業形式： 演習・ゼミ
履修登録方法： 自動登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

2 年次の修士論文執筆に向けて、テーマや方法論について個別に指導を行い、1 年次終了時には、修士論文のフレームが完成することを目標とする。

For the second year master's thesis writing, individual instruction will be carried out regarding topics and methodology with the aim of having students complete an outline of their master's theses by the end of their first year.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 1 年次生を対象に、研究科専任教員が分担して研究全般について個別に指導を行う。

For the first year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing students with individual instruction regarding general research.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：研究の仮テーマの設定 1
- 3 回：研究の仮テーマの設定 2

- 4回：研究の仮テーマの設定3
 5回：文献研究1
 6回：文献研究2
 7回：文献研究3
 8回：文献研究4
 9回：研究方法の検討1
 10回：研究方法の検討2
 11回：研究方法の検討3
 12回：研究計画の策定1
 13回：研究計画の策定2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:		:

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自の仮テーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

観光研究基礎指導 A

Supervision Seminar on Tourism Research(A)

佐藤 大祐 (SATO DAISUKE)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA125
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 春学期他
単位： 2
科目ナンバリング： TRG5003
使用言語： その他
授業形式： 演習・ゼミ
履修登録方法： 自動登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

2 年次の修士論文執筆に向けて、テーマや方法論について個別に指導を行い、1 年次終了時には、修士論文のフレームが完成することを目標とする。

For the second year master's thesis writing, individual instruction will be carried out regarding topics and methodology with the aim of having students complete an outline of their master's theses by the end of their first year.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 1 年次生を対象に、研究科専任教員が分担して研究全般について個別に指導を行う。

For the first year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing students with individual instruction regarding general research.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：研究の仮テーマの設定 1
- 3 回：研究の仮テーマの設定 2

- 4回：研究の仮テーマの設定3
 5回：文献研究1
 6回：文献研究2
 7回：文献研究3
 8回：文献研究4
 9回：研究方法の検討1
 10回：研究方法の検討2
 11回：研究方法の検討3
 12回：研究計画の策定1
 13回：研究計画の策定2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワーポイント等）の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:		:

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自の仮テーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準（成績評価方法区分：002） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

観光研究基礎指導 A

Supervision Seminar on Tourism Research(A)

毛谷村 英治 (KEYAMURA EIJI)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA127
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 春学期他
単位： 2
科目ナンバリング： TRG5003
使用言語： その他
授業形式： 演習・ゼミ
履修登録方法： 自動登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

2 年次の修士論文執筆に向けて、テーマや方法論について個別に指導を行い、1 年次終了時には、修士論文のフレームが完成することを目標とする。

For the second year master's thesis writing, individual instruction will be carried out regarding topics and methodology with the aim of having students complete an outline of their master's theses by the end of their first year.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 1 年次生を対象に、研究科専任教員が分担して研究全般について個別に指導を行う。

For the first year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing students with individual instruction regarding general research.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

1 回：オリエンテーション

2 回：研究の仮テーマの設定 1

3 回：研究の仮テーマの設定 2

- 4回：研究の仮テーマの設定3
 5回：文献研究1
 6回：文献研究2
 7回：文献研究3
 8回：文献研究4
 9回：研究方法の検討1
 10回：研究方法の検討2
 11回：研究方法の検討3
 12回：研究計画の策定1
 13回：研究計画の策定2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:		:

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自の仮テーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

観光研究基礎指導 A

Supervision Seminar on Tourism Research(A)

野原 克仁 (NOHARA KATSUHITO)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA130
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 春学期他
単位： 2
科目ナンバリング： TRG5003
使用言語： その他
授業形式： 演習・ゼミ
履修登録方法： 自動登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

2 年次の修士論文執筆に向けて、テーマや方法論について個別に指導を行い、1 年次終了時には、修士論文のフレームが完成することを目標とする。

For the second year master's thesis writing, individual instruction will be carried out regarding topics and methodology with the aim of having students complete an outline of their master's theses by the end of their first year.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 1 年次生を対象に、研究科専任教員が分担して研究全般について個別に指導を行う。

For the first year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing students with individual instruction regarding general research.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

1 回：オリエンテーション

2 回：研究の仮テーマの設定 1

3 回：研究の仮テーマの設定 2

- 4回：研究の仮テーマの設定3
 5回：文献研究1
 6回：文献研究2
 7回：文献研究3
 8回：文献研究4
 9回：研究方法の検討1
 10回：研究方法の検討2
 11回：研究方法の検討3
 12回：研究計画の策定1
 13回：研究計画の策定2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワーポイント等）の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:		:

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自の仮テーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準（成績評価方法区分：2） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

観光研究基礎指導 A

Supervision Seminar on Tourism Research(A)

宮崎 友里 (MIYAZAKI YURI)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA133
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 春学期他
単位： 2
科目ナンバリング： TRG5003
使用言語： その他
授業形式： 演習・ゼミ
履修登録方法： 自動登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

2 年次の修士論文執筆に向けて、テーマや方法論について個別に指導を行い、1 年次終了時には、修士論文のフレームが完成することを目標とする。

For the second year master's thesis writing, individual instruction will be carried out regarding topics and methodology with the aim of having students complete an outline of their master's theses by the end of their first year.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 1 年次生を対象に、研究科専任教員が分担して研究全般について個別に指導を行う。

For the first year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing students with individual instruction regarding general research.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

1 回：オリエンテーション

2 回：研究の仮テーマの設定 1

3 回：研究の仮テーマの設定 2

- 4回：研究の仮テーマの設定3
 5回：文献研究1
 6回：文献研究2
 7回：文献研究3
 8回：文献研究4
 9回：研究方法の検討1
 10回：研究方法の検討2
 11回：研究方法の検討3
 12回：研究計画の策定1
 13回：研究計画の策定2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:○
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:○
上記いずれも用いない予定	:		:		

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自の仮テーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

観光研究基礎指導 A

Supervision Seminar on Tourism Research(A)

門田 岳久 (KADOTA TAKEHISA)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA134
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 春学期他
単位： 2
科目ナンバリング： TRG5003
使用言語： その他
授業形式： 演習・ゼミ
履修登録方法： 自動登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

2 年次の修士論文執筆に向けて、テーマや方法論について個別に指導を行い、1 年次終了時には、修士論文のフレームが完成することを目標とする。

For the second year master's thesis writing, individual instruction will be carried out regarding topics and methodology with the aim of having students complete an outline of their master's theses by the end of their first year.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 1 年次生を対象に、研究科専任教員が分担して研究全般について個別に指導を行う。

For the first year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing students with individual instruction regarding general research.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

1 回：オリエンテーション

2 回：研究の仮テーマの設定 1

3 回：研究の仮テーマの設定 2

- 4回：研究の仮テーマの設定3
 5回：文献研究1
 6回：文献研究2
 7回：文献研究3
 8回：文献研究4
 9回：研究方法の検討1
 10回：研究方法の検討2
 11回：研究方法の検討3
 12回：研究計画の策定1
 13回：研究計画の策定2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:○
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:○
上記いずれも用いない予定	:		:		

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自の仮テーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

観光研究基礎指導 A

Supervision Seminar on Tourism Research(A)

東 徹 (AZUMA TORU)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA135
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 春学期他
単位： 2
科目ナンバリング： TRG5003
使用言語： その他
授業形式： 演習・ゼミ
履修登録方法： 自動登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

2 年次の修士論文執筆に向けて、テーマや方法論について個別に指導を行い、1 年次終了時には、修士論文のフレームが完成することを目標とする。

For the second year master's thesis writing, individual instruction will be carried out regarding topics and methodology with the aim of having students complete an outline of their master's theses by the end of their first year.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 1 年次生を対象に、研究科専任教員が分担して研究全般について個別に指導を行う。

For the first year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing students with individual instruction regarding general research.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

1 回：オリエンテーション

2 回：研究の仮テーマの設定 1

3 回：研究の仮テーマの設定 2

- 4回：研究の仮テーマの設定3
 5回：文献研究1
 6回：文献研究2
 7回：文献研究3
 8回：文献研究4
 9回：研究方法の検討1
 10回：研究方法の検討2
 11回：研究方法の検討3
 12回：研究計画の策定1
 13回：研究計画の策定2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:○
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:○
上記いずれも用いない予定	:		:		

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自の仮テーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

観光研究基礎指導 A

Supervision Seminar on Tourism Research(A)

韓 志昊 (HAN JIHO)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA136
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 春学期他
単位： 2
科目ナンバリング： TRG5003
使用言語： その他
授業形式： 演習・ゼミ
履修登録方法： 自動登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

2 年次の修士論文執筆に向けて、テーマや方法論について個別に指導を行い、1 年次終了時には、修士論文のフレームが完成することを目標とする。

For the second year master's thesis writing, individual instruction will be carried out regarding topics and methodology with the aim of having students complete an outline of their master's theses by the end of their first year.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 1 年次生を対象に、研究科専任教員が分担して研究全般について個別に指導を行う。

For the first year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing students with individual instruction regarding general research.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：研究の仮テーマの設定 1
- 3 回：研究の仮テーマの設定 2

- 4回：研究の仮テーマの設定3
 5回：文献研究1
 6回：文献研究2
 7回：文献研究3
 8回：文献研究4
 9回：研究方法の検討1
 10回：研究方法の検討2
 11回：研究方法の検討3
 12回：研究計画の策定1
 13回：研究計画の策定2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:○
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:○
上記いずれも用いない予定	:		:		

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自の仮テーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準（成績評価方法区分：2） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

観光研究基礎指導 A

Supervision Seminar on Tourism Research(A)

羽生 冬佳 (HANYU FUYUKA)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA137
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 春学期他
単位： 2
科目ナンバリング： TRG5003
使用言語： その他
授業形式： 演習・ゼミ
履修登録方法： 自動登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

2 年次の修士論文執筆に向けて、テーマや方法論について個別に指導を行い、1 年次終了時には、修士論文のフレームが完成することを目標とする。

For the second year master's thesis writing, individual instruction will be carried out regarding topics and methodology with the aim of having students complete an outline of their master's theses by the end of their first year.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 1 年次生を対象に、研究科専任教員が分担して研究全般について個別に指導を行う。

For the first year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing students with individual instruction regarding general research.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：研究の仮テーマの設定 1
- 3 回：研究の仮テーマの設定 2

- 4回：研究の仮テーマの設定3
 5回：文献研究1
 6回：文献研究2
 7回：文献研究3
 8回：文献研究4
 9回：研究方法の検討1
 10回：研究方法の検討2
 11回：研究方法の検討3
 12回：研究計画の策定1
 13回：研究計画の策定2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:○
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:○
上記いずれも用いない予定	:		:		

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自の仮テーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

観光研究基礎指導 A

Supervision Seminar on Tourism Research(A)

小野 良平 (ONO RYOHEI)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA138
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 春学期他
単位： 2
科目ナンバリング： TRG5003
使用言語： その他
授業形式： 演習・ゼミ
履修登録方法： 自動登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

2 年次の修士論文執筆に向けて、テーマや方法論について個別に指導を行い、1 年次終了時には、修士論文のフレームが完成することを目標とする。

For the second year master's thesis writing, individual instruction will be carried out regarding topics and methodology with the aim of having students complete an outline of their master's theses by the end of their first year.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 1 年次生を対象に、研究科専任教員が分担して研究全般について個別に指導を行う。

For the first year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing students with individual instruction regarding general research.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：研究の仮テーマの設定 1
- 3 回：研究の仮テーマの設定 2

- 4回：研究の仮テーマの設定3
 5回：文献研究1
 6回：文献研究2
 7回：文献研究3
 8回：文献研究4
 9回：研究方法の検討1
 10回：研究方法の検討2
 11回：研究方法の検討3
 12回：研究計画の策定1
 13回：研究計画の策定2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:○
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:○
上記いずれも用いない予定	:		:		

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自の仮テーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

観光研究基礎指導 A

Supervision Seminar on Tourism Research(A)

久保 忠行 (KUBO TADAYUKI)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA139
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 春学期他
単位： 2
科目ナンバリング： TRG5003
使用言語： その他
授業形式： 演習・ゼミ
履修登録方法： 自動登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

2 年次の修士論文執筆に向けて、テーマや方法論について個別に指導を行い、1 年次終了時には、修士論文のフレームが完成することを目標とする。

For the second year master's thesis writing, individual instruction will be carried out regarding topics and methodology with the aim of having students complete an outline of their master's theses by the end of their first year.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 1 年次生を対象に、研究科専任教員が分担して研究全般について個別に指導を行う。

For the first year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing students with individual instruction regarding general research.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：研究の仮テーマの設定 1
- 3 回：研究の仮テーマの設定 2

- 4回：研究の仮テーマの設定 3
 5回：文献研究 1
 6回：文献研究 2
 7回：文献研究 3
 8回：文献研究 4
 9回：研究方法の検討 1
 10回：研究方法の検討 2
 11回：研究方法の検討 3
 12回：研究計画の策定 1
 13回：研究計画の策定 2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:○
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:○
上記いずれも用いない予定	:		:		

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自の仮テーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

観光研究基礎指導 A

Supervision Seminar on Tourism Research(A)

高岡 文章 (TAKAOKA FUMIAKI)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA140
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 春学期他
単位： 2
科目ナンバリング： TRG5003
使用言語： その他
授業形式： 演習・ゼミ
履修登録方法： 自動登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

2 年次の修士論文執筆に向けて、テーマや方法論について個別に指導を行い、1 年次終了時には、修士論文のフレームが完成することを目標とする。

For the second year master's thesis writing, individual instruction will be carried out regarding topics and methodology with the aim of having students complete an outline of their master's theses by the end of their first year.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 1 年次生を対象に、研究科専任教員が分担して研究全般について個別に指導を行う。

For the first year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing students with individual instruction regarding general research.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

1 回：オリエンテーション

2 回：研究の仮テーマの設定 1

3 回：研究の仮テーマの設定 2

- 4回：研究の仮テーマの設定3
 5回：文献研究1
 6回：文献研究2
 7回：文献研究3
 8回：文献研究4
 9回：研究方法の検討1
 10回：研究方法の検討2
 11回：研究方法の検討3
 12回：研究計画の策定1
 13回：研究計画の策定2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワーポイント等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:		:

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自の仮テーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

観光研究基礎指導 A

Supervision Seminar on Tourism Research(A)

石橋 正孝 (ISHIBASHI MASATAKA)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA141
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 春学期他
単位： 2
科目ナンバリング： TRG5003
使用言語： その他
授業形式： 演習・ゼミ
履修登録方法： 自動登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

2 年次の修士論文執筆に向けて、テーマや方法論について個別に指導を行い、1 年次終了時には、修士論文のフレームが完成することを目標とする。

For the second year master's thesis writing, individual instruction will be carried out regarding topics and methodology with the aim of having students complete an outline of their master's theses by the end of their first year.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 1 年次生を対象に、研究科専任教員が分担して研究全般について個別に指導を行う。

For the first year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing students with individual instruction regarding general research.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：研究の仮テーマの設定 1
- 3 回：研究の仮テーマの設定 2

- 4回：研究の仮テーマの設定 3
 5回：文献研究 1
 6回：文献研究 2
 7回：文献研究 3
 8回：文献研究 4
 9回：研究方法の検討 1
 10回：研究方法の検討 2
 11回：研究方法の検討 3
 12回：研究計画の策定 1
 13回：研究計画の策定 2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:○
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:○
上記いずれも用いない予定	:		:		

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自の仮テーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

観光研究基礎指導 A

Supervision Seminar on Tourism Research(A)

川嶋 久美子 (KAWASHIMA KUMIKO)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA143
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 春学期他
単位： 2
科目ナンバリング： TRG5003
使用言語： その他
授業形式： 演習・ゼミ
履修登録方法： 自動登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

2 年次の修士論文執筆に向けて、テーマや方法論について個別に指導を行い、1 年次終了時には、修士論文のフレームが完成することを目標とする。

For the second year master's thesis writing, individual instruction will be carried out regarding topics and methodology with the aim of having students complete an outline of their master's theses by the end of their first year.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 1 年次生を対象に、研究科専任教員が分担して研究全般について個別に指導を行う。

For the first year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing students with individual instruction regarding general research.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：研究の仮テーマの設定 1
- 3 回：研究の仮テーマの設定 2

- 4回：研究の仮テーマの設定3
 5回：文献研究1
 6回：文献研究2
 7回：文献研究3
 8回：文献研究4
 9回：研究方法の検討1
 10回：研究方法の検討2
 11回：研究方法の検討3
 12回：研究計画の策定1
 13回：研究計画の策定2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:○
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:○
上記いずれも用いない予定	:		:		

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自の仮テーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

観光研究基礎指導 B

Supervision Seminar on Tourism Research(B)

橋本 俊哉 (HASHIMOTO TOSHIYA)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA213
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 秋学期他
単位： 2
科目ナンバリング： TRG5003
使用言語： その他
授業形式： 演習・ゼミ
履修登録方法： 自動登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

2 年次の修士論文執筆に向けて、テーマや方法論について個別に指導を行い、1 年次終了時には、修士論文のフレームが完成することを目標とする。

For the second year master's thesis writing, individual instruction will be carried out regarding topics and methodology with the aim of having students complete an outline of their master's theses by the end of their first year.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 1 年次生を対象に、研究科専任教員が分担して研究全般について個別に指導を行う。

For the first year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing students with individual instruction regarding general research.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：予備調査の実施と経過の報告 1
- 3 回：予備調査の実施と経過の報告 2

- 4回：予備調査の実施と経過の報告 3
 5回：調査結果の分析と経過の報告 1
 6回：調査結果の分析と経過の報告 2
 7回：修士論文構想発表会での報告準備 1
 8回：修士論文構想発表会での報告準備 2
 9回：プレゼンテーション指導
 10回：研究テーマの再検討 1
 11回：研究テーマの再検討 2
 12回：研究計画の再検討 1
 13回：研究計画の再検討 2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:		:

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自の仮テーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

観光研究基礎指導 B

Supervision Seminar on Tourism Research(B)

大橋 健一 (OHASHI KENICHI)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA214
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 秋学期他
単位： 2
科目ナンバリング： TRG5003
使用言語： その他
授業形式： 演習・ゼミ
履修登録方法： 自動登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

2 年次の修士論文執筆に向けて、テーマや方法論について個別に指導を行い、1 年次終了時には、修士論文のフレームが完成することを目標とする。

For the second year master's thesis writing, individual instruction will be carried out regarding topics and methodology with the aim of having students complete an outline of their master's theses by the end of their first year.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 1 年次生を対象に、研究科専任教員が分担して研究全般について個別に指導を行う。

For the first year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing students with individual instruction regarding general research.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：予備調査の実施と経過の報告 1
- 3 回：予備調査の実施と経過の報告 2

- 4回：予備調査の実施と経過の報告 3
 5回：調査結果の分析と経過の報告 1
 6回：調査結果の分析と経過の報告 2
 7回：修士論文構想発表会での報告準備 1
 8回：修士論文構想発表会での報告準備 2
 9回：プレゼンテーション指導
 10回：研究テーマの再検討 1
 11回：研究テーマの再検討 2
 12回：研究計画の再検討 1
 13回：研究計画の再検討 2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:		:

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自の仮テーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

観光研究基礎指導 B

Supervision Seminar on Tourism Research(B)

西川 亮 (NISHIKAWA RYO)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA215
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 秋学期他
単位： 2
科目ナンバリング： TRG5003
使用言語： その他
授業形式： 演習・ゼミ
履修登録方法： 自動登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

2 年次の修士論文執筆に向けて、テーマや方法論について個別に指導を行い、1 年次終了時には、修士論文のフレームが完成することを目標とする。

For the second year master's thesis writing, individual instruction will be carried out regarding topics and methodology with the aim of having students complete an outline of their master's theses by the end of their first year.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 1 年次生を対象に、研究科専任教員が分担して研究全般について個別に指導を行う。

For the first year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing students with individual instruction regarding general research.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：予備調査の実施と経過の報告 1
- 3 回：予備調査の実施と経過の報告 2

- 4回：予備調査の実施と経過の報告 3
 5回：調査結果の分析と経過の報告 1
 6回：調査結果の分析と経過の報告 2
 7回：修士論文構想発表会での報告準備 1
 8回：修士論文構想発表会での報告準備 2
 9回：プレゼンテーション指導
 10回：研究テーマの再検討 1
 11回：研究テーマの再検討 2
 12回：研究計画の再検討 1
 13回：研究計画の再検討 2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:		:

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自の仮テーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

観光研究基礎指導 B

Supervision Seminar on Tourism Research(B)

舩谷 鋭 (MASUTANI SATOSHI)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA217
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 秋学期他
単位： 2
科目ナンバリング： TRG5003
使用言語： その他
授業形式： 演習・ゼミ
履修登録方法： 自動登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

2 年次の修士論文執筆に向けて、テーマや方法論について個別に指導を行い、1 年次終了時には、修士論文のフレームが完成することを目標とする。

For the second year master's thesis writing, individual instruction will be carried out regarding topics and methodology with the aim of having students complete an outline of their master's theses by the end of their first year.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 1 年次生を対象に、研究科専任教員が分担して研究全般について個別に指導を行う。

For the first year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing students with individual instruction regarding general research.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：予備調査の実施と経過の報告 1
- 3 回：予備調査の実施と経過の報告 2

- 4回：予備調査の実施と経過の報告 3
 5回：調査結果の分析と経過の報告 1
 6回：調査結果の分析と経過の報告 2
 7回：修士論文構想発表会での報告準備 1
 8回：修士論文構想発表会での報告準備 2
 9回：プレゼンテーション指導
 10回：研究テーマの再検討 1
 11回：研究テーマの再検討 2
 12回：研究計画の再検討 1
 13回：研究計画の再検討 2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:○
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:○
上記いずれも用いない予定	:		:		

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自の仮テーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

観光研究基礎指導 B

Supervision Seminar on Tourism Research(B)

松村 公明 (MATSUMURA KOUMEI)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA218
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 秋学期他
単位： 2
科目ナンバリング： TRG5003
使用言語： その他
授業形式： 演習・ゼミ
履修登録方法： 自動登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

2 年次の修士論文執筆に向けて、テーマや方法論について個別に指導を行い、1 年次終了時には、修士論文のフレームが完成することを目標とする。

For the second year master's thesis writing, individual instruction will be carried out regarding topics and methodology with the aim of having students complete an outline of their master's theses by the end of their first year.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 1 年次生を対象に、研究科専任教員が分担して研究全般について個別に指導を行う。

For the first year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing students with individual instruction regarding general research.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：予備調査の実施と経過の報告 1
- 3 回：予備調査の実施と経過の報告 2

- 4回：予備調査の実施と経過の報告 3
 5回：調査結果の分析と経過の報告 1
 6回：調査結果の分析と経過の報告 2
 7回：修士論文構想発表会での報告準備 1
 8回：修士論文構想発表会での報告準備 2
 9回：プレゼンテーション指導
 10回：研究テーマの再検討 1
 11回：研究テーマの再検討 2
 12回：研究計画の再検討 1
 13回：研究計画の再検討 2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:○
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:○
上記いずれも用いない予定	:		:		

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自の仮テーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

観光研究基礎指導 B

Supervision Seminar on Tourism Research(B)

葛野 浩昭 (KUZUNO HIROAKI)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA219
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 秋学期他
単位： 2
科目ナンバリング： TRG5003
使用言語： その他
授業形式： 演習・ゼミ
履修登録方法： 自動登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

2 年次の修士論文執筆に向けて、テーマや方法論について個別に指導を行い、1 年次終了時には、修士論文のフレームが完成することを目標とする。

For the second year master's thesis writing, individual instruction will be carried out regarding topics and methodology with the aim of having students complete an outline of their master's theses by the end of their first year.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 1 年次生を対象に、研究科専任教員が分担して研究全般について個別に指導を行う。

For the first year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing students with individual instruction regarding general research.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：予備調査の実施と経過の報告 1
- 3 回：予備調査の実施と経過の報告 2

- 4回：予備調査の実施と経過の報告 3
 5回：調査結果の分析と経過の報告 1
 6回：調査結果の分析と経過の報告 2
 7回：修士論文構想発表会での報告準備 1
 8回：修士論文構想発表会での報告準備 2
 9回：プレゼンテーション指導
 10回：研究テーマの再検討 1
 11回：研究テーマの再検討 2
 12回：研究計画の再検討 1
 13回：研究計画の再検討 2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:		:

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自の仮テーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

観光研究基礎指導 B

Supervision Seminar on Tourism Research(B)

杜 国慶 (DU GUOQING)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA222
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 秋学期他
単位： 2
科目ナンバリング： TRG5003
使用言語： その他
授業形式： 演習・ゼミ
履修登録方法： 自動登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

2 年次の修士論文執筆に向けて、テーマや方法論について個別に指導を行い、1 年次終了時には、修士論文のフレームが完成することを目標とする。

For the second year master's thesis writing, individual instruction will be carried out regarding topics and methodology with the aim of having students complete an outline of their master's theses by the end of their first year.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 1 年次生を対象に、研究科専任教員が分担して研究全般について個別に指導を行う。

For the first year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing students with individual instruction regarding general research.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：予備調査の実施と経過の報告 1
- 3 回：予備調査の実施と経過の報告 2

- 4回：予備調査の実施と経過の報告 3
 5回：調査結果の分析と経過の報告 1
 6回：調査結果の分析と経過の報告 2
 7回：修士論文構想発表会での報告準備 1
 8回：修士論文構想発表会での報告準備 2
 9回：プレゼンテーション指導
 10回：研究テーマの再検討 1
 11回：研究テーマの再検討 2
 12回：研究計画の再検討 1
 13回：研究計画の再検討 2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:		:

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自の仮テーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

観光研究基礎指導 B

Supervision Seminar on Tourism Research(B)

千住 一 (SENJU HAJIME)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA223
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 秋学期他
単位： 2
科目ナンバリング： TRG5003
使用言語： その他
授業形式： 演習・ゼミ
履修登録方法： 自動登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

2 年次の修士論文執筆に向けて、テーマや方法論について個別に指導を行い、1 年次終了時には、修士論文のフレームが完成することを目標とする。

For the second year master's thesis writing, individual instruction will be carried out regarding topics and methodology with the aim of having students complete an outline of their master's theses by the end of their first year.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 1 年次生を対象に、研究科専任教員が分担して研究全般について個別に指導を行う。

For the first year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing students with individual instruction regarding general research.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：予備調査の実施と経過の報告 1
- 3 回：予備調査の実施と経過の報告 2

- 4回：予備調査の実施と経過の報告 3
 5回：調査結果の分析と経過の報告 1
 6回：調査結果の分析と経過の報告 2
 7回：修士論文構想発表会での報告準備 1
 8回：修士論文構想発表会での報告準備 2
 9回：プレゼンテーション指導
 10回：研究テーマの再検討 1
 11回：研究テーマの再検討 2
 12回：研究計画の再検討 1
 13回：研究計画の再検討 2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:		:

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自の仮テーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

観光研究基礎指導 B

Supervision Seminar on Tourism Research(B)

佐藤 大祐 (SATO DAISUKE)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA225
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 秋学期他
単位： 2
科目ナンバリング： TRG5003
使用言語： その他
授業形式： 演習・ゼミ
履修登録方法： 自動登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

2 年次の修士論文執筆に向けて、テーマや方法論について個別に指導を行い、1 年次終了時には、修士論文のフレームが完成することを目標とする。

For the second year master's thesis writing, individual instruction will be carried out regarding topics and methodology with the aim of having students complete an outline of their master's theses by the end of their first year.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 1 年次生を対象に、研究科専任教員が分担して研究全般について個別に指導を行う。

For the first year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing students with individual instruction regarding general research.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：予備調査の実施と経過の報告 1
- 3 回：予備調査の実施と経過の報告 2

- 4回：予備調査の実施と経過の報告 3
 5回：調査結果の分析と経過の報告 1
 6回：調査結果の分析と経過の報告 2
 7回：修士論文構想発表会での報告準備 1
 8回：修士論文構想発表会での報告準備 2
 9回：プレゼンテーション指導
 10回：研究テーマの再検討 1
 11回：研究テーマの再検討 2
 12回：研究計画の再検討 1
 13回：研究計画の再検討 2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:		:

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自の仮テーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：002) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

観光研究基礎指導 B

Supervision Seminar on Tourism Research(B)

毛谷村 英治 (KEYAMURA EIJI)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA227
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 秋学期他
単位： 2
科目ナンバリング： TRG5003
使用言語： その他
授業形式： 演習・ゼミ
履修登録方法： 自動登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

2 年次の修士論文執筆に向けて、テーマや方法論について個別に指導を行い、1 年次終了時には、修士論文のフレームが完成することを目標とする。

For the second year master's thesis writing, individual instruction will be carried out regarding topics and methodology with the aim of having students complete an outline of their master's theses by the end of their first year.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 1 年次生を対象に、研究科専任教員が分担して研究全般について個別に指導を行う。

For the first year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing students with individual instruction regarding general research.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：予備調査の実施と経過の報告 1
- 3 回：予備調査の実施と経過の報告 2

- 4回：予備調査の実施と経過の報告 3
 5回：調査結果の分析と経過の報告 1
 6回：調査結果の分析と経過の報告 2
 7回：修士論文構想発表会での報告準備 1
 8回：修士論文構想発表会での報告準備 2
 9回：プレゼンテーション指導
 10回：研究テーマの再検討 1
 11回：研究テーマの再検討 2
 12回：研究計画の再検討 1
 13回：研究計画の再検討 2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワポ等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:		:

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自の仮テーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

観光研究基礎指導 B

Supervision Seminar on Tourism Research(B)

野原 克仁 (NOHARA KATSUHITO)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA230
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 秋学期他
単位： 2
科目ナンバリング： TRG5003
使用言語： その他
授業形式： 演習・ゼミ
履修登録方法： 自動登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

2 年次の修士論文執筆に向けて、テーマや方法論について個別に指導を行い、1 年次終了時には、修士論文のフレームが完成することを目標とする。

For the second year master's thesis writing, individual instruction will be carried out regarding topics and methodology with the aim of having students complete an outline of their master's theses by the end of their first year.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 1 年次生を対象に、研究科専任教員が分担して研究全般について個別に指導を行う。

For the first year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing students with individual instruction regarding general research.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：予備調査の実施と経過の報告 1
- 3 回：予備調査の実施と経過の報告 2

- 4回：予備調査の実施と経過の報告 3
 5回：調査結果の分析と経過の報告 1
 6回：調査結果の分析と経過の報告 2
 7回：修士論文構想発表会での報告準備 1
 8回：修士論文構想発表会での報告準備 2
 9回：プレゼンテーション指導
 10回：研究テーマの再検討 1
 11回：研究テーマの再検討 2
 12回：研究計画の再検討 1
 13回：研究計画の再検討 2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:		:

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自の仮テーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

観光研究基礎指導 B

Supervision Seminar on Tourism Research(B)

宮崎 友里 (MIYAZAKI YURI)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA233
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 秋学期他
単位： 2
科目ナンバリング： TRG5003
使用言語： その他
授業形式： 演習・ゼミ
履修登録方法： 自動登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

2 年次の修士論文執筆に向けて、テーマや方法論について個別に指導を行い、1 年次終了時には、修士論文のフレームが完成することを目標とする。

For the second year master's thesis writing, individual instruction will be carried out regarding topics and methodology with the aim of having students complete an outline of their master's theses by the end of their first year.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 1 年次生を対象に、研究科専任教員が分担して研究全般について個別に指導を行う。

For the first year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing students with individual instruction regarding general research.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：予備調査の実施と経過の報告 1
- 3 回：予備調査の実施と経過の報告 2

- 4回：予備調査の実施と経過の報告 3
 5回：調査結果の分析と経過の報告 1
 6回：調査結果の分析と経過の報告 2
 7回：修士論文構想発表会での報告準備 1
 8回：修士論文構想発表会での報告準備 2
 9回：プレゼンテーション指導
 10回：研究テーマの再検討 1
 11回：研究テーマの再検討 2
 12回：研究計画の再検討 1
 13回：研究計画の再検討 2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワーポイント等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:	
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:	○
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:	○
上記いずれも用いない予定	:		:		:	

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自の仮テーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

観光研究基礎指導 B

Supervision Seminar on Tourism Research(B)

門田 岳久 (KADOTA TAKEHISA)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA234
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 秋学期他
単位： 2
科目ナンバリング： TRG5003
使用言語： その他
授業形式： 演習・ゼミ
履修登録方法： 自動登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

2 年次の修士論文執筆に向けて、テーマや方法論について個別に指導を行い、1 年次終了時には、修士論文のフレームが完成することを目標とする。

For the second year master's thesis writing, individual instruction will be carried out regarding topics and methodology with the aim of having students complete an outline of their master's theses by the end of their first year.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 1 年次生を対象に、研究科専任教員が分担して研究全般について個別に指導を行う。

For the first year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing students with individual instruction regarding general research.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：予備調査の実施と経過の報告 1
- 3 回：予備調査の実施と経過の報告 2

- 4回：予備調査の実施と経過の報告 3
 5回：調査結果の分析と経過の報告 1
 6回：調査結果の分析と経過の報告 2
 7回：修士論文構想発表会での報告準備 1
 8回：修士論文構想発表会での報告準備 2
 9回：プレゼンテーション指導
 10回：研究テーマの再検討 1
 11回：研究テーマの再検討 2
 12回：研究計画の再検討 1
 13回：研究計画の再検討 2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:		:

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自の仮テーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

観光研究基礎指導 B

Supervision Seminar on Tourism Research(B)

東 徹 (AZUMA TORU)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA235
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 秋学期他
単位： 2
科目ナンバリング： TRG5003
使用言語： その他
授業形式： 演習・ゼミ
履修登録方法： 自動登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

2 年次の修士論文執筆に向けて、テーマや方法論について個別に指導を行い、1 年次終了時には、修士論文のフレームが完成することを目標とする。

For the second year master's thesis writing, individual instruction will be carried out regarding topics and methodology with the aim of having students complete an outline of their master's theses by the end of their first year.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 1 年次生を対象に、研究科専任教員が分担して研究全般について個別に指導を行う。

For the first year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing students with individual instruction regarding general research.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：予備調査の実施と経過の報告 1
- 3 回：予備調査の実施と経過の報告 2

- 4回：予備調査の実施と経過の報告 3
 5回：調査結果の分析と経過の報告 1
 6回：調査結果の分析と経過の報告 2
 7回：修士論文構想発表会での報告準備 1
 8回：修士論文構想発表会での報告準備 2
 9回：プレゼンテーション指導
 10回：研究テーマの再検討 1
 11回：研究テーマの再検討 2
 12回：研究計画の再検討 1
 13回：研究計画の再検討 2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:		:

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自の仮テーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

観光研究基礎指導 B

Supervision Seminar on Tourism Research(B)

韓 志昊 (HAN JIHO)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA236
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 秋学期他
単位： 2
科目ナンバリング： TRG5003
使用言語： その他
授業形式： 演習・ゼミ
履修登録方法： 自動登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

2 年次の修士論文執筆に向けて、テーマや方法論について個別に指導を行い、1 年次終了時には、修士論文のフレームが完成することを目標とする。

For the second year master's thesis writing, individual instruction will be carried out regarding topics and methodology with the aim of having students complete an outline of their master's theses by the end of their first year.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 1 年次生を対象に、研究科専任教員が分担して研究全般について個別に指導を行う。

For the first year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing students with individual instruction regarding general research.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：予備調査の実施と経過の報告 1
- 3 回：予備調査の実施と経過の報告 2

- 4回：予備調査の実施と経過の報告 3
 5回：調査結果の分析と経過の報告 1
 6回：調査結果の分析と経過の報告 2
 7回：修士論文構想発表会での報告準備 1
 8回：修士論文構想発表会での報告準備 2
 9回：プレゼンテーション指導
 10回：研究テーマの再検討 1
 11回：研究テーマの再検討 2
 12回：研究計画の再検討 1
 13回：研究計画の再検討 2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:○
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:○
上記いずれも用いない予定	:		:		

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自の仮テーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

観光研究基礎指導 B

Supervision Seminar on Tourism Research(B)

羽生 冬佳 (HANYU FUYUKA)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA237
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 秋学期他
単位： 2
科目ナンバリング： TRG5003
使用言語： その他
授業形式： 演習・ゼミ
履修登録方法： 自動登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

2 年次の修士論文執筆に向けて、テーマや方法論について個別に指導を行い、1 年次終了時には、修士論文のフレームが完成することを目標とする。

For the second year master's thesis writing, individual instruction will be carried out regarding topics and methodology with the aim of having students complete an outline of their master's theses by the end of their first year.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 1 年次生を対象に、研究科専任教員が分担して研究全般について個別に指導を行う。

For the first year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing students with individual instruction regarding general research.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：予備調査の実施と経過の報告 1
- 3 回：予備調査の実施と経過の報告 2

- 4回：予備調査の実施と経過の報告 3
 5回：調査結果の分析と経過の報告 1
 6回：調査結果の分析と経過の報告 2
 7回：修士論文構想発表会での報告準備 1
 8回：修士論文構想発表会での報告準備 2
 9回：プレゼンテーション指導
 10回：研究テーマの再検討 1
 11回：研究テーマの再検討 2
 12回：研究計画の再検討 1
 13回：研究計画の再検討 2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:		:

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自の仮テーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

観光研究基礎指導 B

Supervision Seminar on Tourism Research(B)

小野 良平 (ONO RYOHEI)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA238
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 秋学期他
単位： 2
科目ナンバリング： TRG5003
使用言語： その他
授業形式： 演習・ゼミ
履修登録方法： 自動登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

2 年次の修士論文執筆に向けて、テーマや方法論について個別に指導を行い、1 年次終了時には、修士論文のフレームが完成することを目標とする。

For the second year master's thesis writing, individual instruction will be carried out regarding topics and methodology with the aim of having students complete an outline of their master's theses by the end of their first year.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 1 年次生を対象に、研究科専任教員が分担して研究全般について個別に指導を行う。

For the first year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing students with individual instruction regarding general research.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：予備調査の実施と経過の報告 1
- 3 回：予備調査の実施と経過の報告 2

- 4回：予備調査の実施と経過の報告 3
 5回：調査結果の分析と経過の報告 1
 6回：調査結果の分析と経過の報告 2
 7回：修士論文構想発表会での報告準備 1
 8回：修士論文構想発表会での報告準備 2
 9回：プレゼンテーション指導
 10回：研究テーマの再検討 1
 11回：研究テーマの再検討 2
 12回：研究計画の再検討 1
 13回：研究計画の再検討 2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:○
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:○
上記いずれも用いない予定	:		:		

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自の仮テーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

観光研究基礎指導 B

Supervision Seminar on Tourism Research(B)

久保 忠行 (KUBO TADAYUKI)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA239
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 秋学期他
単位： 2
科目ナンバリング： TRG5003
使用言語： その他
授業形式： 演習・ゼミ
履修登録方法： 自動登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

2 年次の修士論文執筆に向けて、テーマや方法論について個別に指導を行い、1 年次終了時には、修士論文のフレームが完成することを目標とする。

For the second year master's thesis writing, individual instruction will be carried out regarding topics and methodology with the aim of having students complete an outline of their master's theses by the end of their first year.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 1 年次生を対象に、研究科専任教員が分担して研究全般について個別に指導を行う。

For the first year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing students with individual instruction regarding general research.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：予備調査の実施と経過の報告 1
- 3 回：予備調査の実施と経過の報告 2

- 4回：予備調査の実施と経過の報告 3
 5回：調査結果の分析と経過の報告 1
 6回：調査結果の分析と経過の報告 2
 7回：修士論文構想発表会での報告準備 1
 8回：修士論文構想発表会での報告準備 2
 9回：プレゼンテーション指導
 10回：研究テーマの再検討 1
 11回：研究テーマの再検討 2
 12回：研究計画の再検討 1
 13回：研究計画の再検討 2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:○
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:○
上記いずれも用いない予定	:		:		

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自の仮テーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

観光研究基礎指導 B

Supervision Seminar on Tourism Research(B)

高岡 文章 (TAKAOKA FUMIAKI)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA240
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 秋学期他
単位： 2
科目ナンバリング： TRG5003
使用言語： その他
授業形式： 演習・ゼミ
履修登録方法： 自動登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

2 年次の修士論文執筆に向けて、テーマや方法論について個別に指導を行い、1 年次終了時には、修士論文のフレームが完成することを目標とする。

For the second year master's thesis writing, individual instruction will be carried out regarding topics and methodology with the aim of having students complete an outline of their master's theses by the end of their first year.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 1 年次生を対象に、研究科専任教員が分担して研究全般について個別に指導を行う。

For the first year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing students with individual instruction regarding general research.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：予備調査の実施と経過の報告 1
- 3 回：予備調査の実施と経過の報告 2

- 4回：予備調査の実施と経過の報告 3
 5回：調査結果の分析と経過の報告 1
 6回：調査結果の分析と経過の報告 2
 7回：修士論文構想発表会での報告準備 1
 8回：修士論文構想発表会での報告準備 2
 9回：プレゼンテーション指導
 10回：研究テーマの再検討 1
 11回：研究テーマの再検討 2
 12回：研究計画の再検討 1
 13回：研究計画の再検討 2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:○
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:○
上記いずれも用いない予定	:		:		

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自の仮テーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

観光研究基礎指導 B

Supervision Seminar on Tourism Research(B)

石橋 正孝 (ISHIBASHI MASATAKA)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA241
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 秋学期他
単位： 2
科目ナンバリング： TRG5003
使用言語： その他
授業形式： 演習・ゼミ
履修登録方法： 自動登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

2 年次の修士論文執筆に向けて、テーマや方法論について個別に指導を行い、1 年次終了時には、修士論文のフレームが完成することを目標とする。

For the second year master's thesis writing, individual instruction will be carried out regarding topics and methodology with the aim of having students complete an outline of their master's theses by the end of their first year.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 1 年次生を対象に、研究科専任教員が分担して研究全般について個別に指導を行う。

For the first year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing students with individual instruction regarding general research.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：予備調査の実施と経過の報告 1
- 3 回：予備調査の実施と経過の報告 2

- 4回：予備調査の実施と経過の報告 3
 5回：調査結果の分析と経過の報告 1
 6回：調査結果の分析と経過の報告 2
 7回：修士論文構想発表会での報告準備 1
 8回：修士論文構想発表会での報告準備 2
 9回：プレゼンテーション指導
 10回：研究テーマの再検討 1
 11回：研究テーマの再検討 2
 12回：研究計画の再検討 1
 13回：研究計画の再検討 2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワポ等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:		:

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自の仮テーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

観光研究基礎指導 B

Supervision Seminar on Tourism Research(B)

川嶋 久美子 (KAWASHIMA KUMIKO)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA243
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 秋学期他
単位： 2
科目ナンバリング： TRG5003
使用言語： その他
授業形式： 演習・ゼミ
履修登録方法： 自動登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

2 年次の修士論文執筆に向けて、テーマや方法論について個別に指導を行い、1 年次終了時には、修士論文のフレームが完成することを目標とする。

For the second year master's thesis writing, individual instruction will be carried out regarding topics and methodology with the aim of having students complete an outline of their master's theses by the end of their first year.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 1 年次生を対象に、研究科専任教員が分担して研究全般について個別に指導を行う。

For the first year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing students with individual instruction regarding general research.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：予備調査の実施と経過の報告 1
- 3 回：予備調査の実施と経過の報告 2

- 4回：予備調査の実施と経過の報告 3
 5回：調査結果の分析と経過の報告 1
 6回：調査結果の分析と経過の報告 2
 7回：修士論文構想発表会での報告準備 1
 8回：修士論文構想発表会での報告準備 2
 9回：プレゼンテーション指導
 10回：研究テーマの再検討 1
 11回：研究テーマの再検討 2
 12回：研究計画の再検討 1
 13回：研究計画の再検討 2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:○
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:○
上記いずれも用いない予定	:		:		

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自の仮テーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

修士論文指導演習 A

Supervision Seminar on Master's Thesis(A)

橋本 俊哉 (HASHIMOTO TOSHIYA)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA313
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 春学期他
単位： 2
科目ナンバリング： TRG6003
使用言語： その他
授業形式： 演習・ゼミ
履修登録方法： 自動登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

修士論文執筆に向けて、テーマや方法について個別に研究指導を行い、修士論文の完成を目指す。

For writing the master's theses, individual instruction will be carried out regarding topics and methods with the goal of completing the master's theses.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 2 年生次を対象に、研究科専任教員が分担して修士論文の作成全般について個別に指導を行う。

For the second year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing individualized general instruction regarding completing the master's theses.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：研究テーマおよびこれまでの成果の確認
- 3 回：研究計画の確認
- 4 回：調査の実施と経過の報告 1
- 5 回：調査の実施と経過の報告 2

- 6回：調査結果の分析と経過の報告 1
 7回：調査結果の分析と経過の報告 2
 8回：中間報告会での報告準備 1
 9回：中間報告会での報告準備 2
 10回：研究構成の再検討 1
 11回：研究構成の再検討 2
 12回：調査分析計画の再検討 1
 13回：調査分析計画の再検討 2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:		:

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自のテーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 修士論文, 発表および研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

修士論文指導演習 A

Supervision Seminar on Master's Thesis(A)

大橋 健一 (OHASHI KENICHI)

開講年度：	2024
科目設置学部：	観光学研究科
科目コード等：	UA314
授業形態：	対面（全回対面）
授業形態（補足事項）	
校地：	新座
学期：	春学期他
単位：	2
科目ナンバリング：	TRG6003
使用言語：	その他
授業形式：	演習・ゼミ
履修登録方法：	自動登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	

授業の目標 / Course Objectives

修士論文執筆に向けて、テーマや方法について個別に研究指導を行い、修士論文の完成を目指す。

For writing the master's theses, individual instruction will be carried out regarding topics and methods with the goal of completing the master's theses.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 2 年生次を対象に、研究科専任教員が分担して修士論文の作成全般について個別に指導を行う。

For the second year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing individualized general instruction regarding completing the master's theses.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：研究テーマおよびこれまでの成果の確認
- 3 回：研究計画の確認
- 4 回：調査の実施と経過の報告 1
- 5 回：調査の実施と経過の報告 2

- 6回：調査結果の分析と経過の報告 1
 7回：調査結果の分析と経過の報告 2
 8回：中間報告会での報告準備 1
 9回：中間報告会での報告準備 2
 10回：研究構成の再検討 1
 11回：研究構成の再検討 2
 12回：調査分析計画の再検討 1
 13回：調査分析計画の再検討 2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:○
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:○
上記いずれも用いない予定	:		:		

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自のテーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 修士論文, 発表および研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

修士論文指導演習 A

Supervision Seminar on Master's Thesis(A)

西川 亮 (NISHIKAWA RYO)

開講年度：	2024
科目設置学部：	観光学研究科
科目コード等：	UA315
授業形態：	対面（全回対面）
授業形態（補足事項）	
校地：	新座
学期：	春学期他
単位：	2
科目ナンバリング：	TRG6003
使用言語：	その他
授業形式：	演習・ゼミ
履修登録方法：	自動登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	

授業の目標 / Course Objectives

修士論文執筆に向けて、テーマや方法について個別に研究指導を行い、修士論文の完成を目指す。

For writing the master's theses, individual instruction will be carried out regarding topics and methods with the goal of completing the master's theses.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 2 年生次を対象に、研究科専任教員が分担して修士論文の作成全般について個別に指導を行う。

For the second year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing individualized general instruction regarding completing the master's theses.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：研究テーマおよびこれまでの成果の確認
- 3 回：研究計画の確認
- 4 回：調査の実施と経過の報告 1
- 5 回：調査の実施と経過の報告 2

- 6回：調査結果の分析と経過の報告 1
 7回：調査結果の分析と経過の報告 2
 8回：中間報告会での報告準備 1
 9回：中間報告会での報告準備 2
 10回：研究構成の再検討 1
 11回：研究構成の再検討 2
 12回：調査分析計画の再検討 1
 13回：調査分析計画の再検討 2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:		:

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自のテーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 修士論文, 発表および研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

修士論文指導演習 A

Supervision Seminar on Master's Thesis(A)

舩谷 鋭 (MASUTANI SATOSHI)

開講年度：	2024
科目設置学部：	観光学研究科
科目コード等：	UA317
授業形態：	対面（全回対面）
授業形態（補足事項）	
校地：	新座
学期：	春学期他
単位：	2
科目ナンバリング：	TRG6003
使用言語：	その他
授業形式：	演習・ゼミ
履修登録方法：	自動登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	

授業の目標 / Course Objectives

修士論文執筆に向けて、テーマや方法について個別に研究指導を行い、修士論文の完成を目指す。

For writing the master's theses, individual instruction will be carried out regarding topics and methods with the goal of completing the master's theses.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 2 年生次を対象に、研究科専任教員が分担して修士論文の作成全般について個別に指導を行う。

For the second year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing individualized general instruction regarding completing the master's theses.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：研究テーマおよびこれまでの成果の確認
- 3 回：研究計画の確認
- 4 回：調査の実施と経過の報告 1
- 5 回：調査の実施と経過の報告 2

- 6回：調査結果の分析と経過の報告 1
- 7回：調査結果の分析と経過の報告 2
- 8回：中間報告会での報告準備 1
- 9回：中間報告会での報告準備 2
- 10回：研究構成の再検討 1
- 11回：研究構成の再検討 2
- 12回：調査分析計画の再検討 1
- 13回：調査分析計画の再検討 2
- 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:		:

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自のテーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 修士論文, 発表および研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

修士論文指導演習 A

Supervision Seminar on Master's Thesis(A)

松村 公明 (MATSUMURA KOUMEI)

開講年度：	2024
科目設置学部：	観光学研究科
科目コード等：	UA318
授業形態：	対面（全回対面）
授業形態（補足事項）	
校地：	新座
学期：	春学期他
単位：	2
科目ナンバリング：	TRG6003
使用言語：	その他
授業形式：	演習・ゼミ
履修登録方法：	自動登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	

授業の目標 / Course Objectives

修士論文執筆に向けて、テーマや方法について個別に研究指導を行い、修士論文の完成を目指す。

For writing the master's theses, individual instruction will be carried out regarding topics and methods with the goal of completing the master's theses.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 2 年生次を対象に、研究科専任教員が分担して修士論文の作成全般について個別に指導を行う。

For the second year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing individualized general instruction regarding completing the master's theses.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：研究テーマおよびこれまでの成果の確認
- 3 回：研究計画の確認
- 4 回：調査の実施と経過の報告 1
- 5 回：調査の実施と経過の報告 2

- 6回：調査結果の分析と経過の報告 1
 7回：調査結果の分析と経過の報告 2
 8回：中間報告会での報告準備 1
 9回：中間報告会での報告準備 2
 10回：研究構成の再検討 1
 11回：研究構成の再検討 2
 12回：調査分析計画の再検討 1
 13回：調査分析計画の再検討 2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:		:

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自のテーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 修士論文, 発表および研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

修士論文指導演習 A

Supervision Seminar on Master's Thesis(A)

葛野 浩昭 (KUZUNO HIROAKI)

開講年度：	2024
科目設置学部：	観光学研究科
科目コード等：	UA319
授業形態：	対面（全回対面）
授業形態（補足事項）	
校地：	新座
学期：	春学期他
単位：	2
科目ナンバリング：	TRG6003
使用言語：	その他
授業形式：	演習・ゼミ
履修登録方法：	自動登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	

授業の目標 / Course Objectives

修士論文執筆に向けて、テーマや方法について個別に研究指導を行い、修士論文の完成を目指す。

For writing the master's theses, individual instruction will be carried out regarding topics and methods with the goal of completing the master's theses.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 2 年生次を対象に、研究科専任教員が分担して修士論文の作成全般について個別に指導を行う。

For the second year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing individualized general instruction regarding completing the master's theses.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：研究テーマおよびこれまでの成果の確認
- 3 回：研究計画の確認
- 4 回：調査の実施と経過の報告 1
- 5 回：調査の実施と経過の報告 2

- 6回：調査結果の分析と経過の報告 1
 7回：調査結果の分析と経過の報告 2
 8回：中間報告会での報告準備 1
 9回：中間報告会での報告準備 2
 10回：研究構成の再検討 1
 11回：研究構成の再検討 2
 12回：調査分析計画の再検討 1
 13回：調査分析計画の再検討 2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:○
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:○
上記いずれも用いない予定	:		:		

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自のテーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 修士論文, 発表および研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

修士論文指導演習 A

Supervision Seminar on Master's Thesis(A)

杜 国慶 (DU GUOQING)

開講年度：	2024
科目設置学部：	観光学研究科
科目コード等：	UA322
授業形態：	対面（全回対面）
授業形態（補足事項）	
校地：	新座
学期：	春学期他
単位：	2
科目ナンバリング：	TRG6003
使用言語：	その他
授業形式：	演習・ゼミ
履修登録方法：	自動登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	

授業の目標 / Course Objectives

修士論文執筆に向けて、テーマや方法について個別に研究指導を行い、修士論文の完成を目指す。

For writing the master's theses, individual instruction will be carried out regarding topics and methods with the goal of completing the master's theses.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 2 年生次を対象に、研究科専任教員が分担して修士論文の作成全般について個別に指導を行う。

For the second year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing individualized general instruction regarding completing the master's theses.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：研究テーマおよびこれまでの成果の確認
- 3 回：研究計画の確認
- 4 回：調査の実施と経過の報告 1
- 5 回：調査の実施と経過の報告 2

- 6回：調査結果の分析と経過の報告 1
 7回：調査結果の分析と経過の報告 2
 8回：中間報告会での報告準備 1
 9回：中間報告会での報告準備 2
 10回：研究構成の再検討 1
 11回：研究構成の再検討 2
 12回：調査分析計画の再検討 1
 13回：調査分析計画の再検討 2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:		:

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自のテーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 修士論文, 発表および研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

修士論文指導演習 A

Supervision Seminar on Master's Thesis(A)

千住 一 (SENJU HAJIME)

開講年度：	2024
科目設置学部：	観光学研究科
科目コード等：	UA323
授業形態：	対面（全回対面）
授業形態（補足事項）	
校地：	新座
学期：	春学期他
単位：	2
科目ナンバリング：	TRG6003
使用言語：	その他
授業形式：	演習・ゼミ
履修登録方法：	自動登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	

授業の目標 / Course Objectives

修士論文執筆に向けて、テーマや方法について個別に研究指導を行い、修士論文の完成を目指す。

For writing the master's theses, individual instruction will be carried out regarding topics and methods with the goal of completing the master's theses.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 2 年生次を対象に、研究科専任教員が分担して修士論文の作成全般について個別に指導を行う。

For the second year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing individualized general instruction regarding completing the master's theses.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：研究テーマおよびこれまでの成果の確認
- 3 回：研究計画の確認
- 4 回：調査の実施と経過の報告 1
- 5 回：調査の実施と経過の報告 2

- 6回：調査結果の分析と経過の報告 1
 7回：調査結果の分析と経過の報告 2
 8回：中間報告会での報告準備 1
 9回：中間報告会での報告準備 2
 10回：研究構成の再検討 1
 11回：研究構成の再検討 2
 12回：調査分析計画の再検討 1
 13回：調査分析計画の再検討 2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:○
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:○
上記いずれも用いない予定	:		:		

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自のテーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 修士論文, 発表および研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

修士論文指導演習 A

Supervision Seminar on Master's Thesis(A)

佐藤 大祐 (SATO DAISUKE)

開講年度：	2024
科目設置学部：	観光学研究科
科目コード等：	UA325
授業形態：	対面（全回対面）
授業形態（補足事項）	
校地：	新座
学期：	春学期他
単位：	2
科目ナンバリング：	TRG6003
使用言語：	その他
授業形式：	演習・ゼミ
履修登録方法：	自動登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	

授業の目標 / Course Objectives

修士論文執筆に向けて、テーマや方法について個別に研究指導を行い、修士論文の完成を目指す。

For writing the master's theses, individual instruction will be carried out regarding topics and methods with the goal of completing the master's theses.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 2 年生次を対象に、研究科専任教員が分担して修士論文の作成全般について個別に指導を行う。

For the second year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing individualized general instruction regarding completing the master's theses.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：研究テーマおよびこれまでの成果の確認
- 3 回：研究計画の確認
- 4 回：調査の実施と経過の報告 1
- 5 回：調査の実施と経過の報告 2

- 6回：調査結果の分析と経過の報告 1
 7回：調査結果の分析と経過の報告 2
 8回：中間報告会での報告準備 1
 9回：中間報告会での報告準備 2
 10回：研究構成の再検討 1
 11回：研究構成の再検討 2
 12回：調査分析計画の再検討 1
 13回：調査分析計画の再検討 2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:○
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:○
上記いずれも用いない予定	:		:		

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自のテーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：002) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 修士論文, 発表および研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

修士論文指導演習 A

Supervision Seminar on Master's Thesis(A)

毛谷村 英治 (KEYAMURA EIJI)

開講年度：	2024
科目設置学部：	観光学研究科
科目コード等：	UA327
授業形態：	対面（全回対面）
授業形態（補足事項）	
校地：	新座
学期：	春学期他
単位：	2
科目ナンバリング：	TRG6003
使用言語：	その他
授業形式：	演習・ゼミ
履修登録方法：	自動登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	

授業の目標 / Course Objectives

修士論文執筆に向けて、テーマや方法について個別に研究指導を行い、修士論文の完成を目指す。

For writing the master's theses, individual instruction will be carried out regarding topics and methods with the goal of completing the master's theses.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 2 年生次を対象に、研究科専任教員が分担して修士論文の作成全般について個別に指導を行う。

For the second year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing individualized general instruction regarding completing the master's theses.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：研究テーマおよびこれまでの成果の確認
- 3 回：研究計画の確認
- 4 回：調査の実施と経過の報告 1
- 5 回：調査の実施と経過の報告 2

- 6回：調査結果の分析と経過の報告 1
 7回：調査結果の分析と経過の報告 2
 8回：中間報告会での報告準備 1
 9回：中間報告会での報告準備 2
 10回：研究構成の再検討 1
 11回：研究構成の再検討 2
 12回：調査分析計画の再検討 1
 13回：調査分析計画の再検討 2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:		:

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自のテーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 修士論文, 発表および研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

修士論文指導演習 A

Supervision Seminar on Master's Thesis(A)

野原 克仁 (NOHARA KATSUHITO)

開講年度：	2024
科目設置学部：	観光学研究科
科目コード等：	UA330
授業形態：	対面（全回対面）
授業形態（補足事項）	
校地：	新座
学期：	春学期他
単位：	2
科目ナンバリング：	TRG6003
使用言語：	その他
授業形式：	演習・ゼミ
履修登録方法：	自動登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	

授業の目標 / Course Objectives

修士論文執筆に向けて、テーマや方法について個別に研究指導を行い、修士論文の完成を目指す。

For writing the master's theses, individual instruction will be carried out regarding topics and methods with the goal of completing the master's theses.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 2 年生次を対象に、研究科専任教員が分担して修士論文の作成全般について個別に指導を行う。

For the second year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing individualized general instruction regarding completing the master's theses.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：研究テーマおよびこれまでの成果の確認
- 3 回：研究計画の確認
- 4 回：調査の実施と経過の報告 1
- 5 回：調査の実施と経過の報告 2

- 6回：調査結果の分析と経過の報告 1
 7回：調査結果の分析と経過の報告 2
 8回：中間報告会での報告準備 1
 9回：中間報告会での報告準備 2
 10回：研究構成の再検討 1
 11回：研究構成の再検討 2
 12回：調査分析計画の再検討 1
 13回：調査分析計画の再検討 2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:		:

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自のテーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 修士論文, 発表および研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

修士論文指導演習 A

Supervision Seminar on Master's Thesis(A)

宮崎 友里 (MIYAZAKI YURI)

開講年度：	2024
科目設置学部：	観光学研究科
科目コード等：	UA333
授業形態：	対面（全回対面）
授業形態（補足事項）	
校地：	新座
学期：	春学期他
単位：	2
科目ナンバリング：	TRG6003
使用言語：	その他
授業形式：	演習・ゼミ
履修登録方法：	自動登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	

授業の目標 / Course Objectives

修士論文執筆に向けて、テーマや方法について個別に研究指導を行い、修士論文の完成を目指す。

For writing the master's theses, individual instruction will be carried out regarding topics and methods with the goal of completing the master's theses.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 2 年生次を対象に、研究科専任教員が分担して修士論文の作成全般について個別に指導を行う。

For the second year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing individualized general instruction regarding completing the master's theses.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：研究テーマおよびこれまでの成果の確認
- 3 回：研究計画の確認
- 4 回：調査の実施と経過の報告 1
- 5 回：調査の実施と経過の報告 2

- 6回：調査結果の分析と経過の報告 1
 7回：調査結果の分析と経過の報告 2
 8回：中間報告会での報告準備 1
 9回：中間報告会での報告準備 2
 10回：研究構成の再検討 1
 11回：研究構成の再検討 2
 12回：調査分析計画の再検討 1
 13回：調査分析計画の再検討 2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:○
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:○
上記いずれも用いない予定	:		:		

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自のテーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 修士論文, 発表および研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

修士論文指導演習 A

Supervision Seminar on Master's Thesis(A)

門田 岳久 (KADOTA TAKEHISA)

開講年度：	2024
科目設置学部：	観光学研究科
科目コード等：	UA334
授業形態：	対面（全回対面）
授業形態（補足事項）	
校地：	新座
学期：	春学期他
単位：	2
科目ナンバリング：	TRG6003
使用言語：	その他
授業形式：	演習・ゼミ
履修登録方法：	自動登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	

授業の目標 / Course Objectives

修士論文執筆に向けて、テーマや方法について個別に研究指導を行い、修士論文の完成を目指す。

For writing the master's theses, individual instruction will be carried out regarding topics and methods with the goal of completing the master's theses.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 2 年生次を対象に、研究科専任教員が分担して修士論文の作成全般について個別に指導を行う。

For the second year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing individualized general instruction regarding completing the master's theses.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：研究テーマおよびこれまでの成果の確認
- 3 回：研究計画の確認
- 4 回：調査の実施と経過の報告 1
- 5 回：調査の実施と経過の報告 2

- 6回：調査結果の分析と経過の報告 1
 7回：調査結果の分析と経過の報告 2
 8回：中間報告会での報告準備 1
 9回：中間報告会での報告準備 2
 10回：研究構成の再検討 1
 11回：研究構成の再検討 2
 12回：調査分析計画の再検討 1
 13回：調査分析計画の再検討 2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:○
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:○
上記いずれも用いない予定	:		:		

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自のテーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 修士論文, 発表および研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

修士論文指導演習 A

Supervision Seminar on Master's Thesis(A)

東 徹 (AZUMA TORU)

開講年度： 2024

科目設置学部： 観光学研究科

科目コード等： UA335

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 新座

学期： 春学期他

単位： 2

科目ナンバリング： TRG6003

使用言語： その他

授業形式： 演習・ゼミ

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

授業の目標 / Course Objectives

修士論文執筆に向けて、テーマや方法について個別に研究指導を行い、修士論文の完成を目指す。

For writing the master's theses, individual instruction will be carried out regarding topics and methods with the goal of completing the master's theses.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 2 年生次を対象に、研究科専任教員が分担して修士論文の作成全般について個別に指導を行う。

For the second year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing individualized general instruction regarding completing the master's theses.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

1 回：オリエンテーション

2 回：研究テーマおよびこれまでの成果の確認

3 回：研究計画の確認

4 回：調査の実施と経過の報告 1

5 回：調査の実施と経過の報告 2

- 6回：調査結果の分析と経過の報告 1
 7回：調査結果の分析と経過の報告 2
 8回：中間報告会での報告準備 1
 9回：中間報告会での報告準備 2
 10回：研究構成の再検討 1
 11回：研究構成の再検討 2
 12回：調査分析計画の再検討 1
 13回：調査分析計画の再検討 2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:○
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:○
上記いずれも用いない予定	:		:		

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自のテーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 修士論文, 発表および研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

修士論文指導演習 A

Supervision Seminar on Master's Thesis(A)

韓 志昊 (HAN JIHO)

開講年度： 2024

科目設置学部： 観光学研究科

科目コード等： UA336

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 新座

学期： 春学期他

単位： 2

科目ナンバリング： TRG6003

使用言語： その他

授業形式： 演習・ゼミ

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

授業の目標 / Course Objectives

修士論文執筆に向けて、テーマや方法について個別に研究指導を行い、修士論文の完成を目指す。

For writing the master's theses, individual instruction will be carried out regarding topics and methods with the goal of completing the master's theses.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 2 年生次を対象に、研究科専任教員が分担して修士論文の作成全般について個別に指導を行う。

For the second year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing individualized general instruction regarding completing the master's theses.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

1 回：オリエンテーション

2 回：研究テーマおよびこれまでの成果の確認

3 回：研究計画の確認

4 回：調査の実施と経過の報告 1

5 回：調査の実施と経過の報告 2

- 6回：調査結果の分析と経過の報告 1
- 7回：調査結果の分析と経過の報告 2
- 8回：中間報告会での報告準備 1
- 9回：中間報告会での報告準備 2
- 10回：研究構成の再検討 1
- 11回：研究構成の再検討 2
- 12回：調査分析計画の再検討 1
- 13回：調査分析計画の再検討 2
- 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:		:

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自のテーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 修士論文, 発表および研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

修士論文指導演習 A

Supervision Seminar on Master's Thesis(A)

羽生 冬佳 (HANYU FUYUKA)

開講年度：	2024
科目設置学部：	観光学研究科
科目コード等：	UA337
授業形態：	対面（全回対面）
授業形態（補足事項）	
校地：	新座
学期：	春学期他
単位：	2
科目ナンバリング：	TRG6003
使用言語：	その他
授業形式：	演習・ゼミ
履修登録方法：	自動登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	

授業の目標 / Course Objectives

修士論文執筆に向けて、テーマや方法について個別に研究指導を行い、修士論文の完成を目指す。

For writing the master's theses, individual instruction will be carried out regarding topics and methods with the goal of completing the master's theses.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 2 年生次を対象に、研究科専任教員が分担して修士論文の作成全般について個別に指導を行う。

For the second year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing individualized general instruction regarding completing the master's theses.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：研究テーマおよびこれまでの成果の確認
- 3 回：研究計画の確認
- 4 回：調査の実施と経過の報告 1
- 5 回：調査の実施と経過の報告 2

- 6回：調査結果の分析と経過の報告 1
 7回：調査結果の分析と経過の報告 2
 8回：中間報告会での報告準備 1
 9回：中間報告会での報告準備 2
 10回：研究構成の再検討 1
 11回：研究構成の再検討 2
 12回：調査分析計画の再検討 1
 13回：調査分析計画の再検討 2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:○
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:○
上記いずれも用いない予定	:		:		

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自のテーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 修士論文, 発表および研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

修士論文指導演習 A

Supervision Seminar on Master's Thesis(A)

小野 良平 (ONO RYOHEI)

開講年度：	2024
科目設置学部：	観光学研究科
科目コード等：	UA338
授業形態：	対面（全回対面）
授業形態（補足事項）	
校地：	新座
学期：	春学期他
単位：	2
科目ナンバリング：	TRG6003
使用言語：	その他
授業形式：	演習・ゼミ
履修登録方法：	自動登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	

授業の目標 / Course Objectives

修士論文執筆に向けて、テーマや方法について個別に研究指導を行い、修士論文の完成を目指す。

For writing the master's theses, individual instruction will be carried out regarding topics and methods with the goal of completing the master's theses.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 2 年生次を対象に、研究科専任教員が分担して修士論文の作成全般について個別に指導を行う。

For the second year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing individualized general instruction regarding completing the master's theses.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：研究テーマおよびこれまでの成果の確認
- 3 回：研究計画の確認
- 4 回：調査の実施と経過の報告 1
- 5 回：調査の実施と経過の報告 2

- 6回：調査結果の分析と経過の報告 1
 7回：調査結果の分析と経過の報告 2
 8回：中間報告会での報告準備 1
 9回：中間報告会での報告準備 2
 10回：研究構成の再検討 1
 11回：研究構成の再検討 2
 12回：調査分析計画の再検討 1
 13回：調査分析計画の再検討 2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:		:

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自のテーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 修士論文, 発表および研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

修士論文指導演習 A

Supervision Seminar on Master's Thesis(A)

久保 忠行 (KUBO TADAYUKI)

開講年度：	2024
科目設置学部：	観光学研究科
科目コード等：	UA339
授業形態：	対面（全回対面）
授業形態（補足事項）	
校地：	新座
学期：	春学期他
単位：	2
科目ナンバリング：	TRG6003
使用言語：	その他
授業形式：	演習・ゼミ
履修登録方法：	自動登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	

授業の目標 / Course Objectives

修士論文執筆に向けて、テーマや方法について個別に研究指導を行い、修士論文の完成を目指す。

For writing the master's theses, individual instruction will be carried out regarding topics and methods with the goal of completing the master's theses.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 2 年生次を対象に、研究科専任教員が分担して修士論文の作成全般について個別に指導を行う。

For the second year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing individualized general instruction regarding completing the master's theses.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：研究テーマおよびこれまでの成果の確認
- 3 回：研究計画の確認
- 4 回：調査の実施と経過の報告 1
- 5 回：調査の実施と経過の報告 2

- 6回：調査結果の分析と経過の報告 1
- 7回：調査結果の分析と経過の報告 2
- 8回：中間報告会での報告準備 1
- 9回：中間報告会での報告準備 2
- 10回：研究構成の再検討 1
- 11回：研究構成の再検討 2
- 12回：調査分析計画の再検討 1
- 13回：調査分析計画の再検討 2
- 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:		:

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自のテーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 修士論文, 発表および研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

修士論文指導演習 A

Supervision Seminar on Master's Thesis(A)

高岡 文章 (TAKAOKA FUMIAKI)

開講年度：	2024
科目設置学部：	観光学研究科
科目コード等：	UA340
授業形態：	対面（全回対面）
授業形態（補足事項）	
校地：	新座
学期：	春学期他
単位：	2
科目ナンバリング：	TRG6003
使用言語：	その他
授業形式：	演習・ゼミ
履修登録方法：	自動登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	

授業の目標 / Course Objectives

修士論文執筆に向けて、テーマや方法について個別に研究指導を行い、修士論文の完成を目指す。

For writing the master's theses, individual instruction will be carried out regarding topics and methods with the goal of completing the master's theses.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 2 年生次を対象に、研究科専任教員が分担して修士論文の作成全般について個別に指導を行う。

For the second year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing individualized general instruction regarding completing the master's theses.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：研究テーマおよびこれまでの成果の確認
- 3 回：研究計画の確認
- 4 回：調査の実施と経過の報告 1
- 5 回：調査の実施と経過の報告 2

- 6回：調査結果の分析と経過の報告 1
 7回：調査結果の分析と経過の報告 2
 8回：中間報告会での報告準備 1
 9回：中間報告会での報告準備 2
 10回：研究構成の再検討 1
 11回：研究構成の再検討 2
 12回：調査分析計画の再検討 1
 13回：調査分析計画の再検討 2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:		:

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自のテーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 修士論文, 発表および研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

修士論文指導演習 A

Supervision Seminar on Master's Thesis(A)

石橋 正孝 (ISHIBASHI MASATAKA)

開講年度：	2024
科目設置学部：	観光学研究科
科目コード等：	UA341
授業形態：	対面（全回対面）
授業形態（補足事項）	
校地：	新座
学期：	春学期他
単位：	2
科目ナンバリング：	TRG6003
使用言語：	その他
授業形式：	演習・ゼミ
履修登録方法：	自動登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	

授業の目標 / Course Objectives

修士論文執筆に向けて、テーマや方法について個別に研究指導を行い、修士論文の完成を目指す。

For writing the master's theses, individual instruction will be carried out regarding topics and methods with the goal of completing the master's theses.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 2 年生次を対象に、研究科専任教員が分担して修士論文の作成全般について個別に指導を行う。

For the second year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing individualized general instruction regarding completing the master's theses.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：研究テーマおよびこれまでの成果の確認
- 3 回：研究計画の確認
- 4 回：調査の実施と経過の報告 1
- 5 回：調査の実施と経過の報告 2

- 6回：調査結果の分析と経過の報告 1
 7回：調査結果の分析と経過の報告 2
 8回：中間報告会での報告準備 1
 9回：中間報告会での報告準備 2
 10回：研究構成の再検討 1
 11回：研究構成の再検討 2
 12回：調査分析計画の再検討 1
 13回：調査分析計画の再検討 2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:○
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:○
上記いずれも用いない予定	:		:		

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自のテーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 修士論文, 発表および研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

修士論文指導演習 A

Supervision Seminar on Master's Thesis(A)

川嶋 久美子 (KAWASHIMA KUMIKO)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA343
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 春学期他
単位： 2
科目ナンバリング： TRG6003
使用言語： その他
授業形式： 演習・ゼミ
履修登録方法： 自動登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

修士論文執筆に向けて、テーマや方法について個別に研究指導を行い、修士論文の完成を目指す。

For writing the master's theses, individual instruction will be carried out regarding topics and methods with the goal of completing the master's theses.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 2 年生次を対象に、研究科専任教員が分担して修士論文の作成全般について個別に指導を行う。

For the second year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing individualized general instruction regarding completing the master's theses.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：研究テーマおよびこれまでの成果の確認
- 3 回：研究計画の確認
- 4 回：調査の実施と経過の報告 1
- 5 回：調査の実施と経過の報告 2

- 6回：調査結果の分析と経過の報告 1
 7回：調査結果の分析と経過の報告 2
 8回：中間報告会での報告準備 1
 9回：中間報告会での報告準備 2
 10回：研究構成の再検討 1
 11回：研究構成の再検討 2
 12回：調査分析計画の再検討 1
 13回：調査分析計画の再検討 2
 14回：まとめと今後の作業の確認

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:○
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:○
上記いずれも用いない予定	:		:		

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に、各自のテーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 修士論文, 発表および研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

修士論文指導演習 B

Supervision Seminar on Master's Thesis(B)

橋本 俊哉 (HASHIMOTO TOSHIYA)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA413
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 秋学期他
単位： 2
科目ナンバリング： TRG6003
使用言語： その他
授業形式： 演習・ゼミ
履修登録方法： 自動登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

修士論文執筆に向けて、テーマや方法について個別に研究指導を行い、修士論文の完成を目指す。

For writing the master's theses, individual instruction will be carried out regarding topics and methods with the goal of completing the master's theses.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 2 年生次を対象に、研究科専任教員が分担して修士論文の作成全般について個別に指導を行う。

For the second year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing individualized general instruction regarding completing the master's theses.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 1
- 3 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 2
- 4 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 3
- 5 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 4

- 6回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 1
 7回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 2
 8回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 3
 9回：論文の修正指導 1
 10回：論文の修正指導 2
 11回：本提出に向けた修士論文の執筆指導 1
 12回：本提出に向けた修士論文の執筆指導 2
 13回：修士論文報告会，審査会での発表準備 1
 14回：修士論文報告会，審査会での発表準備 2

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:		:

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に，各自のテーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準（成績評価方法区分：2） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 修士論文，発表および研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

修士論文指導演習 B

Supervision Seminar on Master's Thesis(B)

大橋 健一 (OHASHI KENICHI)

開講年度：	2024
科目設置学部：	観光学研究科
科目コード等：	UA414
授業形態：	対面（全回対面）
授業形態（補足事項）	
校地：	新座
学期：	秋学期他
単位：	2
科目ナンバリング：	TRG6003
使用言語：	その他
授業形式：	演習・ゼミ
履修登録方法：	自動登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	

授業の目標 / Course Objectives

修士論文執筆に向けて、テーマや方法について個別に研究指導を行い、修士論文の完成を目指す。

For writing the master's theses, individual instruction will be carried out regarding topics and methods with the goal of completing the master's theses.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 2 年生次を対象に、研究科専任教員が分担して修士論文の作成全般について個別に指導を行う。

For the second year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing individualized general instruction regarding completing the master's theses.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 1
- 3 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 2
- 4 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 3
- 5 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 4

- 6回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 1
 7回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 2
 8回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 3
 9回：論文の修正指導 1
 10回：論文の修正指導 2
 11回：本提出に向けた修士論文の執筆指導 1
 12回：本提出に向けた修士論文の執筆指導 2
 13回：修士論文報告会，審査会での発表準備 1
 14回：修士論文報告会，審査会での発表準備 2

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:		:

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に，各自のテーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準（成績評価方法区分：2） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 修士論文，発表および研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

修士論文指導演習 B

Supervision Seminar on Master's Thesis(B)

西川 亮 (NISHIKAWA RYO)

開講年度：	2024
科目設置学部：	観光学研究科
科目コード等：	UA415
授業形態：	対面（全回対面）
授業形態（補足事項）	
校地：	新座
学期：	秋学期他
単位：	2
科目ナンバリング：	TRG6003
使用言語：	その他
授業形式：	演習・ゼミ
履修登録方法：	自動登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	

授業の目標 / Course Objectives

修士論文執筆に向けて、テーマや方法について個別に研究指導を行い、修士論文の完成を目指す。

For writing the master's theses, individual instruction will be carried out regarding topics and methods with the goal of completing the master's theses.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 2 年生次を対象に、研究科専任教員が分担して修士論文の作成全般について個別に指導を行う。

For the second year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing individualized general instruction regarding completing the master's theses.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 1
- 3 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 2
- 4 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 3
- 5 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 4

- 6回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 1
 7回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 2
 8回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 3
 9回：論文の修正指導 1
 10回：論文の修正指導 2
 11回：本提出に向けた修士論文の執筆指導 1
 12回：本提出に向けた修士論文の執筆指導 2
 13回：修士論文報告会，審査会での発表準備 1
 14回：修士論文報告会，審査会での発表準備 2

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワポ等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:	
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:	○
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:	○
上記いずれも用いない予定	:		:		:	

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に，各自のテーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 修士論文，発表および研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

修士論文指導演習 B

Supervision Seminar on Master's Thesis(B)

舩谷 鋭 (MASUTANI SATOSHI)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA417
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 秋学期他
単位： 2
科目ナンバリング： TRG6003
使用言語： その他
授業形式： 演習・ゼミ
履修登録方法： 自動登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

修士論文執筆に向けて、テーマや方法について個別に研究指導を行い、修士論文の完成を目指す。

For writing the master's theses, individual instruction will be carried out regarding topics and methods with the goal of completing the master's theses.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 2 年生次を対象に、研究科専任教員が分担して修士論文の作成全般について個別に指導を行う。

For the second year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing individualized general instruction regarding completing the master's theses.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 1
- 3 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 2
- 4 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 3
- 5 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 4

- 6回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 1
 7回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 2
 8回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 3
 9回：論文の修正指導 1
 10回：論文の修正指導 2
 11回：本提出に向けた修士論文の執筆指導 1
 12回：本提出に向けた修士論文の執筆指導 2
 13回：修士論文報告会，審査会での発表準備 1
 14回：修士論文報告会，審査会での発表準備 2

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワポ等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:		:

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に，各自のテーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 修士論文，発表および研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

修士論文指導演習 B

Supervision Seminar on Master's Thesis(B)

松村 公明 (MATSUMURA KOUMEI)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA418
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 秋学期他
単位： 2
科目ナンバリング： TRG6003
使用言語： その他
授業形式： 演習・ゼミ
履修登録方法： 自動登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

修士論文執筆に向けて、テーマや方法について個別に研究指導を行い、修士論文の完成を目指す。

For writing the master's theses, individual instruction will be carried out regarding topics and methods with the goal of completing the master's theses.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 2 年生次を対象に、研究科専任教員が分担して修士論文の作成全般について個別に指導を行う。

For the second year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing individualized general instruction regarding completing the master's theses.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 1
- 3 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 2
- 4 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 3
- 5 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 4

- 6回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 1
 7回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 2
 8回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 3
 9回：論文の修正指導 1
 10回：論文の修正指導 2
 11回：本提出に向けた修士論文の執筆指導 1
 12回：本提出に向けた修士論文の執筆指導 2
 13回：修士論文報告会，審査会での発表準備 1
 14回：修士論文報告会，審査会での発表準備 2

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:○
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:○
上記いずれも用いない予定	:		:		

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に，各自のテーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準（成績評価方法区分：2） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 修士論文，発表および研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

修士論文指導演習 B

Supervision Seminar on Master's Thesis(B)

葛野 浩昭 (KUZUNO HIROAKI)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA419
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 秋学期他
単位： 2
科目ナンバリング： TRG6003
使用言語： その他
授業形式： 演習・ゼミ
履修登録方法： 自動登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

修士論文執筆に向けて、テーマや方法について個別に研究指導を行い、修士論文の完成を目指す。

For writing the master's theses, individual instruction will be carried out regarding topics and methods with the goal of completing the master's theses.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 2 年生次を対象に、研究科専任教員が分担して修士論文の作成全般について個別に指導を行う。

For the second year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing individualized general instruction regarding completing the master's theses.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 1
- 3 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 2
- 4 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 3
- 5 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 4

- 6回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 1
 7回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 2
 8回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 3
 9回：論文の修正指導 1
 10回：論文の修正指導 2
 11回：本提出に向けた修士論文の執筆指導 1
 12回：本提出に向けた修士論文の執筆指導 2
 13回：修士論文報告会，審査会での発表準備 1
 14回：修士論文報告会，審査会での発表準備 2

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワポ等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:○
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:○
上記いずれも用いない予定	:		:		

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に，各自のテーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 修士論文，発表および研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

修士論文指導演習 B

Supervision Seminar on Master's Thesis(B)

杜 国慶 (DU GUOQING)

開講年度：	2024
科目設置学部：	観光学研究科
科目コード等：	UA422
授業形態：	対面（全回対面）
授業形態（補足事項）	
校地：	新座
学期：	秋学期他
単位：	2
科目ナンバリング：	TRG6003
使用言語：	その他
授業形式：	演習・ゼミ
履修登録方法：	自動登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	

授業の目標 / Course Objectives

修士論文執筆に向けて、テーマや方法について個別に研究指導を行い、修士論文の完成を目指す。

For writing the master's theses, individual instruction will be carried out regarding topics and methods with the goal of completing the master's theses.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 2 年生次を対象に、研究科専任教員が分担して修士論文の作成全般について個別に指導を行う。

For the second year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing individualized general instruction regarding completing the master's theses.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 1
- 3 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 2
- 4 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 3
- 5 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 4

- 6回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 1
 7回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 2
 8回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 3
 9回：論文の修正指導 1
 10回：論文の修正指導 2
 11回：本提出に向けた修士論文の執筆指導 1
 12回：本提出に向けた修士論文の執筆指導 2
 13回：修士論文報告会，審査会での発表準備 1
 14回：修士論文報告会，審査会での発表準備 2

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワポ等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:		:

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に，各自のテーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 修士論文，発表および研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

修士論文指導演習 B

Supervision Seminar on Master's Thesis(B)

千住 一 (SENJU HAJIME)

開講年度：	2024
科目設置学部：	観光学研究科
科目コード等：	UA423
授業形態：	対面（全回対面）
授業形態（補足事項）	
校地：	新座
学期：	秋学期他
単位：	2
科目ナンバリング：	TRG6003
使用言語：	その他
授業形式：	演習・ゼミ
履修登録方法：	自動登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	

授業の目標 / Course Objectives

修士論文執筆に向けて、テーマや方法について個別に研究指導を行い、修士論文の完成を目指す。

For writing the master's theses, individual instruction will be carried out regarding topics and methods with the goal of completing the master's theses.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 2 年生次を対象に、研究科専任教員が分担して修士論文の作成全般について個別に指導を行う。

For the second year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing individualized general instruction regarding completing the master's theses.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 1
- 3 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 2
- 4 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 3
- 5 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 4

- 6回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 1
 7回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 2
 8回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 3
 9回：論文の修正指導 1
 10回：論文の修正指導 2
 11回：本提出に向けた修士論文の執筆指導 1
 12回：本提出に向けた修士論文の執筆指導 2
 13回：修士論文報告会，審査会での発表準備 1
 14回：修士論文報告会，審査会での発表準備 2

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:		:

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に，各自のテーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準（成績評価方法区分：2） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 修士論文，発表および研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

修士論文指導演習 B

Supervision Seminar on Master's Thesis(B)

佐藤 大祐 (SATO DAISUKE)

開講年度：	2024
科目設置学部：	観光学研究科
科目コード等：	UA425
授業形態：	対面（全回対面）
授業形態（補足事項）	
校地：	新座
学期：	秋学期他
単位：	2
科目ナンバリング：	TRG6003
使用言語：	その他
授業形式：	演習・ゼミ
履修登録方法：	自動登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	

授業の目標 / Course Objectives

修士論文執筆に向けて、テーマや方法について個別に研究指導を行い、修士論文の完成を目指す。

For writing the master's theses, individual instruction will be carried out regarding topics and methods with the goal of completing the master's theses.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 2 年生次を対象に、研究科専任教員が分担して修士論文の作成全般について個別に指導を行う。

For the second year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing individualized general instruction regarding completing the master's theses.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 1
- 3 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 2
- 4 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 3
- 5 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 4

- 6回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 1
 7回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 2
 8回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 3
 9回：論文の修正指導 1
 10回：論文の修正指導 2
 11回：本提出に向けた修士論文の執筆指導 1
 12回：本提出に向けた修士論文の執筆指導 2
 13回：修士論文報告会，審査会での発表準備 1
 14回：修士論文報告会，審査会での発表準備 2

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:○
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:○
上記いずれも用いない予定	:		:		

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に，各自のテーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準（成績評価方法区分：002） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 修士論文，発表および研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

修士論文指導演習 B

Supervision Seminar on Master's Thesis(B)

毛谷村 英治 (KEYAMURA EIJI)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA427
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 秋学期他
単位： 2
科目ナンバリング： TRG6003
使用言語： その他
授業形式： 演習・ゼミ
履修登録方法： 自動登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

修士論文執筆に向けて、テーマや方法について個別に研究指導を行い、修士論文の完成を目指す。

For writing the master's theses, individual instruction will be carried out regarding topics and methods with the goal of completing the master's theses.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 2 年生次を対象に、研究科専任教員が分担して修士論文の作成全般について個別に指導を行う。

For the second year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing individualized general instruction regarding completing the master's theses.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 1
- 3 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 2
- 4 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 3
- 5 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 4

- 6回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 1
 7回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 2
 8回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 3
 9回：論文の修正指導 1
 10回：論文の修正指導 2
 11回：本提出に向けた修士論文の執筆指導 1
 12回：本提出に向けた修士論文の執筆指導 2
 13回：修士論文報告会，審査会での発表準備 1
 14回：修士論文報告会，審査会での発表準備 2

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:		:

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に，各自のテーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準（成績評価方法区分：2） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 修士論文，発表および研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

修士論文指導演習 B

Supervision Seminar on Master's Thesis(B)

野原 克仁 (NOHARA KATSUHITO)

開講年度：	2024
科目設置学部：	観光学研究科
科目コード等：	UA430
授業形態：	対面（全回対面）
授業形態（補足事項）	
校地：	新座
学期：	秋学期他
単位：	2
科目ナンバリング：	TRG6003
使用言語：	その他
授業形式：	演習・ゼミ
履修登録方法：	自動登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	

授業の目標 / Course Objectives

修士論文執筆に向けて、テーマや方法について個別に研究指導を行い、修士論文の完成を目指す。

For writing the master's theses, individual instruction will be carried out regarding topics and methods with the goal of completing the master's theses.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 2 年生次を対象に、研究科専任教員が分担して修士論文の作成全般について個別に指導を行う。

For the second year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing individualized general instruction regarding completing the master's theses.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 1
- 3 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 2
- 4 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 3
- 5 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 4

- 6回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 1
 7回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 2
 8回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 3
 9回：論文の修正指導 1
 10回：論文の修正指導 2
 11回：本提出に向けた修士論文の執筆指導 1
 12回：本提出に向けた修士論文の執筆指導 2
 13回：修士論文報告会，審査会での発表準備 1
 14回：修士論文報告会，審査会での発表準備 2

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:○
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:○
上記いずれも用いない予定	:		:		

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に，各自のテーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準（成績評価方法区分：2） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 修士論文，発表および研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

修士論文指導演習 B

Supervision Seminar on Master's Thesis(B)

宮崎 友里 (MIYAZAKI YURI)

開講年度：	2024
科目設置学部：	観光学研究科
科目コード等：	UA433
授業形態：	対面（全回対面）
授業形態（補足事項）	
校地：	新座
学期：	秋学期他
単位：	2
科目ナンバリング：	TRG6003
使用言語：	その他
授業形式：	演習・ゼミ
履修登録方法：	自動登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	

授業の目標 / Course Objectives

修士論文執筆に向けて、テーマや方法について個別に研究指導を行い、修士論文の完成を目指す。

For writing the master's theses, individual instruction will be carried out regarding topics and methods with the goal of completing the master's theses.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 2 年生次を対象に、研究科専任教員が分担して修士論文の作成全般について個別に指導を行う。

For the second year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing individualized general instruction regarding completing the master's theses.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 1
- 3 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 2
- 4 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 3
- 5 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 4

- 6回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 1
 7回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 2
 8回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 3
 9回：論文の修正指導 1
 10回：論文の修正指導 2
 11回：本提出に向けた修士論文の執筆指導 1
 12回：本提出に向けた修士論文の執筆指導 2
 13回：修士論文報告会，審査会での発表準備 1
 14回：修士論文報告会，審査会での発表準備 2

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワポ等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:		:

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に，各自のテーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 修士論文，発表および研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

修士論文指導演習 B

Supervision Seminar on Master's Thesis(B)

門田 岳久 (KADOTA TAKEHISA)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA434
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 秋学期他
単位： 2
科目ナンバリング： TRG6003
使用言語： その他
授業形式： 演習・ゼミ
履修登録方法： 自動登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

修士論文執筆に向けて、テーマや方法について個別に研究指導を行い、修士論文の完成を目指す。

For writing the master's theses, individual instruction will be carried out regarding topics and methods with the goal of completing the master's theses.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 2 年生次を対象に、研究科専任教員が分担して修士論文の作成全般について個別に指導を行う。

For the second year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing individualized general instruction regarding completing the master's theses.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 1
- 3 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 2
- 4 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 3
- 5 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 4

- 6回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 1
 7回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 2
 8回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 3
 9回：論文の修正指導 1
 10回：論文の修正指導 2
 11回：本提出に向けた修士論文の執筆指導 1
 12回：本提出に向けた修士論文の執筆指導 2
 13回：修士論文報告会，審査会での発表準備 1
 14回：修士論文報告会，審査会での発表準備 2

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:		:

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に，各自のテーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準（成績評価方法区分：2） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 修士論文，発表および研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

修士論文指導演習 B

Supervision Seminar on Master's Thesis(B)

東 徹 (AZUMA TORU)

開講年度：	2024
科目設置学部：	観光学研究科
科目コード等：	UA435
授業形態：	対面（全回対面）
授業形態（補足事項）	
校地：	新座
学期：	秋学期他
単位：	2
科目ナンバリング：	TRG6003
使用言語：	その他
授業形式：	演習・ゼミ
履修登録方法：	自動登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	

授業の目標 / Course Objectives

修士論文執筆に向けて、テーマや方法について個別に研究指導を行い、修士論文の完成を目指す。

For writing the master's theses, individual instruction will be carried out regarding topics and methods with the goal of completing the master's theses.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 2 年生次を対象に、研究科専任教員が分担して修士論文の作成全般について個別に指導を行う。

For the second year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing individualized general instruction regarding completing the master's theses.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 1
- 3 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 2
- 4 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 3
- 5 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 4

- 6回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 1
 7回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 2
 8回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 3
 9回：論文の修正指導 1
 10回：論文の修正指導 2
 11回：本提出に向けた修士論文の執筆指導 1
 12回：本提出に向けた修士論文の執筆指導 2
 13回：修士論文報告会，審査会での発表準備 1
 14回：修士論文報告会，審査会での発表準備 2

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワポ等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:		:

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に，各自のテーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 修士論文，発表および研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

修士論文指導演習 B

Supervision Seminar on Master's Thesis(B)

韓 志昊 (HAN JIHO)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA436
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 秋学期他
単位： 2
科目ナンバリング： TRG6003
使用言語： その他
授業形式： 演習・ゼミ
履修登録方法： 自動登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

修士論文執筆に向けて、テーマや方法について個別に研究指導を行い、修士論文の完成を目指す。

For writing the master's theses, individual instruction will be carried out regarding topics and methods with the goal of completing the master's theses.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 2 年生次を対象に、研究科専任教員が分担して修士論文の作成全般について個別に指導を行う。

For the second year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing individualized general instruction regarding completing the master's theses.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 1
- 3 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 2
- 4 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 3
- 5 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 4

- 6回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 1
 7回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 2
 8回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 3
 9回：論文の修正指導 1
 10回：論文の修正指導 2
 11回：本提出に向けた修士論文の執筆指導 1
 12回：本提出に向けた修士論文の執筆指導 2
 13回：修士論文報告会，審査会での発表準備 1
 14回：修士論文報告会，審査会での発表準備 2

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワポ等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:○
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:○
上記いずれも用いない予定	:		:		

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に，各自のテーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 修士論文，発表および研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

修士論文指導演習 B

Supervision Seminar on Master's Thesis(B)

羽生 冬佳 (HANYU FUYUKA)

開講年度：	2024
科目設置学部：	観光学研究科
科目コード等：	UA437
授業形態：	対面（全回対面）
授業形態（補足事項）	
校地：	新座
学期：	秋学期他
単位：	2
科目ナンバリング：	TRG6003
使用言語：	その他
授業形式：	演習・ゼミ
履修登録方法：	自動登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	

授業の目標 / Course Objectives

修士論文執筆に向けて、テーマや方法について個別に研究指導を行い、修士論文の完成を目指す。

For writing the master's theses, individual instruction will be carried out regarding topics and methods with the goal of completing the master's theses.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 2 年生次を対象に、研究科専任教員が分担して修士論文の作成全般について個別に指導を行う。

For the second year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing individualized general instruction regarding completing the master's theses.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 1
- 3 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 2
- 4 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 3
- 5 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 4

- 6回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 1
 7回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 2
 8回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 3
 9回：論文の修正指導 1
 10回：論文の修正指導 2
 11回：本提出に向けた修士論文の執筆指導 1
 12回：本提出に向けた修士論文の執筆指導 2
 13回：修士論文報告会，審査会での発表準備 1
 14回：修士論文報告会，審査会での発表準備 2

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワポ等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:	
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:	○
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:	○
上記いずれも用いない予定	:		:		:	

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に，各自のテーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 修士論文，発表および研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

修士論文指導演習 B

Supervision Seminar on Master's Thesis(B)

小野 良平 (ONO RYOHEI)

開講年度：	2024
科目設置学部：	観光学研究科
科目コード等：	UA438
授業形態：	対面（全回対面）
授業形態（補足事項）	
校地：	新座
学期：	秋学期他
単位：	2
科目ナンバリング：	TRG6003
使用言語：	その他
授業形式：	演習・ゼミ
履修登録方法：	自動登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	

授業の目標 / Course Objectives

修士論文執筆に向けて、テーマや方法について個別に研究指導を行い、修士論文の完成を目指す。

For writing the master's theses, individual instruction will be carried out regarding topics and methods with the goal of completing the master's theses.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 2 年生次を対象に、研究科専任教員が分担して修士論文の作成全般について個別に指導を行う。

For the second year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing individualized general instruction regarding completing the master's theses.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 1
- 3 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 2
- 4 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 3
- 5 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 4

- 6回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 1
 7回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 2
 8回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 3
 9回：論文の修正指導 1
 10回：論文の修正指導 2
 11回：本提出に向けた修士論文の執筆指導 1
 12回：本提出に向けた修士論文の執筆指導 2
 13回：修士論文報告会，審査会での発表準備 1
 14回：修士論文報告会，審査会での発表準備 2

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワポ等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:○
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:○
上記いずれも用いない予定	:		:		

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に，各自のテーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：2) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 修士論文，発表および研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

修士論文指導演習 B

Supervision Seminar on Master's Thesis(B)

久保 忠行 (KUBO TADAYUKI)

開講年度： 2024

科目設置学部： 観光学研究科

科目コード等： UA439

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 新座

学期： 秋学期他

単位： 2

科目ナンバリング： TRG6003

使用言語： その他

授業形式： 演習・ゼミ

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

授業の目標 / Course Objectives

修士論文執筆に向けて、テーマや方法について個別に研究指導を行い、修士論文の完成を目指す。

For writing the master's theses, individual instruction will be carried out regarding topics and methods with the goal of completing the master's theses.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 2 年生次を対象に、研究科専任教員が分担して修士論文の作成全般について個別に指導を行う。

For the second year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing individualized general instruction regarding completing the master's theses.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

1 回：オリエンテーション

2 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 1

3 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 2

4 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 3

5 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 4

- 6回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 1
 7回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 2
 8回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 3
 9回：論文の修正指導 1
 10回：論文の修正指導 2
 11回：本提出に向けた修士論文の執筆指導 1
 12回：本提出に向けた修士論文の執筆指導 2
 13回：修士論文報告会，審査会での発表準備 1
 14回：修士論文報告会，審査会での発表準備 2

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:		:

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に，各自のテーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準（成績評価方法区分：2） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 修士論文，発表および研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

修士論文指導演習 B

Supervision Seminar on Master's Thesis(B)

高岡 文章 (TAKAOKA FUMIAKI)

開講年度：	2024
科目設置学部：	観光学研究科
科目コード等：	UA440
授業形態：	対面（全回対面）
授業形態（補足事項）	
校地：	新座
学期：	秋学期他
単位：	2
科目ナンバリング：	TRG6003
使用言語：	その他
授業形式：	演習・ゼミ
履修登録方法：	自動登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	

授業の目標 / Course Objectives

修士論文執筆に向けて、テーマや方法について個別に研究指導を行い、修士論文の完成を目指す。

For writing the master's theses, individual instruction will be carried out regarding topics and methods with the goal of completing the master's theses.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 2 年生次を対象に、研究科専任教員が分担して修士論文の作成全般について個別に指導を行う。

For the second year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing individualized general instruction regarding completing the master's theses.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 1
- 3 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 2
- 4 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 3
- 5 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 4

- 6回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 1
 7回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 2
 8回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 3
 9回：論文の修正指導 1
 10回：論文の修正指導 2
 11回：本提出に向けた修士論文の執筆指導 1
 12回：本提出に向けた修士論文の執筆指導 2
 13回：修士論文報告会，審査会での発表準備 1
 14回：修士論文報告会，審査会での発表準備 2

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:		:

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に，各自のテーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準（成績評価方法区分：2） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 修士論文，発表および研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

修士論文指導演習 B

Supervision Seminar on Master's Thesis(B)

石橋 正孝 (ISHIBASHI MASATAKA)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA441
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 秋学期他
単位： 2
科目ナンバリング： TRG6003
使用言語： その他
授業形式： 演習・ゼミ
履修登録方法： 自動登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

修士論文執筆に向けて、テーマや方法について個別に研究指導を行い、修士論文の完成を目指す。

For writing the master's theses, individual instruction will be carried out regarding topics and methods with the goal of completing the master's theses.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 2 年生次を対象に、研究科専任教員が分担して修士論文の作成全般について個別に指導を行う。

For the second year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing individualized general instruction regarding completing the master's theses.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 1
- 3 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 2
- 4 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 3
- 5 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 4

- 6回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 1
 7回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 2
 8回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 3
 9回：論文の修正指導 1
 10回：論文の修正指導 2
 11回：本提出に向けた修士論文の執筆指導 1
 12回：本提出に向けた修士論文の執筆指導 2
 13回：修士論文報告会，審査会での発表準備 1
 14回：修士論文報告会，審査会での発表準備 2

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート：○
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:○
上記いずれも用いない予定	:				

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に，各自のテーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準（成績評価方法区分：2） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 修士論文，発表および研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

修士論文指導演習 B

Supervision Seminar on Master's Thesis(B)

川嶋 久美子 (KAWASHIMA KUMIKO)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA443
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 秋学期他
単位： 2
科目ナンバリング： TRG6003
使用言語： その他
授業形式： 演習・ゼミ
履修登録方法： 自動登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

修士論文執筆に向けて、テーマや方法について個別に研究指導を行い、修士論文の完成を目指す。

For writing the master's theses, individual instruction will be carried out regarding topics and methods with the goal of completing the master's theses.

授業の内容 / Course Contents

前期課程 2 年生次を対象に、研究科専任教員が分担して修士論文の作成全般について個別に指導を行う。

For the second year of the master's program, instructors in the research department will take turns providing individualized general instruction regarding completing the master's theses.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 1
- 3 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 2
- 4 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 3
- 5 回：調査結果の分析・考察の実施と経過報告 4

- 6回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 1
 7回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 2
 8回：仮提出に向けた修士論文の執筆指導 3
 9回：論文の修正指導 1
 10回：論文の修正指導 2
 11回：本提出に向けた修士論文の執筆指導 1
 12回：本提出に向けた修士論文の執筆指導 2
 13回：修士論文報告会，審査会での発表準備 1
 14回：修士論文報告会，審査会での発表準備 2

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:		:

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

指導内容を参考に，各自のテーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準（成績評価方法区分：2） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 修士論文，発表および研究活動の状況により総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

観光経済学研究

Tourism Economics

観光現象を経済学的に分析する

野原 克仁 (NOHARA KATSUHITO)

開講年度： 2024

科目設置学部： 観光学研究科

科目コード等： UA551

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 新座

学期： 秋学期

単位： 2

科目ナンバリング： TRG5300

使用言語： 日本語

授業形式： 講義

履修登録方法： 科目コード登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

授業の目標 / Course Objectives

観光を経済学的に分析するための基礎知識を習得する。特に、ミクロ経済学の知識を習得し、経済における観光の重要性について理解を深める。経済学的な直観から数学的な定量化へと進む観光の経済分析を学ぶことの重要性を理解できるようになる。

Students will acquire basic knowledge of analyzing tourism from an economic perspective. In particular, this course aims to acquire knowledge of microeconomics and deepen understanding of tourism's importance to the economy. Students will be able to understand the importance of studying an economic analysis of tourism that progresses from economic intuition to mathematical quantification.

授業の内容 / Course Contents

観光経済学に関する資料もしくはテキストを用い、観光経済学領域の研究動向について理解する。特に、自然環境と観光とのつながりを意識し、観光が地方の発展にどのように資するかについて経済学の視点から観光を分析できる力を身につける。そのためにも、データ分析ができるようになるために、データの読み方や計量経済学の内容についても紹介する。なお、学生同士のディスカッションやプレゼンテーションを行なう予定であ

る。

Students will understand the research trends in tourism economics by using materials or textbooks on tourism economics. In particular, students will become aware of the connection between the natural environment and tourism, and acquire the ability to analyze tourism from an economics perspective concerning how tourism contributes to the development of rural areas. For this purpose, we will also introduce how to understand data and the contents of econometrics in order to be able to analyze data. Discussions and presentations among students may also be conducted.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション：講義の進め方について
- 2 回：経済学の研究 1
- 3 回：経済学の研究 2
- 4 回：観光現象の経済学的分析 1
- 5 回：観光現象の経済学的分析 2
- 6 回：観光現象の経済学的分析 3
- 7 回：観光現象の経済学的分析 4
- 8 回：観光現象の経済学的分析 5
- 9 回：観光現象の経済学的分析 6
- 10 回：観光現象の経済学的分析 7
- 11 回：計量経済学を用いたアプローチ 1
- 12 回：計量経済学を用いたアプローチ 2
- 13 回：計量経済学を用いたアプローチ 3
- 14 回：総括

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド（パワポ等）の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：○	グループ発表	：	ディスカッション・ディベート	：○
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

事前に資料もしくはテキストを読み込み、理解を深めておくこと。

成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合：100% 授業中の報告と議論を総合的に評価する。：100%

テキスト / Textbooks

Yong Chen Economics of Tourism and Hospitality: A Micro Approach Routledge 2021 ○

参考文献 / Readings

授業中に適宜紹介する。

履修に当たって求められる能力 / Abilities Required to Take the Course

社会科学系の大学院（修士）に相応しいレベルの数学力、英語の読解力を必要とする。また、パワーポイントを用いた資料作成、および質の高い発表が求められる。

学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare

資料の配布などで、Canvas LMS を使用する予定である。

観光行動研究

Human Behavior in Tourism

相澤 孝文 (AIZAWA TAKAFUMI)

開講年度：	2024
科目設置学部：	観光学研究科
科目コード等：	UA559
授業形態：	対面（全回対面）
授業形態（補足事項）	
校地：	新座
学期：	秋学期
単位：	2
科目ナンバリング：	TRG5100
使用言語：	日本語
授業形式：	講義
履修登録方法：	科目コード登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	

授業の目標 / Course Objectives

本科目は、観光行動および観光者心理にみられる特性とその具体的な調査分析手法について多角的に理解することをねらいとしている。

The aim of this course is to understand the characteristics of tourist behavior and tourism psychology and their attendant research methods from various perspectives.

授業の内容 / Course Contents

本科目では、観光行動の基本的原理や様々なスケールの観光行動、ならびに観光者心理に関する調査研究論文を講読するとともに、受講生が個別に調査テーマを設定して課題にとりくむ。

観光行動や観光者心理、ならびにそれらをふまえた観光計画の研究に関する原論的な内容を扱うので、とくにこの領域の研究にとりくもうと考えている学生に受講を勧めたい。

In this course, students are expected to study the basic principles of tourist behavior on various scales, and be individually engaged in studying research themes related to tourist behavior. This course deals with the principal theories in the research on tourist behavior and the tourism planning based on them. This course welcomes students if they are interested in the research in this area.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1回：オリエンテーション
- 2回：「観光の原理」について
- 3回：「観光の原理」について
- 4回：観光行動／観光者心理の事例研究
- 5回：観光行動／観光者心理の事例研究
- 6回：観光行動／観光者心理の事例研究
- 7回：観光行動／観光者心理の事例研究
- 8回：観光行動／観光者心理の事例研究
- 9回：調査計画案の検討
- 10回：調査計画案の検討
- 11回：調査の実施
- 12回：調査の実施
- 13回：成果報告
- 14回：成果報告

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：	スライド（パワポ等）の使用	：	○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：	○	グループ発表	：	ディスカッション・ディベート	：
実技・実習・実験	：	○	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：					

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

- ◆研究論文や調査報告書等をはじめとする情報源にあたり、観光行動／観光者心理の研究領域について具体的にどのような関心をもっているかを明確化しておくこと。
- ◆自身がとりくんでいる研究テーマや関心を寄せている観光現象について、旅行者の視点からとらえ直してみる機会としても本講座を活用してほしい。

成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合：100% 授業内課題:30% 発表内容:30% 調査報告レポート:40%

テキスト / Textbooks

取り上げる論文等を授業時間内に配布する。

参考文献 / Readings

橋本俊哉 観光回遊論 風間書房 1997

橋本俊哉 編 観光行動論 原書房 2013

その他 / Others

受講生の関心領域の把握および課題発表スケジュール決定のため、第1回講義には必ず出席すること。

観光地調査研究法

Research Methods for Tourism Area Management

観光地経営専門家育成プログラム

橋本 俊哉／佐藤 大祐／庄司 貴行／西川 亮／野原 克仁 (HASHIMOTO TOSHIYA/ SATO DAISUKE/
SHOJI TAKAYUKI/ NISHIKAWA RYO/ NOHARA KATSUHITO)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA564
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 池袋
学期： 秋学期他
単位： 2
科目ナンバリング： TRG5300
使用言語： 日本語
授業形式： 講義
履修登録方法： 科目コード登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

観光による地域振興を図るためには、変化する観光の動向を的確にとらえ、観光地を革新し、マネジメントする能力をもった人材が求められる。この授業では、そうした知識・スキルをもった人材＝観光地経営専門家を育成することを目標とした知識の習得と、観光地経営に必要とされる調査分析方法について学ぶ。

In order to revitalize local communities through tourism, people who have the ability to accurately capture the changing tourism trends, and innovating and managing tourist destinations are required. In this class, we will learn about the acquisition of knowledge and skills as the tourist destinations management experts, and how to analyze the research required for tourist management.

授業の内容 / Course Contents

観光地を経営し、革新することの意義を理解し、実践する力を身につけるために、現代の観光を取り巻く様々な環境条件と変わりゆく観光の動向を多角的に把握するとともに、地域資源の活用、効果的な地域情報発信の方法など、観光と地域振興に関わる多角的な視点からの知識とそのための調査分析方法を学び、さらに事例研

究を通したより実践的・発展的な学習を行う。授業期間中に、内容に即した2度のフィールドワーク(任意参加)を実施する。

In order to understand the significance of running a tourist destination, the significance of innovation, and to acquire the ability to practice, we study the trends of tourism that is changing from various environmental conditions surrounding modern tourism and community. Learn the multifaceted knowledge from the perspective of tourism and regional promotion, such as the utilization of regional resources and effective regional information transmission methods, and the research and analysis methods for that purpose, and further learning more practically through case study. During the class period, two fieldwork (voluntary participation) will be planned according to the content.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1回：オリエンテーション
- 2回：観光地における価値の創造
- 3回：観光地の調査分析方法1：地理学
- 4回：観光地からの情報発信
- 5回：観光地のソーシャルイノベーション①
- 6回：観光地のソーシャルイノベーション②
- 7回：観光地の調査分析方法2：フィールドワーク
- 8回：町並み観光地の経営
- 9回：観光地の調査分析方法3：経済学
- 10回：新しい観光地経営の事例分析
- 11回：温泉観光地の経営
- 12回：温泉観光地の経営事例分析
- 13回：観光地経営と地域のステークホルダー
- 14回：総括

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：	スライド* (パワポ等) の使用	：	○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：	グループ発表	：	○	ディスカッション・ディベート	：
実技・実習・実験	：	○	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

講義後に、講義内容が自らの研究にいかに関与するかを考えつつ復習を行うこと。

成績評価方法・基準(成績評価方法区分：111) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 講義・議論への参加状況:60%

最終レポート割合 :40%

講義や議論への参加状況、課題レポートで評価する。

テキスト / Textbooks

授業時に資料を配布する。

参考文献 / Readings

配布資料に記載する。

その他 / Others

授業期間中に2度のフィールドワークを計画している。任意参加で交通費は自己負担となるが、観光地経営の実際を学ぶ良い機会であるので、参加を強く勧める。

観光環境・計画学研究（1）

Tourism Planning(1)

観光対象としての建築を考える

毛谷村 英治 (KEYAMURA EIJI)

開講年度： 2024

科目設置学部： 観光学研究科

科目コード等： UA570

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 新座

学期： 春学期

単位： 2

科目ナンバリング： TRG5200

使用言語： 日本語

授業形式： 講義

履修登録方法： 科目コード登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

授業の目標 / Course Objectives

観光の対象となる建築物の特徴とその計画手法を学び、生活環境を豊かにするための建築計画について考える。

In this course, students learn the characteristics of the building to be viewed and its planning method, and they think about architectural planning to enrich the living environment.

授業の内容 / Course Contents

史実の舞台となった歴史的建造物のみならず建物自体のデザインが個性的であるが故に観光対象となる建築物が存在する。建物において提供されるサービスを楽しむために人々が訪れる観光施設とは建設目的が異なっているにも拘らず観光対象とされ、現実的には観光資源となっている。生活空間が観光地化される場合の課題とそこに暮らす人々にとって許容できる計画の進め方について具体的事例を元に議論を行い、理解を深める。

Not only are historical buildings that have served as the setting for historical events becoming tourist attractions, but some buildings are also tourist attractions because of their unique design. The architectural purpose of these buildings is different from that of tourist facilities, where people visit to enjoy the services provided to tourists in

the building. Despite this, it is treated as a tourist destination and has actually become a tourist resource. We will use specific examples to discuss and deepen our understanding of the challenges faced when living spaces become tourist destinations and how to proceed with plans that will be acceptable to the people living there.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1回：1. オリエンテーション
- 2回：2. 観光と建築
- 3回：3. 建築の魅力
- 4回：4. 芸術作品としての建築
- 5回：5. 構造や仕組みとしての建築
- 6回：6. 工業製品としての建築
- 7回：7. 歴史の舞台としての建築
- 8回：8. 社会資本としての建築
- 9回：9. 文化装置としての建築
- 10回：10. 気候や環境と建築
- 11回：11. 観光対象としての建築
- 12回：12. 故郷の建築（事例報告）
- 13回：13. 観光地の建築
- 14回：14. 建築の見方、捉え方

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド（パワポ等）の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：○
個人発表	：○	グループ発表	：○	ディスカッション・ディベート	：○
実技・実習・実験	：○	学内の教室外施設の利用	：○	校外実習・フィールドワーク	：○
上記いずれも用いない予定	：				

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

授業時に指示する

成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合：100% 授業内での課題発表・討議を総合的に判断:60% 最終レポート割合：40%

テキスト / Textbooks

特になし。

参考文献 / Readings

適宜紹介する。

履修に当たって求められる能力 / Abilities Required to Take the Course

観察力、分析力、考察力、プレゼンテーション力

観光環境・計画学研究（2）

Tourism Planning(2)

小野 良平 (ONO RYOHEI)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA571
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 秋学期
単位： 2
科目ナンバリング： TRG5200
使用言語： 日本語
授業形式： 講義
履修登録方法： 科目コード登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

自然を主な資源とする観光地ではその自然資源の保護と利用のバランスが求められる。そのための施策として保護地域を指定することが各地で行われているが、サステナブルツーリズムが求められる時代のなかで、保護地域の計画論の現状を知りその課題について考えることをねらいとする。

In nature-based tourist sites around the world, well-balanced management is required between nature protection and human activities. One of the popular institutional measures for it is designating protected area. The aim of the class is to learn the current ways of planning of protected areas and discuss their challenges in the age of sustainable tourism.

授業の内容 / Course Contents

自然資源を基盤とした観光地を設定し、自然環境の特徴、人との関わり・観光地としての歴史、自然環境の保護や観光に関して適用されている制度（国立公園等）についてまず整理を行う。その上で各自が 1)制度の主体、2)保護地域の名称と目的、3)地域指定の考え方、4)地域指定の具体例、5)地域内における開発規制や観光者の行動規制等について調査し、参加者全員でその特徴や課題について議論を行う。

Selecting a tourist site where is based on natural resources, features of natural environment, history of human activities including tourism, and institutions applied for the purpose of conservation (protection or tourists' use) of the natural resources (e.g. National park) are surveyed. Then, participants examine 1)the agent of the institution, 2)name of protected area and its purpose, 3)ways of determining the area, 4)examples of the protected area, and 5)regulation of development or tourist behavior in the area. Finally, all participants discuss the characteristics and challenges of each institutions.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1回：イントロダクション
- 2回：自然資源を基盤にした観光地紹介（1）
- 3回：自然資源を基盤にした観光地紹介（2）
- 4回：自然資源を基盤にした観光地紹介（3）
- 5回：自然資源を基盤にした観光地紹介（4）
- 6回：保護地域制度の詳細検討（1）
- 7回：保護地域制度の詳細検討（2）
- 8回：保護地域制度の詳細検討（3）
- 9回：保護地域制度の詳細検討（4）
- 10回：保護地域制度の詳細検討（5）
- 11回：保護地域制度の詳細検討（6）
- 12回：保護地域制度の詳細検討（7）
- 13回：保護地域制度の詳細検討（8）
- 14回：まとめ

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：	スライド（パワポ等）の使用	：	○	上記以外の視聴覚教材の使用	：	
個人発表	：	○	グループ発表	：	ディスカッション・ディベート	：	○
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：		校外実習・フィールドワーク	：	
上記いずれも用いない予定	：						

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

発表のための十分な準備と議論への積極的参加・発言が求められる。

成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合：100% 出席・参加状況、およびレポート等を総合的に評価:100%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

必要に応じて適宜紹介する。

観光社会学研究（1）

Sociology of Tourism(1)

大橋 健一 (OHASHI KENICHI)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA573
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 春学期
単位： 2
科目ナンバリング： TRG5100
使用言語： 日本語
授業形式： 講義
履修登録方法： 科目コード登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

これまでの観光研究がなかば所与自明としてきた西欧近代社会を前提とした「観光/tourism」概念を再検討し、「観光」の理解の深化、総合化を図ることを目標とする。

This course aims to reexamine the concept of "tourism," which has been understood on the presupposition of Western modern society, and to cultivate deeper and more comprehensive understanding of "tourism."

授業の内容 / Course Contents

従来の観光研究において、観光現象は比較的平板な近代社会像を所与の文脈として論じられることが一般的であった。このような傾向を乗り越えるため、本授業では、「もう一つの近代」としての社会主義体制下およびポスト社会主義体制下における「観光」現象を観光文化という観点から取り扱う。国内外の関連文献の輪読と討論を通して、「観光」現象の動態的理解を目指す。

In extant tourism literature, the tourism phenomena has been generally discussed on the premise of homogeneous images of modern society. To overcome this trend, this course handles the tourism phenomena under the socialist and post-socialist regimes from the perspective of tourism culture and aims to introduce more dynamic understandings of tourism phenomena.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1回：オリエンテーション
- 2回：文献の渉猟とリストの作成（1）
- 3回：文献の渉猟とリストの作成（2）
- 4回：文献輪読（1）
- 5回：文献輪読（2）
- 6回：文献輪読（3）
- 7回：文献輪読（4）
- 8回：文献輪読（5）
- 9回：文献輪読（6）
- 10回：文献輪読（7）
- 11回：文献輪読（8）
- 12回：総合討論（1）
- 13回：総合討論（2）
- 14回：総合討論（3）

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：	スライド（パワーポイント等）の使用	：	○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：	○	グループ発表	：	○	ディスカッション・ディベート：○
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：		校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：					

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

社会主義体制の成立と展開に関する世界史的な一般知識について各自整理しておくことが望ましい。

成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合：100% 授業への参加度：60% 最終レポート割合：40%

テキスト / Textbooks

特に指定しない。適宜案内する。

参考文献 / Readings

適宜紹介する。

観光社会学研究（3）

Sociology of Tourism(3)

観光研究による社会学の問い直し

高岡 文章 (TAKAOKA FUMIAKI)

開講年度： 2024

科目設置学部： 観光学研究科

科目コード等： UA575

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 新座

学期： 秋学期

単位： 2

科目ナンバリング： TRG5100

使用言語： 日本語

授業形式： 講義

履修登録方法： 科目コード登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

授業の目標 / Course Objectives

修士論文の執筆に向けて、社会学の観点から観光について研究するために必要な概念や手法を習得する。

Students will acquire the necessary concepts and methods to research tourism from a sociological perspective.

授業の内容 / Course Contents

社会学の転回について検討する。

Students will consider shifts in sociology.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

1 回：ガイダンス

2 回：文献講読

3 回：文献講読

4 回：文献講読

- 5回：文献講読
- 6回：文献講読
- 7回：文献講読
- 8回：文献講読
- 9回：文献講読
- 10回：文献講読
- 11回：文献講読
- 12回：文献講読
- 13回：文献講読
- 14回：総括

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド（パワー等）の使用	：	上記以外の視聴覚教材の使用	：○
個人発表	：○	グループ発表	：	ディスカッション・ディベート	：○
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

指定された内容の予習が受講の前提となる。

成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation

レポート試験 :70%

平常点割合 :30% 授業への参加度:30%

テキスト / Textbooks

観光社会学（および周辺領域）の最新の論文（英語論文を含む）を読む予定。

参考文献 / Readings

観光人類学研究（1）

Anthropology of Tourism(1)

文化人類学の視点を学ぶ

久保 忠行 (KUBO TADAYUKI)

開講年度： 2024

科目設置学部： 観光学研究科

科目コード等： UA576

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 新座

学期： 春学期

単位： 2

科目ナンバリング： TRG5100

使用言語： 日本語

授業形式： 講義

履修登録方法： 科目コード登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

授業の目標 / Course Objectives

この授業の到達目標は、次のとおりである。

- 1) 文化人類学で用いられる理論と概念についての理解を深めること。
- 2) 人類学的なアプローチを自身の観光研究に応用することができるようになること。

In this course, students will be able to:

- 1) develop an understanding of the theories and concepts of cultural anthropology.
- 2) be able to apply an anthropological approach to their own research on tourism.

授業の内容 / Course Contents

この授業では、文化人類学のテキストを購読し人類学の理論と概念を学び、観光研究への応用を試みる。受講者は基本文献の担当章の内容をレジюмеにまとめて、内容・論点・課題や疑問を提示する。そのうえで、基本文献で提示された概念や考え方を、自身が論文で用いる事例に応用して考察や論点を提示する。基本文献の候補は、参考文献にあげたものを予定しているが、受講者と相談のうえ変更することもある。

In this class, students will study anthropological theories and concepts by reading texts on cultural anthropology

and attempt to apply it to their tourism research. Students will prepare a resume of the contents of their assigned chapters of the selected texts, presenting the contents, arguments, issues, and questions. Students will then apply the concepts and ideas presented in the texts to their own case studies and present insights and arguments. The textbooks listed in the reference list will be used but it can be changed after consultation with students.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1回：オリエンテーション
- 2回：文献講読・論点・事例の提示とディスカッション
- 3回：文献講読・論点・事例の提示とディスカッション
- 4回：文献講読・論点・事例の提示とディスカッション
- 5回：文献講読・論点・事例の提示とディスカッション
- 6回：文献講読・論点・事例の提示とディスカッション
- 7回：文献講読・論点・事例の提示とディスカッション
- 8回：文献講読・論点・事例の提示とディスカッション
- 9回：文献講読・論点・事例の提示とディスカッション
- 10回：文献講読・論点・事例の提示とディスカッション
- 11回：文献講読・論点・事例の提示とディスカッション
- 12回：文献講読・論点・事例の提示とディスカッション
- 13回：文献講読・論点・事例の提示とディスカッション
- 14回：まとめと展望

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：	スライド（パワポ等）の使用	：	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：	○ グループ発表	：	ディスカッション・ディベート	：○
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：		：		：

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

受講者は指定された文献を熟読し、疑問点、論点を授業までに準備しておくこと。

報告者は、担当章のまとめとともに担当章の内容をどのように応用できそうかをレジюмеにまとめておくこと。

成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 報告内容:25% 議論への参加:25% 事前学習:25% レポート:25%

特に以下の点を評価する。報告：分かりやすいレジюмеと聴衆に伝わる報告。議論への参加：記述内容や報告者が立てた論点への批判的・建設的な検討。事前学習：文献内容の的確な理解と不明な箇所の下調べ。レポート：発表に対する意見や批判を踏まえたもの。

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

- 松村圭一郎ほか（編）『文化人類学の思考法』 世界思想社 2019 9784790717331
 桑山敬己・綾部真雄（編著）『詳論 文化人類学』 ミネルヴァ書房 2018 9784623082711
 春日直樹ほか（編）『文化人類学のエッセンス』 有斐閣 2021 9784641221697

履修に当たって求められる能力 / Abilities Required to Take the Course

学術活動をおこなうための以下の基礎があること

- ・論文やレポート作成にあたり典拠や参考文献の明記などが遵守できること。
- ・適切な文章で、論理的な説明ができること。
- ・他者の意見を正確に理解できること。
- ・自身の意見を論拠をもとに明確に提示できること。

その他/ Others

履修を検討するさい、参考文献の目次をかならず確認してください。そのうえで自身のテーマや関心事と人類的な切り口（トピック）が合致するかどうかを事前に確認してください。

観光地理学研究（3）

Tourism Geography(3)

佐藤 大祐 (SATO DAISUKE)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA581
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 春学期
単位： 2
科目ナンバリング： TRG5200
使用言語： 日本語
授業形式： 講義
履修登録方法： 科目コード登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

観光地理学の研究方法を習得し、自らの観光研究に応用できるようになる。

The purpose of this course is for students to review the development of Tourism Geography as a discipline and to apply Tourism Geography to their own tourism studies.

授業の内容 / Course Contents

フィールド調査や資料分析を用いて観光地理学研究の着眼点や調査の方法、資料の分析方法および地図化・図表化について学ぶ。

This course focuses on studying geographical methods (research approach), data collecting, and data analysis and mapping.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：地形図判読
- 2 回：フィールドとテーマの決定。各自の修論構想や興味関心をもとにフィールドやテーマを決定する。何らかの分布図等を作って空間的な分析を含める。
- 3 回：調査計画・調査票の設計 1

- 4回：調査計画・調査票の設計 2
 5回：フィールドワークと地図作成 1
 6回：フィールドワークと地図作成 2
 7回：フィールドワークと地図作成 3
 8回：フィールドワークと地図作成 4
 9回：資料分析と地図作成 1
 10回：資料分析と地図作成 2
 11回：資料分析と地図作成 3
 12回：資料分析と地図作成 4
 13回：レポート作成 1
 14回：レポート作成 2

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワポ等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	○ ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	○ 学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:		:

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

授業時間外にフィールド調査や資料の分析, レポート作成などを実施する。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分:111) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 授業内でのプレゼン・ディスカッション:30% 授業外での資料収集・分析:30% 地図やレポートの作成:40%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

観光研究特論 B

Special Lecture on Tourism Research(B)

宮崎 友里 (MIYAZAKI YURI)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA583
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 春学期
単位： 2
科目ナンバリング： TRG5000
使用言語： 日本語
授業形式： 講義
履修登録方法： 科目コード登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

政策に関する知識と、原因を推論するための方法論と、文献調査のための方法論を習得し、実際に使用できる水準に到達することが目標である。

The goal is to acquire knowledge about policy, methodology for inferring causes, and methodology for literature research, and to reach a level that can be used in practice.

授業の内容 / Course Contents

本授業の内容は三段階で構成されている。第一に、政策一般に関する具体的な知識を身につける。第二に、物事を説明する際にヒントとなる、原因を推論するための方法論を学ぶ。第三に、実際に文献を収集する際に必要となる方法論を学ぶ。

毎回、講義担当者が指定した文献の報告担当者を決めて報告のうえ、履修者と講義担当者がともにディスカッションを行いながら、知識を身につける。

The content of this class consists of three stages. First, acquire specific knowledge about policies in general. Second, we will learn the methodology for inferring causes, which will give us hints when explaining things.

Third, learn the methodology necessary for actually collecting literature.

Each time, the person in charge of reporting the literature specified by the lecturer will report, and the students and the lecturer will discuss together to acquire knowledge.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1回：イントロダクション
- 2回：社会の中の観光政策：公共政策の視点
- 3回：公共政策とは何か
- 4回：政策はどのように決まるのか（1）
- 5回：政策はどのように決まるのか（2）
- 6回：政策は誰がどのように実施するのか
- 7回：政策の効果はどうやって測るのか
- 8回：因果推論（1）反証可能性
- 9回：因果推論（2）原因の時間的先行
- 10回：因果推論（3）単一事例研究
- 11回：因果推論（4）比較事例研究
- 12回：文献リサーチの方法論
- 13回：なぜ「これ以上、先行研究がない」のかを考える
- 14回：課題の作成に向けて

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド（パワポ等）の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：○	グループ発表	：	ディスカッション・ディベート	：○
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

毎回の報告者は、文献の報告準備が必要となる。報告者以外の履修者は、ディスカッションに参加するための準備が必要となる。

成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合：100% 授業への参加：60% 最終レポート割合：40%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

- 秋吉貴雄 入門 公共政策学 中公新書 2017
 砂原庸介、手塚洋輔 公共政策 放送大学教育振興会 2022
 久米郁男 原因を推論する 有斐閣 2013
 伊藤修一郎 政策リサーチ入門 東京大学出版会 2011

観光歴史学研究

History of Tourism

高柳 友彦 (TAKAYANAGI TOMOHIKO)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA586
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 秋学期
単位： 2
科目ナンバリング： TRG5100
使用言語： 日本語
授業形式： 講義
履修登録方法： 科目コード登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

この科目は観光史の知識を身につけることを目標としています。

At the end of the course, participants are expected to explain the knowledge of tourism history

授業の内容 / Course Contents

近現代日本の温泉の歴史について講義する。

This course introduces history of hot springs in modern Japan to students taking this course.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

1 回：温泉の歴史研究について

(温泉を歴史研究の対象にすることの意義や研究史について)

2 回：温泉資源の開発と管理

(近代以降の日本の温泉資源の開発の実態とその取締・管理について)

3 回：温泉資源の管理の歴史①

(輪読文献『温泉の経済史』)

4 回：温泉資源の管理の歴史②

(輪読文献『温泉の経済史』)

5回：温泉資源の管理の歴史③

(輪読文献『温泉の経済史』)

6回：温泉資源の管理の歴史④

(輪読文献『温泉の経済史』)

7回：温泉資源の管理の歴史⑤

(輪読文献『温泉の経済史』)

8回：温泉旅行の歴史①

(輪読文献『温泉旅行の近現代』)

9回：温泉旅行の歴史②

(輪読文献『温泉旅行の近現代』)

10回：温泉旅行の歴史③

(輪読文献『温泉旅行の近現代』)

11回：温泉旅行の歴史④

(輪読文献『温泉旅行の近現代』)

12回：温泉に関する法律について

13回：温泉における人的資源の重要性

14回：まとめ

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワポ等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	○ ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:		:

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

この授業では、履修者の数によりりますが、個人またはグループでテキストの一部をまとめ、議論する論点や読んだうえでの疑問点を出していただきます (例えば、該当箇所を A4,1, 2 枚程度でまとめていただき、個人・グループで発表していただく)。その発表内容に関して、教員が事実関係や研究手法などについて回答していくスタイルをとります (第3回目の授業以降の予定)。学期中に最低1回担当することを義務づけます。

読む文献は教員が温泉をテーマとして執筆した文献・論文になります。歴史を学んだことが無い履修者にも理解できるよ

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：111) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 平常点 (リアクションペーパーの提出・複数回) :30% 平常点 (授業内に行う個人・グループ発表) :30% 最終レポート割合 :40%

テキスト / Textbooks

高柳友彦 温泉の経済史－近代日本の資源管理と地域経済 東京大学出版会 2021 9784130461337 ○

高柳友彦 温泉旅行の近現代 吉川弘文館 2023 9784642059824 ○

参考文献 / Readings

観光文学研究（2）

Literature and Tourism(2)

コナン・ドイルのシャーロック・ホームズシリーズを読む

Reading the Canon of Sherlock Holmes

石橋 正孝 (ISHIBASHI MASATAKA)

開講年度： 2024

科目設置学部： 観光学研究科

科目コード等： UA587

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 新座

学期： 秋学期

単位： 2

科目ナンバリング： TRG5100

使用言語： 日本語

授業形式： 講義

履修登録方法： 科目コード登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

授業の目標 / Course Objectives

ヨーロッパ近代に特有の現象として観光が発生した経緯を、文学作品の読解を通して理解する。合わせてテキスト分析の基本的な手法を学ぶ。

In this course, we shall examine how tourism started as a phenomenon that is typical of Modern Europe by reading literary texts. Students are also expected to become familiar with techniques of literary analysis.

授業の内容 / Course Contents

コナン・ドイルのシャーロック・ホームズシリーズは、その現代版ドラマ等による新展開に伴い、新たなブームを迎えている。観光的には「聖地巡礼」の端緒に位置づけられる。批評版の注等も参照しつつ第二短編集『シャーロック・ホームズの思い出』を刊行順に精読することでこの神話の成立過程をたどりなおし、二次創作をはじめとする受容にも目を配り、適宜映像や図版資料の紹介を交え、理解を深めるよすがとしたい。

In this course, students are expected to read the most reliable Japanese translation of the Canon of Sherlock Holmes (Conan Doyle, 1887-1930) and the explanatory notes for some critical editions of this series.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1回：オリエンテーション、コナン・ドイルの人と作品
- 2回：シャーロック・ホームズシリーズの概要、後世への影響
- 3回：文献講読と討議：「白銀号事件」
- 4回：文献講読と討議：「ボール箱」
- 5回：文献講読と討議：「黄色い顔」
- 6回：文献講読と討議：「株式仲買店員」
- 7回：文献講読と討議：「グロリア・スコット号事件」
- 8回：文献講読と討議：「マスグレーヴ家の儀式書」
- 9回：文献講読と討議：「ライゲートの大地主」
- 10回：文献講読と討議：「背中の曲がった男」
- 11回：文献講読と討議：「入院患者」
- 12回：文献講読と討議：「ギリシャ語通訳」
- 13回：文献講読と討議：「海軍条約文書事件」
- 14回：文献講読と討議：「最後の事件」

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワポ等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:○
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート:○
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:		

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

担当箇所に限らず、各回で読む予定の箇所 (注も含む) に必ず前もって目を通しておくこと。

You have to read previously the pages which will be treated.

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：111) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 発表及び授業参加:100%

テキスト / Textbooks

- コナン・ドイル 緋色の習作 河出書房新社 2014 4309466117 -
 コナン・ドイル 四つのサイン 河出書房新社 2014 4309466125 -
 コナン・ドイル シャーロック・ホームズの思い出 河出書房新社 2014 9784309466149 ○

参考文献 / Readings

ボーストレム 〈ホームズ〉から〈シャーロック〉へ——偶像を作り出した人々の物語 作品社 2020
 4861827884

観光政策学研究

Tourism Policy

地域は観光をマネジメントできるのか。できるとしたらどのように？

西川 亮 (NISHIKAWA RYO)

開講年度：	2024
科目設置学部：	観光学研究科
科目コード等：	UA588
授業形態：	対面（全回対面）
授業形態（補足事項）	
校地：	新座
学期：	春学期
単位：	2
科目ナンバリング：	TRG5200
使用言語：	日本語
授業形式：	講義
履修登録方法：	科目コード登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	

授業の目標 / Course Objectives

現在や過去の観光と地域との関係性をめぐる状況を分析し、観光の見方に多様性を持たせることを目的とする。

The purpose of this lecture is to analyze the current and past situations surrounding the relationship between tourism and the region, and to understand the difficulties of destination management.

授業の内容 / Course Contents

本講義は、観光に関するニュース記事、映画「The last tourist」やその他の映画・動画、さらには1960年代以降の観光政策に関わる文献、自分自身の観光体験などをベースに、観光と地域との関係性について、現代的な視点、国際的な視点、そして歴史的な視点から、問題を深く掘り下げて議論を展開していく。その上で、観光を地域がマネジメントすることの意味について検討する。また、可能であればフィールドワークを行い、観光に対する理解を深めたい。

This lecture will provide a modern perspective on the relationship between tourism and the region, based on the newspaper articles, film 'The Last Tourist' and other films and videos, as well as literature related to tourism

policy since the 1960s, and your own tourism experiences. We will consider deeply into issues and develop discussions from practical, international, and historical perspectives. Based on this, we will consider the meaning of destination management of tourism. I would also like to do some fieldwork if possible to deepen the understanding of actual situation of tourism.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1回：イントロダクション、本講義の視座
- 2回：文献精読・議論
- 3回：文献精読・議論
- 4回：文献精読・議論
- 5回：文献精読・議論
- 6回：文献精読・議論
- 7回：文献精読・議論
- 8回：文献精読・議論
- 9回：文献精読・議論
- 10回：文献精読・議論
- 11回：文献精読・議論
- 12回：文献精読・議論
- 13回：文献精読・議論
- 14回：文献精読・議論

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：	スライド（パワポ等）の使用	：	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：	○	グループ発表	：	ディスカッション・ディベート：○
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

現代の観光政策の情報を定期的に入手しておくこと。

成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合：100% 授業内ディスカッション:100%

テキスト / Textbooks

授業内に適宜案内する。

参考文献 / Readings

阿部大輔ほか ポスト・オーバーツーリズム 学芸出版 9784761527600

授業内に適宜案内する。

ラグジュアリーブランド・マネジメント 1

Luxury Brand Management 1

外村 彩 (TONOMURA AYA)

開講年度：	2024
科目設置学部：	観光学研究科
科目コード等：	UA672
授業形態：	対面（全回対面）
授業形態（補足事項）	ゲストスピーカーの都合によりオンラインとなる場合あり。
校地：	池袋
学期：	秋学期 1
単位：	2
科目ナンバリング：	TRG5300
使用言語：	日本語
授業形式：	講義
履修登録方法：	科目コード登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	

授業の目標 / Course Objectives

日本におけるラグジュアリーブランドビジネスの変遷、ビジネスモデル、戦略等を体系的に網羅することにより、ラグジュアリーブランドビジネスとは、またラグジュアリーとはどういう状態のことなのか、ということ考察し明らかにする。

The course covers the historical transition, business models, strategies of luxury brand business in Japan market with the objective to clarify the positioning of luxury brand business and the meaning of "luxury."

授業の内容 / Course Contents

日本のラグジュアリーブランドビジネスで活躍されている実務家をゲストスピーカーとしてお招きし、多様な角度から業界の最新動向を知る。ゲストスピーカーはそれぞれ異なる分野の専門家で予定され、ラグジュアリーブランドビジネスへの体系的・網羅的な理解が深まる構成となっている。（マーケティング・デジタル・E コマース・セールス・ヴィジュアルマーチャンダイジング・デザイン・店舗展開・人事・ファイナンス・経営層等を予定）担当講師は全体のファシリテーターとして、最終的に当科目において明らかにする論題への解を学生自身が導き出せる

The course will showcase multiple aspects of the latest industry situation, inviting several practitioners excelling

in the business. Guest speakers will be composed of professionals in different fields (e.g. marketing / digital / e-commerce / sales / visual merchandising / design / outlet strategies / human resources / finance / management) to enable and deep-dive into the the systematic understanding of the luxury brand business. The lecturer will coordinate with the guest speakers to facilitate the class discussion and will lead the students to develop their own approaches to the thesis at the end of the course.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：ラグジュアリーブランド・マネジメント概論（本科目の目的と概要）
- 2 回：ゲストスピーカー講義 1
- 3 回：ゲストスピーカー講義 2
- 4 回：ゲストスピーカー講義 3
- 5 回：ゲストスピーカー講義 4
- 6 回：ゲストスピーカー講義 5
- 7 回：ゲストスピーカー講義 6
- 8 回：ゲストスピーカー講義 7
- 9 回：ゲストスピーカー講義 8
- 10 回：ゲストスピーカー講義 9
- 11 回：ゲストスピーカー講義 1 0
- 12 回：ゲストスピーカー講義 1 1
- 13 回：ゲストスピーカー講義 1 2
- 14 回：総括講義

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:	○
個人発表	:	グループ発表	:		ディスカッション・ディベート	:	○
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:	
上記いずれも用いない予定	:		:			:	

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

概論講義にて当科目を通じて明らかにしたい論題（＝各セメスター期末レポート）について授業外でも各自探究いただけると尚良い。また、各ゲストスピーカー講義における議論を深めるための準備により、実務とアカデミック双方からの思考を期待する。

成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% ディスカッションへの貢献:60% 最終レポート割合 :40%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

JN カプフェレ+V バスティアン The Luxury Strategy/ラグジュアリー戦略 東洋経済新報社 2017
9784492556825

注意事項

本科目は、5年以上の実務経験を有する実務家教員による授業であり、全授業回数の50%以上がディスカッションなど双方向形式の授業によって運営されます。

ラグジュアリーブランド・マネジメント 2

Luxury Brand Management 2

外村 彩 (TONOMURA AYA)

開講年度：	2024
科目設置学部：	観光学研究科
科目コード等：	UA673
授業形態：	対面（全回対面）
授業形態（補足事項）	ゲストスピーカーの都合によりオンラインとなる場合あり。
校地：	池袋
学期：	秋学期 2
単位：	2
科目ナンバリング：	TRG5300
使用言語：	日本語
授業形式：	講義
履修登録方法：	科目コード登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	

授業の目標 / Course Objectives

日本におけるラグジュアリーブランドビジネスの変遷、ビジネスモデル、戦略等を体系的に網羅することにより、ラグジュアリーブランドビジネスとは、またラグジュアリーとはどういう状態のことなのか、ということ考察し明らかにする。

The course covers the historical transition, business models, strategies of luxury brand business in Japan market with the objective to clarify the positioning of luxury brand business and the meaning of "luxury."

授業の内容 / Course Contents

日本のラグジュアリーブランドビジネスで活躍されている実務家をゲストスピーカーとしてお招きし、多様な角度から業界の最新動向を知る。ゲストスピーカーはそれぞれ異なる分野の専門家です。ラグジュアリーブランドビジネスへの体系的・網羅的な理解が深まる構成となっている。（マーケティング・デジタル・E コマース・セールス・ヴィジュアルマーチャンダイジング・デザイン・店舗展開・人事・ファイナンス・経営層等を予定）担当講師は全体のファシリテーターとして、最終的に当科目において明らかにする論題への解を学生自身が導き出せる

The course will showcase multiple aspects of the latest industry situation, inviting several practitioners excelling

in the business. Guest speakers will be composed of professionals in different fields (e.g. marketing / digital / e-commerce / sales / visual merchandising / design / outlet strategies / human resources / finance / management) to enable and deep-dive into the the systematic understanding of the luxury brand business. The lecturer will coordinate with the guest speakers to facilitate the class discussion and will lead the students to develop their own approaches to the thesis at the end of the course.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：ラグジュアリーブランド・マネジメント概論（本科目の目的と概要）
- 2 回：ゲストスピーカー講義 1
- 3 回：ゲストスピーカー講義 2
- 4 回：ゲストスピーカー講義 3
- 5 回：ゲストスピーカー講義 4
- 6 回：ゲストスピーカー講義 5
- 7 回：ゲストスピーカー講義 6
- 8 回：ゲストスピーカー講義 7
- 9 回：ゲストスピーカー講義 8
- 10 回：ゲストスピーカー講義 9
- 11 回：ゲストスピーカー講義 1 0
- 12 回：ゲストスピーカー講義 1 1
- 13 回：ゲストスピーカー講義 1 2
- 14 回：総括講義

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド* (パワポ等) の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:	○
個人発表	:	グループ発表	:		ディスカッション・ディベート	:	○
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:	
上記いずれも用いない予定	:		:			:	

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

概論講義にて当科目を通じて明らかにしたい論題（＝各セメスター期末レポート）について授業外でも各自探究いただけると尚良い。また、各ゲストスピーカー講義における議論を深めるための準備により、実務とアカデミック双方からの思考を期待する。

成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% ディスカッションへの貢献:60% 最終レポート割合 :40%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

JN カプフェレ+V バスティアン The Luxury Strategy/ラグジュアリー戦略 東洋経済新報社 2017
9784492556825

注意事項

本科目は、5年以上の実務経験を有する実務家教員による授業であり、全授業回数の50%以上がディスカッションなど双方向形式の授業によって運営されます。

マーケティング・エッセンシャルズ 1

Marketing Essentials 1

齋藤 明 (SAITO AKIRA)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA684
授業形態： オンライン（全回オンライン）
授業形態（補足事項） 発話を伴う授業を学内で受講する場合は 8201 の利用可
校地： 池袋
学期： 春学期 1
単位： 2
科目ナンバリング： TRG5300
使用言語： 日本語
授業形式： 講義
履修登録方法： 科目コード登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

1. マーケティング・マネジメントにおける基本的概念やフレームワークの理解
2. 今後のマーケティング分野での発展科目の履修や自律的研究に向けた基盤の確立
1. Understanding basic concepts and frameworks in marketing management
2. Acquiring basic knowledge and methods for conducting advanced research in the marketing field

授業の内容 / Course Contents

マーケティングは 20 世紀初めに市場創造の理念や方法として開発され、以来ビジネスにおいて重要な役割を果し続けています。今日、マーケティングは、ビジネス（製造業、流通業、サービス業等）だけでなく、行政機関や地域、非営利組織へと活用領域を広げています。

本講義は、マーケティングの基本的な考え方と活動を中心に学習し、今後のマーケティング分野での発展科目の履修や当該分野自律的学習に向けた基礎的準備講座とします。

Marketing was developed at the beginning of the 20th century as an idea and method of market creation and has played an important role in business since that time. Today, marketing is applied not just to business (manufacturing, distribution, service, etc.), but also to administrative organizations, regions, and nonprofit

organizations.

This lecture will focus on the basic concepts and activities of marketing, and will be a basic preparatory class for advanced disciplines of marketing study.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1回：イントロダクション：マーケティングとは
- 2回：発展の歴史／マーケティング・マネジメントの基本的な考え方
- 3回：マーケティング環境：各市場の特徴／：標的市場の設定
- 4回：マーケティング・ミックスとは
- 5回：製品政策（1）：製品概説（製品分類／製品ミックス概念）
- 6回：製品政策（2）：プロダクトライフサイクルとマーケティングミックス
- 7回：価格政策（1）：価格概説
- 8回：価格政策（2）：上澄価格と浸透価格
- 9回：流通政策（1）：流通チャネル概説
- 10回：流通政策（2）：流通諸理論
- 11回：マーケティング・コミュニケーション政策（1）：マーケティング・コミュニケーション概説
- 12回：マーケティング・コミュニケーション政策（2）：広告・PR・SP・人的販売
- 13回：最終課題報告
- 14回：最終課題報告

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワポ等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	グループ発表	:		ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:			:

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

事前学修（予習）：前回までの復習を実施し、授業に参加する。

事後学修（復習）：授業内で詳細された概念等に関して整理し、ノートを作成し、理解を促進する。

上記プロセスを繰り返し、授業内容の理解を獲得し、自律的学修を促進することを推奨しています。

成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 課題プレゼンテーション:60% 授業内ディスカッションへの貢献度:40%

テキスト / Textbooks

講義資料は、ブラックボード等で、配布する。

テキストについては、講義時に紹介する。

参考文献 / Readings

和田 充夫（編集），日本マーケティング協会（編集） マーケティング用語辞典（日経文庫） 日本経済新聞社
2005 4532110742

有馬 賢治（著），岡本 純（著），斎藤 明（著），長崎 秀俊（著），宮下 雄治（著） マーケティング・オン・ビジネス—基礎からわかるマーケティングと経営 新世社 2016 4883842347

その他 / Others

※全授業回をオンラインでの実施予定。

※適宜、関連する実務家ゲストスピーカーを招く予定です。

本講義は、マーケティングの基本的な考え方を中心に学習し、そうしたマーケティング分野での発展科目の履修や自律的学習に向けた基礎的内容となりますので、履修時に、注意してください。

本研究科では、マーケティング分野において、多くの発展科目・応用科目（B2B、サービス、ブランド、グローバル、ストラテジー等）が開講されています。

実務に関連した業務（営業系業務）経験や、学部レベルで基礎的専門用語や概念について学習した経

注意事項

本科目は、5年以上の実務経験を有する実務家教員による授業であり、全授業回数の50%以上がディスカッションなど双方向形式の授業によって運営されます。

マーケティング・エッセンシャルズ 2

Marketing Essentials 2

齋藤 明 (SAITO AKIRA)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA685
授業形態： オンライン（全回オンライン）
授業形態（補足事項） 発話を伴う授業を学内で受講する場合は 8201 の利用可
校地： 池袋
学期： 春学期 2
単位： 2
科目ナンバリング： TRG5300
使用言語： 日本語
授業形式： 講義
履修登録方法： 科目コード登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

1. マーケティング・マネジメントにおける基本的概念やフレームワークの理解
2. 今後のマーケティング分野での発展科目の履修や自律的研究に向けた基盤の確立
1. Understanding basic concepts and frameworks in marketing management
2. Acquiring basic knowledge and methods for conducting advanced research in the marketing field

授業の内容 / Course Contents

マーケティングは 20 世紀初めに市場創造の理念や方法として開発され、以来ビジネスにおいて重要な役割を果し続けています。今日、マーケティングは、ビジネス（製造業、流通業、サービス業等）だけでなく、行政機関や地域、非営利組織へと活用領域を広げています。

本講義は、マーケティングの基本的な考え方と活動を中心に学習し、今後のマーケティング分野での発展科目の履修や当該分野自律的学習に向けた基礎的準備講座とします。

Marketing was developed at the beginning of the 20th century as an idea and method of market creation and has played an important role in business since that time. Today, marketing is applied not just to business (manufacturing, distribution, service, etc.), but also to administrative organizations, regions, and nonprofit

organizations.

This lecture will focus on the basic concepts and activities of marketing, and will be a basic preparatory class for advanced disciplines of marketing study.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1回：イントロダクション／サービスマーケティング（1）：サービス概説
- 2回：サービスマーケティング（2）：SD ロジック・価値共創
- 3回：ブランド（1）：諸概念
- 4回：ブランド（2）：ブランディング
- 5回：消費者行動（1）：消費者行動概説（意思決定プロセス）（影響要因）
- 6回：消費者行動（2）：消費者行動諸概念（態度・関与）
- 7回：消費者行動（3）：消費者行動諸概念（流行、クチコミ他）
- 8回：ソーシャルマーケティング／非営利組織のマーケティング
- 9回：ゲスト・スピーカーによる実践報告（A）
- 10回：ゲスト・スピーカーによる実践報告（A）
- 11回：ゲスト・スピーカーによる実践報告（B）
- 12回：ゲスト・スピーカーによる実践報告（B）
- 13回：最終課題報告
- 14回：最終課題報告

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワポ等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:			:

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

事前学修（予習）：前回までの復習を実施し、授業に参加する。

事後学修（復習）：授業内で詳細された概念等に関して整理し、ノートを作成し、理解を促進する。

上記プロセスを繰り返し、授業内容の理解を獲得し、自律的学修を促進することを推奨しています。

成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合：100% 課題プレゼンテーション:60% 授業内ディスカッションへの貢献度:40%

テキスト / Textbooks

講義資料については、ブラックボード等で配布する。

テキストについては、授業内に紹介する。

参考文献 / Readings

和田 充夫（編集），日本マーケティング協会（編集） マーケティング用語辞典（日経文庫） 日本経済新聞社
2005 4532110742

有馬 賢治（著），岡本 純（著），斎藤 明（著），長崎 秀俊（著），宮下 雄治（著） マーケティング・オン・ビジネス—基礎からわかるマーケティングと経営 新世社 2016 4883842347

その他 / Others

※全授業回をオンラインでの実施予定。

※適宜、実務家ゲストスピーカーを招く予定です。

本講義は、マーケティングの基本的な考え方を中心に学習し、そうしたマーケティング分野での発展科目の履修や自律的学習に向けた基礎的内容となりますので、履修時に、注意してください。

本研究科では、マーケティング分野において、多くの発展科目・応用科目（B2B、サービス、ブランド、グローバル、ストラテジー等）が開講されています。

実務に関連した業務（営業系業務）経験や、学部レベルで基礎的専門用語や概念について学習した経験のあ

注意事項

本科目は、5年以上の実務経験を有する実務家教員による授業であり、全授業回数の50%以上がディスカッションなど双方向形式の授業によって運営されます。

マーケティング・リサーチ 1

Marketing Research 1

齋藤 明 (SAITO AKIRA)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： UA688
授業形態： オンライン（全回オンライン）
授業形態（補足事項） 発話を伴う授業を学内で受講する場合は 8201 の利用可
校地： 池袋
学期： 秋学期 1
単位： 2
科目ナンバリング： TRG5300
使用言語： 日本語
授業形式： 講義
履修登録方法： 科目コード登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：

授業の目標 / Course Objectives

マーケティング・リサーチの基本概念と枠組みを理解する

The goal of this course is to provide an understanding of the basic concepts of marketing research.

授業の内容 / Course Contents

マーケティング・リサーチとは、マーケティング活動に必要な意思決定上のリスクの軽減を目的とし、マーケティング意思決定に必要な諸情報を収集・分析する機能を有しています。

本講義では、マーケティング・リサーチに関する基本概念、特に定性調査の理解を目的とし、マーケティング・リサーチの基本的な考え方について学習します。

Marketing research has the function of collecting and analyzing various types of information necessary for marketing decision-making, with the aim of reducing decision-making risks in marketing activities.

In this course, we aim to understand the basic concepts of marketing research, especially qualitative research, and learn about the basic ideas of marketing research.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

1 回：イントロダクション：消費者理解とマーケティングリサーチ

- 2回：マーケティング課題とリサーチ
 3回：定性調査と定量調査
 4回：学術調査と実務的調査
 5回：定性調査（1）：インタビュー調査
 6回：定性調査（2）：インタビュー調査
 7回：定性調査（3）：観察法調査
 8回：定性調査（4）観察法調査
 9回：実務家による実践報告（A）
 10回：実務家による実践報告（A）
 11回：実務家による実践報告（B）
 12回：実務家による実践報告（B）
 13回：期末課題報告（A）
 14回：期末課題報告（B）

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワポ等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:			:

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

適宜講義内にて、指示します。

成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 課題プレゼンテーション:60% 授業内ディスカッションへの貢献度:40%

テキスト / Textbooks

適宜講義内にて、紹介する

参考文献 / Readings

関連テーマに応じて適宜講義内にて、参考文献等を紹介します。

その他 / Others

- （1）全授業回をオンラインでの実施予定。
- （2）大学院における専門科目として、相応の事前学習（事前課題学習等）が必須となるため、履修を希望するものは、その点について留意すること。
- （3）実務家ゲストスピーカーの招聘を予定する。
- （4）各回の講義内容は前後する場合がある。

注意事項

本科目は、5年以上の実務経験を有する実務家教員による授業であり、全授業回数の50%以上がディスカッションなど双方向形式の授業によって運営されます。

マーケティング・リサーチ 2

Marketing Research 2

齋藤 明 (SAITO AKIRA)

開講年度：	2024
科目設置学部：	観光学研究科
科目コード等：	UA689
授業形態：	オンライン（全回オンライン）
授業形態（補足事項）	発話を伴う授業を学内で受講する場合は 8201 の利用可
校地：	池袋
学期：	秋学期 2
単位：	2
科目ナンバリング：	TRG5300
使用言語：	日本語
授業形式：	講義
履修登録方法：	科目コード登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	

授業の目標 / Course Objectives

マーケティング・リサーチの基本概念と枠組みを理解する。

The goal of this course is to provide an understanding of the basic concepts of marketing research.

授業の内容 / Course Contents

マーケティング・リサーチとは、マーケティング活動に必要な意思決定上のリスクの軽減を目的とし、マーケティング意思決定に必要な諸情報を収集・分析する機能を有しています。

本講義では、マーケティング・リサーチに関する基本概念、特に定量調査の理解を目的とし、マーケティング・リサーチの基本的な考え方について学習します。

Marketing research has the function of collecting and analyzing various types of information necessary for marketing decision-making, with the aim of reducing decision-making risks in marketing activities.

In this course, we aim to understand the basic concepts of marketing research, especially quantitative research, and learn about the basic ideas of marketing research.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

1 回：イントロダクション：定量調査

- 2回：マーケティング課題とリサーチ課題
 3回：リサーチプロセス
 4回：母集団とサンプリング
 5回：マーケティング分析（1）：回帰分析
 6回：マーケティング分析（2）：回帰分析
 7回：マーケティング分析（3）：検定
 8回：マーケティング分析（4）：検定
 9回：実務家による実践報告（A）
 10回：実務家による実践報告（A）
 11回：実務家による実践報告（B）
 12回：実務家による実践報告（B）
 13回：期末課題報告（1）
 14回：期末課題報告（2）

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワポ等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:			:

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

適宜講義内にて、適宜指示する。

成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 課題プレゼンテーション:60% 授業内ディスカッションへの貢献度:40%

テキスト / Textbooks

適宜講義内にて、適宜紹介する。

参考文献 / Readings

関連テーマに応じて適宜講義内にて、参考文献等を紹介する。

その他 / Others

- （1）全授業回をオンラインでの実施予定。
- （2）大学院における専門科目として、相応の事前学習（事前課題学習等）が必須となるため、履修を希望するものは、その点について留意すること。
- （3）実務家ゲストスピーカーの招聘を予定する。
- （4）各回の講義内容は前後する場合がある。

注意事項

本科目は、5年以上の実務経験を有する実務家教員による授業であり、全授業回数の50%以上がディスカッションなど双方向形式の授業によって運営されます。

観光経済学研究

Tourism Economics

観光現象を経済学的に分析する

野原 克仁 (NOHARA KATSUHITO)

開講年度：	2024
科目設置学部：	観光学研究科
科目コード等：	WA551
授業形態：	対面（全回対面）
授業形態（補足事項）	
校地：	新座
学期：	秋学期
単位：	2
科目ナンバリング：	TRG7300
使用言語：	日本語
授業形式：	講義
履修登録方法：	科目コード登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	前期と合同

授業の目標 / Course Objectives

観光を経済学の視点から分析する方法について、応用レベルの知識を習得することを目標とする。観光と環境の関わり、観光が地域に与える影響などをどのように経済モデル化するのか、またデータ分析を通じエビデンスに基づいた政策提言を行なう方法について、必要な知識を習得する。

This course aims to acquire applied-level knowledge of analyzing tourism from an economic perspective. Students will acquire the necessary knowledge on how to model the relationship between tourism and the environment and the impact of tourism on local communities, and how to make evidence-based policy suggestions through data analysis.

授業の内容 / Course Contents

観光経済学に関する論文もしくはテキストを用い、観光経済学領域の研究動向について理解を深める。特に、自然環境と観光とのつながりを意識し、観光が地方の発展にどのように資するかについて経済学の研究論文を読み込む。また、実証分析を行なっている論文を読み、データ分析についての知見を深める。

In this class, students will deepen their understanding of research trends in tourism economics by using articles

or texts on tourism economics. In particular, students will read research papers in economics on how tourism contributes to the development of rural areas, with particular attention to the connection between the natural environment and tourism. Students will also read papers that conduct empirical analysis to deepen their knowledge of data analysis.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1回：オリエンテーション：講義の進め方について
- 2回：経済学の研究1
- 3回：経済学の研究2
- 4回：観光現象の経済学的分析1
- 5回：観光現象の経済学的分析2
- 6回：観光現象の経済学的分析3
- 7回：観光現象の経済学的分析4
- 8回：観光現象の経済学的分析5
- 9回：観光現象の経済学的分析6
- 10回：観光現象の経済学的分析7
- 11回：計量経済学を用いたアプローチ1
- 12回：計量経済学を用いたアプローチ2
- 13回：計量経済学を用いたアプローチ3
- 14回：総括

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド（パワポ等）の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：○	グループ発表	：	ディスカッション・ディベート	：○
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

事前に資料もしくはテキストを読み込み、理解を深めておくこと。

成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合：100% 授業中の報告と議論を総合的に評価する。：100%

各評価方法において前期課程と比較して高い水準で評価する。

テキスト / Textbooks

資料をコピーして配付する。

参考文献 / Readings

授業中に適宜紹介する。

履修に当たって求められる能力 / Abilities Required to Take the Course

観光を対象として経済学を用いて分析した海外ジャーナルに掲載された論文を読み、リサーチクエスチョンを設定できること。

学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare

必要な資料などを配布する際に、Canvas LMS を使用することがある。

注意事項（検索結果画面）

前期と合同

観光行動研究

Human Behavior in Tourism

相澤 孝文 (AIZAWA TAKAFUMI)

開講年度：	2024
科目設置学部：	観光学研究科
科目コード等：	WA559
授業形態：	対面（全回対面）
授業形態（補足事項）	
校地：	新座
学期：	秋学期
単位：	2
科目ナンバリング：	TRG7100
使用言語：	日本語
授業形式：	講義
履修登録方法：	科目コード登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	前期と合同

授業の目標 / Course Objectives

本科目は、観光行動および観光者心理にみられる特性とその具体的な調査分析手法について応用的な知識を修得することをねらいとしている。

授業の内容 / Course Contents

本科目では、観光行動の基本的原理や様々なスケールの観光行動、ならびに観光者心理に関する調査研究論文を講読するとともに、受講生が個別に調査テーマを設定して課題にとりくむ。

観光行動や観光者心理、ならびにそれらをふまえた観光計画の研究に関する原論的な内容を扱うので、とくにこの領域の研究にとりくもうと考えている学生に受講を勧めたい。

In this course, students are expected to study the basic principles of tourist behavior on various scales, and be individually engaged in studying research themes related to tourist behavior. This course deals with the principal theories in the research on tourist behavior and the tourism planning based on them. This course welcomes students if they are interested in the research in this area.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

1 回：オリエンテーション

- 2回：「観光の原理」について
 3回：「観光の原理」について
 4回：観光行動／観光者心理の事例研究
 5回：観光行動／観光者心理の事例研究
 6回：観光行動／観光者心理の事例研究
 7回：観光行動／観光者心理の事例研究
 8回：観光行動／観光者心理の事例研究
 9回：調査計画案の検討
 10回：調査計画案の検討
 11回：調査の実施
 12回：調査の実施
 13回：成果報告
 14回：成果報告

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：	スライド（パワポ等）の使用	：	○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：	○	グループ発表	：	ディスカッション・ディベート	：
実技・実習・実験	：	○	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：					

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

- ◆研究論文や調査報告書等をはじめとする情報源にあたり、観光行動／観光者心理の研究領域について具体的にどのような関心をもっているかを明確化しておくこと。
- ◆自身がとりくんでいる研究テーマや関心を寄せている観光現象について、旅行者の視点からとらえ直してみる機会としても本講座を活用してほしい。

成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合：100% 授業内課題:30% 発表内容:30% 調査報告レポート:40%

各評価方法において前期課程と比較して高い水準で評価する。

テキスト / Textbooks

取り上げる論文等を授業時間内に配布する。

参考文献 / Readings

橋本俊哉 観光回遊論 風間書房 1997

橋本俊哉 編 観光行動論 原書房 2013

その他 / Others

受講生の関心領域の把握および課題発表スケジュール決定のため、第1回講義には必ず出席すること。

注意事項（検索結果画面）

前期と合同

観光地調査研究法

Research Methods for Tourism Area Management

観光地経営専門家育成プログラム

橋本 俊哉/佐藤 大祐/庄司 貴行/西川 亮/野原 克仁 (HASHIMOTO TOSHIYA/ SATO DAISUKE/ SHOJI TAKAYUKI/ NISHIKAWA RYO/ NOHARA KATSUHITO)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： WA564
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 池袋
学期： 秋学期他
単位： 2
科目ナンバリング： TRG7300
使用言語： 日本語
授業形式： 講義
履修登録方法： 科目コード登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考： 前期と合同

授業の目標 / Course Objectives

観光による地域振興を図るためには、変化する観光の動向を的確にとらえ、観光地を革新し、マネジメントする能力をもった人材が求められる。この授業では、そうした知識・スキルをもった人材＝観光地経営専門家として活躍するために必要とされる、高度な水準の知識ならびに調査分析方法を習得する。

授業の内容 / Course Contents

観光地を経営し、革新することの意義を理解し、実践する力を身につけるために、現代の観光を取り巻く様々な環境条件と変わりゆく観光の動向を多角的に把握するとともに、地域資源の活用、効果的な地域情報発信の方法など、観光と地域振興に関わる多角的な視点からの知識とそのための調査分析方法を学び、さらに事例研究を通じたより実践的・発展的な学習を行う。授業期間中に、内容に即した2度のフィールドワーク(任意参加)を実施する。

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

1回：オリエンテーション

- 2回：観光地における価値の創造
- 3回：観光地の調査分析方法1：地理学
- 4回：観光地からの情報発信
- 5回：観光地のソーシャルイノベーション①
- 6回：観光地のソーシャルイノベーション②
- 7回：観光地の調査分析方法2：フィールドワーク
- 8回：町並み観光地の経営
- 9回：観光地の調査分析方法3：経済学
- 10回：新しい観光地経営の事例分析
- 11回：温泉観光地の経営
- 12回：温泉観光地の経営事例分析
- 13回：観光地経営と地域のステークホルダー
- 14回：総括

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：	スライド（パワポ等）の使用	：	○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：	○	グループ発表	：	○	ディスカッション・ディベート
実技・実習・実験	：	○	学内の教室外施設の利用	：		校外実習・フィールドワーク
上記いずれも用いない予定	：					○

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

講義後に、講義内容が自らの研究にいかに関活用しうるかを考えつつ復習を行うこと。

成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合：100% 講義・議論への参加状況：60% 最終レポート割合：40%

講義や議論への参加状況、課題レポートで評価する。各評価方法において前期課程と比較して高い水準で評価する。

テキスト / Textbooks

授業時に資料を配布する。

参考文献 / Readings

配布資料に記載する。

その他 / Others

授業期間中に2度のフィールドワークを計画している。任意参加で交通費は自己負担となるが、観光地経営の実際を学ぶ良い機会であるので、参加を強く勧める。

注意事項（検索結果画面）

前期と合同

観光環境・計画学研究（1）

Tourism Planning(1)

観光対象としての建築を考える

毛谷村 英治 (KEYAMURA EIJI)

開講年度： 2024

科目設置学部： 観光学研究科

科目コード等： WA570

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 新座

学期： 春学期

単位： 2

科目ナンバリング： TRG7200

使用言語： 日本語

授業形式： 講義

履修登録方法： 科目コード登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考： 前期と合同

授業の目標 / Course Objectives

観光の対象となる建築物の特徴とその計画手法を学び、生活環境を豊かにするための建築計画について考える。

In this course, students learn the characteristics of the building to be viewed and its planning method, and they think about architectural planning to enrich the living environment.

授業の内容 / Course Contents

史実の舞台となった歴史的建造物のみならず建物自体のデザインが個性的であるが故に観光対象となる建築物が存在する。建物において提供されるサービスを楽しむために人々が訪れる観光施設とは建設目的が異なっているにも拘らず観光対象とされ、現実的には観光資源となっている。生活空間が観光地化される場合の課題とそこに暮らす人々にとって許容できる計画の進め方について具体的事例を元に議論を行い、理解を深める。

Not only are historical buildings that have served as the setting for historical events becoming tourist attractions, but some buildings are also tourist attractions because of their unique design. The architectural purpose of these buildings is different from that of tourist facilities, where people visit to enjoy the services provided to tourists in

the building. Despite this, it is treated as a tourist destination and has actually become a tourist resource. We will use specific examples to discuss and deepen our understanding of the challenges faced when living spaces become tourist destinations and how to proceed with plans that will be acceptable to the people living there.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1回：1. オリエンテーション
- 2回：2. 観光と建築
- 3回：3. 建築の魅力
- 4回：4. 芸術作品としての建築
- 5回：5. 構造や仕組みとしての建築
- 6回：6. 工業製品としての建築
- 7回：7. 歴史の舞台としての建築
- 8回：8. 社会資本としての建築
- 9回：9. 文化装置としての建築
- 10回：10. 気候や環境と建築
- 11回：11. 観光対象としての建築
- 12回：12. 故郷の建築（事例報告）
- 13回：13. 観光地の建築
- 14回：14. 建築の見方、捉え方

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド（パワポ等）の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：○
個人発表	：○	グループ発表	：○	ディスカッション・ディベート	：○
実技・実習・実験	：○	学内の教室外施設の利用	：○	校外実習・フィールドワーク	：○
上記いずれも用いない予定	：				

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

授業時に指示する

成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合：100% 授業内での課題発表・討議を総合的に判断:60% 最終レポート割合：40%

テキスト / Textbooks

特になし。

参考文献 / Readings

適宜紹介する。

履修に当たって求められる能力 / Abilities Required to Take the Course

観察力、分析力、考察力、プレゼンテーション力

注意事項（検索結果画面）

前期と合同

観光環境・計画学研究（2）

Tourism Planning(2)

小野 良平 (ONO RYOHEI)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： WA571
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 秋学期
単位： 2
科目ナンバリング： TRG7200
使用言語： 日本語
授業形式： 講義
履修登録方法： 科目コード登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考： 前期と合同

授業の目標 / Course Objectives

自然を主な資源とする観光地ではその自然資源の保護と利用のバランスが求められる。そのための施策として保護地域を指定することが各地で行われているが、サステナブルツーリズムが求められる時代のなかで、保護地域の計画論の現状を知りその課題について議論することをねらいとする。

In nature-based tourist sites around the world, well-balanced management is required between nature protection and human activities. One of the popular institutional measures for it is designating protected area. The aim of the class is to learn the current ways of planning of protected areas and discuss their challenges in the age of sustainable tourism.

授業の内容 / Course Contents

自然資源を基盤とした観光地を設定し、自然環境の特徴、人との関わり・観光地としての歴史、自然環境の保護や観光に関して適用されている制度（国立公園等）についてまず整理を行う。その上で各自が 1)制度の主体、2)保護地域の名称と目的、3)地域指定の考え方、4)地域指定の具体例、5)地域内における開発規制や観光者の行動規制等について調査し、参加者による議論のファシリテーションを行う。

Selecting a tourist site where is based on natural resources, features of natural environment, history of human activities including tourism, and institutions applied for the purpose of conservation (protection or tourists' use) of the natural resources (e.g. National park) are surveyed. Then, participants examine 1)the agent of the institution, 2)name of protected area and its purpose, 3)ways of determining the area, 4)examples of the protected area, and 5)regulation of development or tourist behavior in the area. Finally, all participants facilitate the discussions on challenges of each institutions.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1回：イントロダクション
- 2回：自然資源を基盤にした観光地紹介（1）
- 3回：自然資源を基盤にした観光地紹介（2）
- 4回：自然資源を基盤にした観光地紹介（3）
- 5回：自然資源を基盤にした観光地紹介（4）
- 6回：保護地域制度の詳細検討（1）
- 7回：保護地域制度の詳細検討（2）
- 8回：保護地域制度の詳細検討（3）
- 9回：保護地域制度の詳細検討（4）
- 10回：保護地域制度の詳細検討（5）
- 11回：保護地域制度の詳細検討（6）
- 12回：保護地域制度の詳細検討（7）
- 13回：保護地域制度の詳細検討（8）
- 14回：まとめ

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワポ等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:			:

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

発表のための十分な準備と議論への積極的参加・発言が求められる。

成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 出席・参加状況、およびレポート等を総合的に評価:100%

各評価方法において前期課程と比較して高い水準で評価する。

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

必要に応じて適宜紹介する。

注意事項（検索結果画面）

前期と合同

観光社会学研究（1）

Sociology of Tourism(1)

大橋 健一 (OHASHI KENICHI)

開講年度：	2024
科目設置学部：	観光学研究科
科目コード等：	WA573
授業形態：	対面（全回対面）
授業形態（補足事項）	
校地：	新座
学期：	春学期
単位：	2
科目ナンバリング：	TRG7100
使用言語：	日本語
授業形式：	講義
履修登録方法：	科目コード登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	前期と合同

授業の目標 / Course Objectives

これまでの観光研究がなかば所与自明としてきた西欧近代社会を前提とした「観光/tourism」概念を再検討し、「観光」の理解の深化、総合化を図るとともに、その理解の各自の「観光」研究への応用を目標とする。

This course aims to reexamine the concept of "tourism," which has been understood on the presupposition of Western modern society, to cultivate deeper and more comprehensive understanding of "tourism", and to apply that understanding to each student's own "tourism" research.

授業の内容 / Course Contents

従来の観光研究において、観光現象は比較的平板な近代社会像を所与の文脈として論じられることが一般的であった。このような傾向を乗り越えるため、本授業では、「もう一つの近代」としての社会主義体制下およびポスト社会主義体制下における「観光」現象を観光文化という観点から取り扱う。国内外の関連文献の輪読と討論を通して、「観光」現象の動態的理解を目指す。

In extant tourism literature, the tourism phenomena has been generally discussed on the premise of homogeneous images of modern society. To overcome this trend, this course handles the tourism phenomena under the socialist and post-socialist regimes from the perspective of tourism culture and aims to introduce more

dynamic understandings of tourism phenomena.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1回：オリエンテーション
- 2回：文献の渉猟とリストの作成（1）
- 3回：文献の渉猟とリストの作成（2）
- 4回：文献輪読（1）
- 5回：文献輪読（2）
- 6回：文献輪読（3）
- 7回：文献輪読（4）
- 8回：文献輪読（5）
- 9回：文献輪読（6）
- 10回：文献輪読（7）
- 11回：文献輪読（8）
- 12回：総合討論（1）
- 13回：総合討論（2）
- 14回：総合討論（3）

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：	スライド（パワー等）の使用	：	○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：	○	グループ発表	：	○	ディスカッション・ディベート：○
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：		校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：					

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

社会主義体制の成立と展開に関する世界史的な一般知識について各自整理しておくことが望ましい。

成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合：100% 授業への参加度：60% 最終レポート割合：40%

各評価方法において前期課程と比較して高い水準で評価する。

テキスト / Textbooks

特に指定しない。適宜案内する。

参考文献 / Readings

適宜紹介する。

注意事項（検索結果画面）

前期と合同

観光社会学研究（3）

Sociology of Tourism(3)

観光研究による社会学の問い直し

高岡 文章 (TAKAOKA FUMIAKI)

開講年度： 2024

科目設置学部： 観光学研究科

科目コード等： WA575

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 新座

学期： 秋学期

単位： 2

科目ナンバリング： TRG7100

使用言語： 日本語

授業形式： 講義

履修登録方法： 科目コード登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考： 前期と合同

授業の目標 / Course Objectives

博士論文の執筆に向けて、社会学の観点から観光について研究するために必要な概念や手法を習得する。

授業の内容 / Course Contents

社会学の転回について検討する。

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：ガイダンス
- 2 回：文献講読
- 3 回：文献講読
- 4 回：文献講読
- 5 回：文献講読
- 6 回：文献講読
- 7 回：文献講読

- 8回：文献講読
 9回：文献講読
 10回：文献講読
 11回：文献講読
 12回：文献講読
 13回：文献講読
 14回：総括

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド（パワー等）の使用	：	上記以外の視聴覚教材の使用	：○
個人発表	：○	グループ発表	：	ディスカッション・ディベート	：○
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

指定された内容の予習が受講の前提となる。

成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation

レポート試験 :70%

平常点割合 :30% 授業への参加度:30%

各評価方法において前期課程と比較して高い水準で評価する。

テキスト / Textbooks

観光社会学（および周辺領域）の最新の論文（英語論文を含む）を読む予定。

参考文献 / Readings

注意事項（検索結果画面）

前期と合同

観光人類学研究（1）

Anthropology of Tourism(1)

文化人類学の視点の応用

久保 忠行 (KUBO TADAYUKI)

開講年度： 2024

科目設置学部： 観光学研究科

科目コード等： WA576

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 新座

学期： 春学期

単位： 2

科目ナンバリング： TRG7100

使用言語： 日本語

授業形式： 講義

履修登録方法： 科目コード登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考： 前期と合同

授業の目標 / Course Objectives

この授業の到達目標は、次のとおりである。

- 1) 文化人類学で用いられる理論と概念についての理解を深めること。
- 2) 人類学的なアプローチや視点を博士論文の執筆に応用できるようになること。

In this course, students will be able to:

- 1) develop an understanding of the theories and concepts of cultural anthropology.
- 2) be able to apply an anthropological approach in writing doctoral dissertations.

授業の内容 / Course Contents

この授業では、文化人類学のテキストを購読し人類学の理論と概念を学び、観光研究への応用を試みる。受講者は基本文献の担当章の内容をレジюмеにまとめて、内容・論点・課題や疑問を提示する。そのうえで、基本文献で提示された概念や考え方を、自身が論文で用いる事例に応用して考察や論点を提示する。基本文献の候補は、参考文献にあげたものを予定しているが、受講者と相談のうえ変更することもある。

In this class, students will study anthropological theories and concepts by reading texts on cultural anthropology

and attempt to apply it to their tourism research. Students will prepare a resume of the contents of their assigned chapters of the selected texts, presenting the contents, arguments, issues, and questions. Students will then apply the concepts and ideas presented in the texts to their own case studies and present insights and arguments. The textbooks listed in the reference list will be used but it can be changed after consultation with students.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1回：オリエンテーション
- 2回：文献講読・論点・事例の提示とディスカッション
- 3回：文献講読・論点・事例の提示とディスカッション
- 4回：文献講読・論点・事例の提示とディスカッション
- 5回：文献講読・論点・事例の提示とディスカッション
- 6回：文献講読・論点・事例の提示とディスカッション
- 7回：文献講読・論点・事例の提示とディスカッション
- 8回：文献講読・論点・事例の提示とディスカッション
- 9回：文献講読・論点・事例の提示とディスカッション
- 10回：文献講読・論点・事例の提示とディスカッション
- 11回：文献講読・論点・事例の提示とディスカッション
- 12回：文献講読・論点・事例の提示とディスカッション
- 13回：文献講読・論点・事例の提示とディスカッション
- 14回：まとめと展望

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：	スライド（パワー等）の使用	：	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：	○ グループ発表	：	ディスカッション・ディベート	：○
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：		：		：

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

受講者は指定された文献を熟読し、疑問点、論点を授業までに準備しておくこと。

報告者は、担当章のまとめとともに担当章の内容をどのように応用できそうかをレジюмеにまとめておくこと。

成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 報告内容:25% 議論への参加:25% 事前学習:25% レポート:25%

特に以下の点を評価する。報告：分かりやすいレジюмеと聴衆に伝わる報告。議論への参加：記述内容や報告者が立てた論点への批判的・建設的な検討。事前学習：文献内容の的確な理解と不明な箇所の下調べ。レポート：発表に対する意見や批判を踏まえたもの。

各評価方法において前期課程と比較して高い水準で評価する。

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

松村圭一郎ほか（編）『文化人類学の思考法』 世界思想社 2019 9784790717331

桑山敬己・綾部真雄（編著）『詳論 文化人類学』 ミネルヴァ書房 2018 9784623082711

春日直樹ほか（編）『文化人類学のエッセンス』 有斐閣 2021 9784641221697

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

学術活動をおこなうための以下の基礎があること

- ・論文やレポート作成にあたり典拠や参考文献の明記などが遵守できること。
- ・適切な文章で、論理的な説明ができること。
- ・他者の意見を正確に理解できること。
- ・自身の意見を論拠をもとに明確に提示できること。

その他/ Others

履修を検討するさい、参考文献の目次をかならず確認してください。そのうえで自身のテーマや関心事と人類的な切り口（トピック）が合致するかどうかを事前に確認してください。

注意事項（検索結果画面）

前期と合同

観光地理学研究（3）

Tourism Geography(3)

佐藤 大祐 (SATO DAISUKE)

開講年度： 2024
科目設置学部： 観光学研究科
科目コード等： WA581
授業形態： 対面（全回対面）
授業形態（補足事項）
校地： 新座
学期： 春学期
単位： 2
科目ナンバリング： TRG7200
使用言語： 日本語
授業形式： 講義
履修登録方法： 科目コード登録
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：
オンライン授業 60 単位制限対象科目：
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考： 前期と合同

授業の目標 / Course Objectives

観光地理学の研究方法を習得し、自らの博士論文執筆に応用できるようにする。

授業の内容 / Course Contents

フィールド調査や資料分析を用いて観光地理学研究の着眼点や調査の方法、資料の分析方法および地図化・図表化について学ぶ。

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：地形図判読
- 2 回：フィールドとテーマの決定。各自の修論構想や興味関心をもとにフィールドやテーマを決定する。何らかの分布図等を作って空間的な分析を含める。
- 3 回：調査計画・調査票の設計 1
- 4 回：調査計画・調査票の設計 2
- 5 回：フィールドワークと地図作成 1
- 6 回：フィールドワークと地図作成 2
- 7 回：フィールドワークと地図作成 3

- 8回：フィールドワークと地図作成 4
 9回：資料分析と地図作成 1
 10回：資料分析と地図作成 2
 11回：資料分析と地図作成 3
 12回：資料分析と地図作成 4
 13回：レポート作成 1
 14回：レポート作成 2

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワポ等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	○ ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	○ 学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:		:

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

授業時間外にフィールド調査や資料の分析, レポート作成などを実施する。

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分:111) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 授業内でのプレゼン・ディスカッション:30% 授業外での資料収集・分析:30% 地図やレポートの作成:40%

各評価方法において前期課程と比較して高い水準で評価する。

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

注意事項 (検索結果画面)

前期と合同

観光研究特論B

Special Lecture on Tourism Research(B)

宮崎 友里 (MIYAZAKI YURI)

開講年度：	2024
科目設置学部：	観光学研究科
科目コード等：	WA583
授業形態：	対面（全回対面）
授業形態（補足事項）	
校地：	新座
学期：	春学期
単位：	2
科目ナンバリング：	TRG7000
使用言語：	日本語
授業形式：	講義
履修登録方法：	科目コード登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	前期と合同

授業の目標 / Course Objectives

政策に関する知識と、原因を推論するための方法論と、文献調査のための方法論を習得し、実際に使用できる水準に到達することが目標である。

ディスカッションには建設的なコメントをもって寄与することが求められる。

授業の内容 / Course Contents

本授業の内容は三段階で構成されている。第一に、政策一般に関する具体的な知識を身につける。第二に、物事を説明する際にヒントとなる、原因を推論するための方法論を学ぶ。第三に、実際に文献を収集する際に必要となる方法論を学ぶ。

毎回、講義担当者が指定した文献の報告担当者を決めて報告のうえ、履修者と講義担当者がともにディスカッションを行いながら、知識を身につける。

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

1 回：イントロダクション

2 回：社会の中の観光政策：公共政策の視点

- 3回：公共政策とは何か
 4回：政策はどのように決まるのか（1）
 5回：政策はどのように決まるのか（2）
 6回：政策は誰がどのように実施するのか
 7回：政策の効果はどうやって測るのか
 8回：因果推論（1）反証可能性
 9回：因果推論（2）原因の時間的先行
 10回：因果推論（3）単一事例研究
 11回：因果推論（4）比較事例研究
 12回：文献リサーチの方法論
 13回：なぜ「これ以上、先行研究がない」のかを考える
 14回：課題の作成に向けて

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド（パワポ等）の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：○	グループ発表	：	ディスカッション・ディベート	：○
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

毎回の報告者は、文献の報告準備が必要となる。報告者以外の履修者は、ディスカッションに参加するための準備が必要となる。

成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合：100% 授業への参加：60% 最終レポート割合：40%

各評価方法において前期課程と比較して高い水準で評価する。

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

- 秋吉貴雄 入門 公共政策学 中公新書 2017
 砂原庸介、手塚洋輔 公共政策 放送大学教育振興会 2022
 久米郁男 原因を推論する 有斐閣 2013
 伊藤修一郎 政策リサーチ入門 東京大学出版会 2011

注意事項（検索結果画面）

前期と合同

観光歴史学研究

History of Tourism

高柳 友彦 (TAKAYANAGI TOMOHIKO)

開講年度：	2024
科目設置学部：	観光学研究科
科目コード等：	WA586
授業形態：	対面（全回対面）
授業形態（補足事項）	
校地：	新座
学期：	秋学期
単位：	2
科目ナンバリング：	TRG7100
使用言語：	日本語
授業形式：	講義
履修登録方法：	科目コード登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	前期と合同

授業の目標 / Course Objectives

この科目は、歴史研究の手法を身につけることを目標としています。

At the end of the course, participants are expected to explain the historical study.

授業の内容 / Course Contents

近現代日本の温泉の歴史について講義する。

This course introduces history of hot springs in modern Japan to students taking this course.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

1 回：温泉の歴史研究について

(温泉を歴史研究の対象にすることの意義や研究史について)

2 回：温泉資源の開発と管理

(近代以降の日本の温泉資源の開発の実態とその取締・管理について)

3 回：温泉資源の管理の歴史①

(輪読文献『温泉の経済史』)

4 回：温泉資源の管理の歴史②

- (輪読文献『温泉の経済史』)
- 5回：温泉資源の管理の歴史③
(輪読文献『温泉の経済史』)
- 6回：温泉資源の管理の歴史④
(輪読文献『温泉の経済史』)
- 7回：温泉資源の管理の歴史⑤
(輪読文献『温泉の経済史』)
- 8回：温泉旅行の歴史①
(輪読文献『温泉旅行の近現代』)
- 9回：温泉旅行の歴史②
(輪読文献『温泉旅行の近現代』)
- 10回：温泉旅行の歴史③
(輪読文献『温泉旅行の近現代』)
- 11回：温泉旅行の歴史④
(輪読文献『温泉旅行の近現代』)
- 12回：温泉に関する法律について
- 13回：温泉における人的資源の重要性
- 14回：まとめ

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワポ等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	○ ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:		:

授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

この授業では、履修者の数によりりますが、個人またはグループでテキストの一部をまとめ、議論する論点や読んだうえでの疑問点を出していただきます (例えば、該当箇所を A4,1, 2 枚程度でまとめていただき、個人・グループで発表していただく)。その発表内容に関して、教員が事実関係や研究手法などについて回答していくスタイルをとります (第3回目の授業以降の予定)。学期中に最低1回担当することを義務づけます。

読む文献は教員が温泉をテーマとして執筆した文献・論文になります。歴史を学んだことが無い履修者にも理解できるよ

成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：111) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 平常点 (リアクションペーパーの提出・複数回) :30% 平常点 (授業内に行う個人・グループ発表) :30% 最終レポート割合 :40%

すべての評価方法において前期課程よりも高度な達成水準を要求する (例えば、個人・グループ発表を複数回行うなど)。

テキスト / Textbooks

- 高柳友彦 温泉の経済史－近代日本の資源管理と地域経済 東京大学出版会 2021 9784130461337 ○
- 高柳友彦 温泉旅行の近現代 吉川弘文館 2023 9784642059824 ○

参考文献 / Readings

注意事項（検索結果画面）

前期と合同

観光文学研究（2）

Literature and Tourism(2)

コナン・ドイルのシャーロック・ホームズシリーズを読む

Reading the Canon of Sherlock Holmes

石橋 正孝 (ISHIBASHI MASATAKA)

開講年度： 2024

科目設置学部： 観光学研究科

科目コード等： WA587

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 新座

学期： 秋学期

単位： 2

科目ナンバリング： TRG7100

使用言語： 日本語

授業形式： 講義

履修登録方法： 科目コード登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考： 前期と合同

授業の目標 / Course Objectives

各自がこれまでに得てきた専門的知見と照らし合わせながら文学作品を精読することで、読者が観光者になる過程、そして観光と読書が相互にもたらす影響について理解を深める。

By carefully reading a literary work in the light of each participant's specialized knowledge, students will better understand the process by which readers become tourists, and the influence that tourism and reading exert on each other.

授業の内容 / Course Contents

コナン・ドイルのシャーロック・ホームズシリーズは、その現代版ドラマ等による新展開に伴い、新たなブームを迎えている。観光的には「聖地巡礼」の端緒に位置づけられる。批評版の注等も参照しつつ第二短編集『シャーロック・ホームズの思い出』を刊行順に精読することでこの神話の成立過程をたどりなおし、二次創作をはじめとする受容にも目を配り、適宜映像や図版資料の紹介を交え、理解を深めるよすがとしたい。

In this course, students are expected to read the most reliable Japanese translation of the Canon of Sherlock

Holmes (Conan Doyle, 1887-1930) and the explanatory notes for some critical editions of this series.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1回：オリエンテーション、コナン・ドイルの人と作品
- 2回：シャーロック・ホームズシリーズの概要、後世への影響
- 3回：文献講読と討議：「白銀号事件」
- 4回：文献講読と討議：「ボール箱」
- 5回：文献講読と討議：「黄色い顔」
- 6回：文献講読と討議：「株式仲買店員」
- 7回：文献講読と討議：「グロリア・スコット号事件」
- 8回：文献講読と討議：「マスグレーヴ家の儀式書」
- 9回：文献講読と討議：「ライゲートの大地主」
- 10回：文献講読と討議：「背中の曲がった男」
- 11回：文献講読と討議：「入院患者」
- 12回：文献講読と討議：「ギリシャ語通訳」
- 13回：文献講読と討議：「海軍条約文書事件」
- 14回：文献講読と討議：「最後の事件」

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：	スライド（パワポ等）の使用	：	上記以外の視聴覚教材の使用	：○
個人発表	：	○	グループ発表	：	ディスカッション・ディベート：○
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

担当箇所に限らず、各回で読む予定の箇所（注も含む）に必ず前もって目を通しておくこと。

You have to read previously the pages which will be treated.

成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 発表及び授業参加:100%

各評価方法において前期課程と比較して高い水準で評価する。

テキスト / Textbooks

- コナン・ドイル 緋色の習作 河出書房新社 2014 4309466117 -
 コナン・ドイル 四つのサイン 河出書房新社 2014 4309466125 -
 コナン・ドイル シャーロック・ホームズの思い出 河出書房新社 2014 9784309466149 ○

参考文献 / Readings

ボーストレム 〈ホームズ〉から〈シャーロック〉へ——偶像を作り出した人々の物語 作品社 2020
 4861827884

注意事項（検索結果画面）

前期と合同

観光政策学研究

Tourism Policy

観光政策の議論過程から学ぶ

西川 亮 (NISHIKAWA RYO)

開講年度：	2024
科目設置学部：	観光学研究科
科目コード等：	WA588
授業形態：	対面（全回対面）
授業形態（補足事項）	
校地：	新座
学期：	春学期
単位：	2
科目ナンバリング：	TRG7200
使用言語：	日本語
授業形式：	講義
履修登録方法：	科目コード登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	前期と合同

授業の目標 / Course Objectives

1960 年代における観光政策の検討過程を理解することで、現代の観光を考えるための視座を得る。

By understanding the process of policy making in the 1960s historically, we will gain new perspectives of tourism in the future.

授業の内容 / Course Contents

1960 年代、日本ではマストツーリズムの台頭とともに観光開発が盛んに行われていた。その結果、自然や文化財の破壊、観光の質の低下など様々な問題が生じた。当時、日本政府は専門家たちにこれからの観光はどうあるべきか、助言を求めていた。専門家たちは「国民生活における観光の本質とその将来像」というレポートを提出した。そのレポートは、当時の専門家たちによる相当なディスカッションによって取りまとめられたものであり、観光の本質に迫るものである。本講義では、このレポートが作成されるに至った会議議事録を用いて、当時の専門家が観

In the 1960s in Japan, a lot of tourism developments was done in many rural areas. As a result, natural environments and cultural heritages were destroyed and the quality of tourism experiences got poor. At that time,

the Japanese government asked for advices to university professors. They wrote a report titled as "The nature and future of tourism for the Japanese people" after a lot of discussion.

In this lecture, we will use conference minutes of the discussion and try to understand how specialists thought about tourism in the 1960s.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1回：イントロダクション、本講義の視座
- 2回：文献精読・議論
- 3回：文献精読・議論
- 4回：文献精読・議論
- 5回：文献精読・議論
- 6回：文献精読・議論
- 7回：文献精読・議論
- 8回：文献精読・議論
- 9回：文献精読・議論
- 10回：文献精読・議論
- 11回：文献精読・議論
- 12回：文献精読・議論
- 13回：文献精読・議論
- 14回：文献精読・議論

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：	スライド（パワポ等）の使用	：	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：	○ グループ発表	：	○ ディスカッション・ディベート	：
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

現代の観光政策の情報を定期的に入手しておくこと。

成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合：100% リアクションペーパー:20% 授業内ディスカッション:80%

テキスト / Textbooks

授業内に適宜案内する。

参考文献 / Readings

授業内に適宜案内する。

注意事項（検索結果画面）

前期と合同

ラグジュアリーブランド・マネジメント 1

Luxury Brand Management 1

外村 彩 (TONOMURA AYA)

開講年度：	2024
科目設置学部：	観光学研究科
科目コード等：	WA672
授業形態：	対面（全回対面）
授業形態（補足事項）	ゲストスピーカーの都合によりオンラインとなる場合あり。
校地：	池袋
学期：	秋学期 1
単位：	2
科目ナンバリング：	TRG7300
使用言語：	日本語
授業形式：	講義
履修登録方法：	科目コード登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	前期と合同

授業の目標 / Course Objectives

日本におけるラグジュアリーブランドビジネスの変遷、ビジネスモデル、戦略等を体系的に網羅することにより、ラグジュアリーブランドビジネスとは、またラグジュアリーとはどういう状態のことなのか、ということ考察し明らかにする。

The course covers the historical transition, business models, strategies of luxury brand business in Japan market with the objective to clarify the positioning of luxury brand business and the meaning of "luxury."

授業の内容 / Course Contents

日本のラグジュアリーブランドビジネスで活躍されている実務家をゲストスピーカーとしてお招きし、多様な角度から業界の最新動向を知る。ゲストスピーカーはそれぞれ異なる分野の専門家で予定され、ラグジュアリーブランドビジネスへの体系的・網羅的な理解が深まる構成となっている。（マーケティング・デジタル・E コマース・セールス・ヴィジュアルマーチャンダイジング・デザイン・店舗展開・人事・ファイナンス・経営層等を予定）担当講師は全体のファシリテーターとして、最終的に当科目において明らかにする論題への解を学生自身が導き出せる

The course will showcase multiple aspects of the latest industry situation, inviting several practitioners excelling

in the business. Guest speakers will be composed of professionals in different fields (e.g. marketing / digital / e-commerce / sales / visual merchandising / design / outlet strategies / human resources / finance / management) to enable and deep-dive into the the systematic understanding of the luxury brand business. The lecturer will coordinate with the guest speakers to facilitate the class discussion and will lead the students to develop their own approaches to the thesis at the end of the course.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：ラグジュアリーブランド・マネジメント概論（本科目の目的と概要）
- 2 回：ゲストスピーカー講義 1
- 3 回：ゲストスピーカー講義 2
- 4 回：ゲストスピーカー講義 3
- 5 回：ゲストスピーカー講義 4
- 6 回：ゲストスピーカー講義 5
- 7 回：ゲストスピーカー講義 6
- 8 回：ゲストスピーカー講義 7
- 9 回：ゲストスピーカー講義 8
- 10 回：ゲストスピーカー講義 9
- 11 回：ゲストスピーカー講義 1 0
- 12 回：ゲストスピーカー講義 1 1
- 13 回：ゲストスピーカー講義 1 2
- 14 回：総括講義

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワポ等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:	○
個人発表	:	グループ発表	:		ディスカッション・ディベート	:	○
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:	
上記いずれも用いない予定	:		:			:	

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

概論講義にて当科目を通じて明らかにしたい論題（＝各セメスター期末レポート）について授業外でも各自探究いただけると尚良い。また、各ゲストスピーカー講義における議論を深めるための準備により、実務とアカデミック双方からの思考を期待する。

成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% ディスカッションへの貢献:60% 最終レポート割合 :40%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

JN カプフェレ+V バスティアン The Luxury Strategy/ラグジュアリー戦略 東洋経済新報社 2017
9784492556825

注意事項

本科目は博士課程前期課程と博士課程後期課程の合同授業となるが、後期課程の受講者においては、全ての評価方法で前期課程より高度な達成水準を要求する。

注意事項（検索結果画面）

前期と合同

ラグジュアリーブランド・マネジメント 2

Luxury Brand Management 2

外村 彩 (TONOMURA AYA)

開講年度：	2024
科目設置学部：	観光学研究科
科目コード等：	WA673
授業形態：	対面（全回対面）
授業形態（補足事項）	ゲストスピーカーの都合によりオンラインとなる場合あり。
校地：	池袋
学期：	秋学期 2
単位：	2
科目ナンバリング：	TRG7300
使用言語：	日本語
授業形式：	講義
履修登録方法：	科目コード登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	前期と合同

授業の目標 / Course Objectives

日本におけるラグジュアリーブランドビジネスの変遷、ビジネスモデル、戦略等を体系的に網羅することにより、ラグジュアリーブランドビジネスとは、またラグジュアリーとはどういう状態のことなのか、ということ考察し明らかにする。

The course covers the historical transition, business models, strategies of luxury brand business in Japan market with the objective to clarify the positioning of luxury brand business and the meaning of "luxury."

授業の内容 / Course Contents

日本のラグジュアリーブランドビジネスで活躍されている実務家をゲストスピーカーとしてお招きし、多様な角度から業界の最新動向を知る。ゲストスピーカーはそれぞれ異なる分野の専門家で予定され、ラグジュアリーブランドビジネスへの体系的・網羅的な理解が深まる構成となっている。（マーケティング・デジタル・E コマース・セールス・ヴィジュアルマーチャンダイジング・デザイン・店舗展開・人事・ファイナンス・経営層等を予定）担当講師は全体のファシリテーターとして、最終的に当科目において明らかにする論題への解を学生自身が導き出せる

The course will showcase multiple aspects of the latest industry situation, inviting several practitioners excelling

in the business. Guest speakers will be composed of professionals in different fields (e.g. marketing / digital / e-commerce / sales / visual merchandising / design / outlet strategies / human resources / finance / management) to enable and deep-dive into the the systematic understanding of the luxury brand business. The lecturer will coordinate with the guest speakers to facilitate the class discussion and will lead the students to develop their own approaches to the thesis at the end of the course.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：ラグジュアリーブランド・マネジメント概論（本科目の目的と概要）
- 2 回：ゲストスピーカー講義 1
- 3 回：ゲストスピーカー講義 2
- 4 回：ゲストスピーカー講義 3
- 5 回：ゲストスピーカー講義 4
- 6 回：ゲストスピーカー講義 5
- 7 回：ゲストスピーカー講義 6
- 8 回：ゲストスピーカー講義 7
- 9 回：ゲストスピーカー講義 8
- 10 回：ゲストスピーカー講義 9
- 11 回：ゲストスピーカー講義 1 0
- 12 回：ゲストスピーカー講義 1 1
- 13 回：ゲストスピーカー講義 1 2
- 14 回：総括講義

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワポ等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:	○
個人発表	:	グループ発表	:		ディスカッション・ディベート	:	○
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:	
上記いずれも用いない予定	:		:			:	

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

概論講義にて当科目を通じて明らかにしたい論題（＝各セメスター期末レポート）について授業外でも各自探究いただけると尚良い。また、各ゲストスピーカー講義における議論を深めるための準備により、実務とアカデミック双方からの思考を期待する。

成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% ディスカッションへの貢献:60% 最終レポート割合 :40%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

JN カプフェレ+V バスティアン The Luxury Strategy/ラグジュアリー戦略 東洋経済新報社 2017
9784492556825

注意事項

本科目は博士課程前期課程と博士課程後期課程の合同授業となるが、後期課程の受講者においては、全ての評価方法で前期課程より高度な達成水準を要求する。

注意事項（検索結果画面）

前期と合同

マーケティング・エッセンシャルズ 1

Marketing Essentials 1

齋藤 明 (SAITO AKIRA)

開講年度：	2024
科目設置学部：	観光学研究科
科目コード等：	WA684
授業形態：	オンライン（全回オンライン）
授業形態（補足事項）	発話を伴う授業を学内で受講する場合は 8201 の利用可
校地：	池袋
学期：	春学期 1
単位：	2
科目ナンバリング：	TRG7300
使用言語：	日本語
授業形式：	講義
履修登録方法：	科目コード登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	前期と合同

授業の目標 / Course Objectives

1. マーケティング・マネジメントにおける基本的概念やフレームワークの理解
2. 今後のマーケティング分野での発展科目の履修や自律的研究に向けた基盤の確立
1. Understanding basic concepts and frameworks in marketing management
2. Acquiring basic knowledge and methods for conducting advanced research in the marketing field

授業の内容 / Course Contents

マーケティングは 20 世紀初めに市場創造の理念や方法として開発され、以来ビジネスにおいて重要な役割を果し続けています。今日、マーケティングは、ビジネス（製造業、流通業、サービス業等）だけでなく、行政機関や地域、非営利組織へと活用領域を広げています。

本講義は、マーケティングの基本的な考え方と活動を中心に学習し、今後のマーケティング分野での発展科目の履修や当該分野自律的学習に向けた基礎的準備講座とします。

Marketing was developed at the beginning of the 20th century as an idea and method of market creation and has played an important role in business since that time. Today, marketing is applied not just to business (manufacturing, distribution, service, etc.), but also to administrative organizations, regions, and nonprofit

organizations.

This lecture will focus on the basic concepts and activities of marketing, and will be a basic preparatory class for advanced disciplines of marketing study.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1回：イントロダクション：マーケティングとは
- 2回：発展の歴史／マーケティング・マネジメントの基本的な考え方
- 3回：マーケティング環境：各市場の特徴／：標的市場の設定
- 4回：マーケティング・ミックスとは
- 5回：製品政策（1）：製品概説（製品分類／製品ミックス概念）
- 6回：製品政策（2）：プロダクトライフサイクルとマーケティングミックス
- 7回：価格政策（1）：価格概説
- 8回：価格政策（2）：上澄価格と浸透価格
- 9回：流通政策（1）：流通チャネル概説
- 10回：流通政策（2）：流通諸理論
- 11回：マーケティング・コミュニケーション政策（1）：マーケティング・コミュニケーション概説
- 12回：マーケティング・コミュニケーション政策（2）：広告・PR・SP・人的販売
- 13回：最終課題報告
- 14回：最終課題報告

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：	スライド（パワポ等）の使用	：	○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：	グループ発表	：		ディスカッション・ディベート	：○
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：		校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：					

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

事前学修（予習）：前回までの復習を実施し、授業に参加する。

事後学修（復習）：授業内で詳細された概念等に関して整理し、ノートを作成し、理解を促進する。

上記プロセスを繰り返し、授業内容の理解を獲得し、自律的学修を促進することを推奨しています。

成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合：100% 課題プレゼンテーション:60% 授業内ディスカッションへの貢献度:40%

テキスト / Textbooks

講義資料は、ブラックボード等で、配布する。

テキストについては、講義時に紹介する。

参考文献 / Readings

和田 充夫（編集），日本マーケティング協会（編集） マーケティング用語辞典（日経文庫） 日本経済新聞社
2005 4532110742

有馬 賢治（著），岡本 純（著），斎藤 明（著），長崎 秀俊（著），宮下 雄治（著） マーケティング・オン・ビジネス—基礎からわかるマーケティングと経営 新世社 2016 4883842347

その他 / Others

※全授業回をオンラインでの実施予定。

※適宜、関連する実務家ゲストスピーカーを招く予定です。

本講義は、マーケティングの基本的な考え方を中心に学習し、そうしたマーケティング分野での発展科目の履修や自律的学習に向けた基礎的内容となりますので、履修時に、注意してください。

本研究科では、マーケティング分野において、多くの発展科目・応用科目（B2B、サービス、ブランド、グローバル、ストラテジー等）が開講されています。

実務に関連した業務（営業系業務）経験や、学部レベルで基礎的専門用語や概念について学習した経

注意事項

本科目は博士課程前期課程と博士課程後期課程の合同授業となるが、後期課程の受講者においては、全ての評価方法で前期課程より高度な達成水準を要求する。

注意事項（検索結果画面）

前期と合同

マーケティング・エッセンシャルズ 2

Marketing Essentials 2

齋藤 明 (SAITO AKIRA)

開講年度：	2024
科目設置学部：	観光学研究科
科目コード等：	WA685
授業形態：	オンライン（全回オンライン）
授業形態（補足事項）	発話を伴う授業を学内で受講する場合は 8201 の利用可
校地：	池袋
学期：	春学期 2
単位：	2
科目ナンバリング：	TRG7300
使用言語：	日本語
授業形式：	講義
履修登録方法：	科目コード登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	前期と合同

授業の目標 / Course Objectives

1. マーケティング・マネジメントにおける基本的概念やフレームワークの理解
2. 今後のマーケティング分野での発展科目の履修や自律的研究に向けた基盤の確立
1. Understanding basic concepts and frameworks in marketing management
2. Acquiring basic knowledge and methods for conducting advanced research in the marketing field

授業の内容 / Course Contents

マーケティングは 20 世紀初めに市場創造の理念や方法として開発され、以来ビジネスにおいて重要な役割を果し続けています。今日、マーケティングは、ビジネス（製造業、流通業、サービス業等）だけでなく、行政機関や地域、非営利組織へと活用領域を広げています。

本講義は、マーケティングの基本的な考え方と活動を中心に学習し、今後のマーケティング分野での発展科目の履修や当該分野自律的学習に向けた基礎的準備講座とします。

Marketing was developed at the beginning of the 20th century as an idea and method of market creation and has played an important role in business since that time. Today, marketing is applied not just to business (manufacturing, distribution, service, etc.), but also to administrative organizations, regions, and nonprofit

organizations.

This lecture will focus on the basic concepts and activities of marketing, and will be a basic preparatory class for advanced disciplines of marketing study.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1回：イントロダクション／サービスマーケティング（1）：サービス概説
- 2回：サービスマーケティング（2）：SD ロジック・価値共創
- 3回：ブランド（1）：諸概念
- 4回：ブランド（2）：ブランディング
- 5回：消費者行動（1）：消費者行動概説（意思決定プロセス）（影響要因）
- 6回：消費者行動（2）：消費者行動諸概念（態度・関与）
- 7回：消費者行動（3）：消費者行動諸概念（流行、クチコミ他）
- 8回：ソーシャルマーケティング／非営利組織のマーケティング
- 9回：ゲスト・スピーカーによる実践報告（A）
- 10回：ゲスト・スピーカーによる実践報告（A）
- 11回：ゲスト・スピーカーによる実践報告（B）
- 12回：ゲスト・スピーカーによる実践報告（B）
- 13回：最終課題報告
- 14回：最終課題報告

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：	スライド（パワポ等）の使用	：	○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：	○	グループ発表	：	ディスカッション・ディベート	：
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：		校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：					

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

事前学修（予習）：前回までの復習を実施し、授業に参加する。

事後学修（復習）：授業内で詳細された概念等に関して整理し、ノートを作成し、理解を促進する。

上記プロセスを繰り返し、授業内容の理解を獲得し、自律的学修を促進することを推奨しています。

成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合：100% 課題プレゼンテーション:60% 授業内ディスカッションへの貢献度:40%

テキスト / Textbooks

講義資料については、ブラックボード等で配布する。

テキストについては、授業内に紹介する。

参考文献 / Readings

和田 充夫（編集），日本マーケティング協会（編集） マーケティング用語辞典（日経文庫） 日本経済新聞社
2005 4532110742

有馬 賢治（著），岡本 純（著），斎藤 明（著），長崎 秀俊（著），宮下 雄治（著） マーケティング・オン・ビジネス—基礎からわかるマーケティングと経営 新世社 2016 4883842347

その他 / Others

※全授業回をオンラインでの実施予定。

※適宜、実務家ゲストスピーカーを招く予定です。

本講義は、マーケティングの基本的な考え方を中心に学習し、そうしたマーケティング分野での発展科目の履修や自律的学習に向けた基礎的内容となりますので、履修時に、注意してください。

本研究科では、マーケティング分野において、多くの発展科目・応用科目（B2B、サービス、ブランド、グローバル、ストラテジー等）が開講されています。

実務に関連した業務（営業系業務）経験や、学部レベルで基礎的専門用語や概念について学習した経験のあ

注意事項

本科目は博士課程前期課程と博士課程後期課程の合同授業となるが、後期課程の受講者においては、全ての評価方法で前期課程より高度な達成水準を要求する。

注意事項（検索結果画面）

前期と合同

マーケティング・リサーチ 1

Marketing Research 1

齋藤 明 (SAITO AKIRA)

開講年度：	2024
科目設置学部：	観光学研究科
科目コード等：	WA688
授業形態：	オンライン（全回オンライン）
授業形態（補足事項）	発話を伴う授業を学内で受講する場合は 8201 の利用可
校地：	池袋
学期：	秋学期 1
単位：	2
科目ナンバリング：	TRG7300
使用言語：	日本語
授業形式：	講義
履修登録方法：	科目コード登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	前期と合同

授業の目標 / Course Objectives

マーケティング・リサーチの基本概念と枠組みを理解する

The goal of this course is to provide an understanding of the basic concepts of marketing research.

授業の内容 / Course Contents

マーケティング・リサーチとは、マーケティング活動に必要な意思決定上のリスクの軽減を目的とし、マーケティング意思決定に必要な諸情報を収集・分析する機能を有しています。

本講義では、マーケティング・リサーチに関する基本概念、特に定性調査の理解を目的とし、マーケティング・リサーチの基本的な考え方について学習します。

Marketing research has the function of collecting and analyzing various types of information necessary for marketing decision-making, with the aim of reducing decision-making risks in marketing activities.

In this course, we aim to understand the basic concepts of marketing research, especially qualitative research, and learn about the basic ideas of marketing research.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

1 回：イントロダクション：消費者理解とマーケティングリサーチ

- 2回：マーケティング課題とリサーチ
 3回：定性調査と定量調査
 4回：学術調査と実務的調査
 5回：定性調査（1）：インタビュー調査
 6回：定性調査（2）：インタビュー調査
 7回：定性調査（3）：観察法調査
 8回：定性調査（4）観察法調査
 9回：実務家による実践報告（A）
 10回：実務家による実践報告（A）
 11回：実務家による実践報告（B）
 12回：実務家による実践報告（B）
 13回：期末課題報告（A）
 14回：期末課題報告（B）

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワポ等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:			:

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

適宜講義内にて、指示します。

成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 課題プレゼンテーション:60% 授業内ディスカッションへの貢献度:40%

テキスト / Textbooks

適宜講義内にて、紹介する

参考文献 / Readings

関連テーマに応じて適宜講義内にて、参考文献等を紹介します。

その他 / Others

- （1）全授業回をオンラインでの実施予定。
- （2）大学院における専門科目として、相応の事前学習（事前課題学習等）が必須となるため、履修を希望するものは、その点について留意すること。
- （3）実務家ゲストスピーカーの招聘を予定する。
- （4）各回の講義内容は前後する場合がある。

注意事項

本科目は博士課程前期課程と博士課程後期課程の合同授業となるが、後期課程の受講者においては、全ての評価方法で前期課程より高度な達成水準を要求する。

注意事項（検索結果画面）

前期と合同

マーケティング・リサーチ 2

Marketing Research 2

齋藤 明 (SAITO AKIRA)

開講年度：	2024
科目設置学部：	観光学研究科
科目コード等：	WA689
授業形態：	オンライン（全回オンライン）
授業形態（補足事項）	発話を伴う授業を学内で受講する場合は 8201 の利用可
校地：	池袋
学期：	秋学期 2
単位：	2
科目ナンバリング：	TRG7300
使用言語：	日本語
授業形式：	講義
履修登録方法：	科目コード登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	前期と合同

授業の目標 / Course Objectives

マーケティング・リサーチの基本概念と枠組みを理解する。

The goal of this course is to provide an understanding of the basic concepts of marketing research.

授業の内容 / Course Contents

マーケティング・リサーチとは、マーケティング活動に必要な意思決定上のリスクの軽減を目的とし、マーケティング意思決定に必要な諸情報を収集・分析する機能を有しています。

本講義では、マーケティング・リサーチに関する基本概念、特に定量調査の理解を目的とし、マーケティング・リサーチの基本的な考え方について学習します。

Marketing research has the function of collecting and analyzing various types of information necessary for marketing decision-making, with the aim of reducing decision-making risks in marketing activities.

In this course, we aim to understand the basic concepts of marketing research, especially quantitative research, and learn about the basic ideas of marketing research.

授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

1 回：イントロダクション：定量調査

- 2回：マーケティング課題とリサーチ課題
 3回：リサーチプロセス
 4回：母集団とサンプリング
 5回：マーケティング分析（1）：回帰分析
 6回：マーケティング分析（2）：回帰分析
 7回：マーケティング分析（3）：検定
 8回：マーケティング分析（4）：検定
 9回：実務家による実践報告（A）
 10回：実務家による実践報告（A）
 11回：実務家による実践報告（B）
 12回：実務家による実践報告（B）
 13回：期末課題報告（1）
 14回：期末課題報告（2）

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワポ等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:			:

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

適宜講義内にて、適宜指示する。

成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合：100% 課題プレゼンテーション:60% 授業内ディスカッションへの貢献度:40%

テキスト / Textbooks

適宜講義内にて、適宜紹介する。

参考文献 / Readings

関連テーマに応じて適宜講義内にて、参考文献等を紹介する。

その他 / Others

- （1）全授業回をオンラインでの実施予定。
- （2）大学院における専門科目として、相応の事前学習（事前課題学習等）が必須となるため、履修を希望するものは、その点について留意すること。
- （3）実務家ゲストスピーカーの招聘を予定する。
- （4）各回の講義内容は前後する場合がある。

注意事項

本科目は博士課程前期課程と博士課程後期課程の合同授業となるが、後期課程の受講者においては、全ての評価方法で前期課程より高度な達成水準を要求する。

注意事項（検索結果画面）

前期と合同